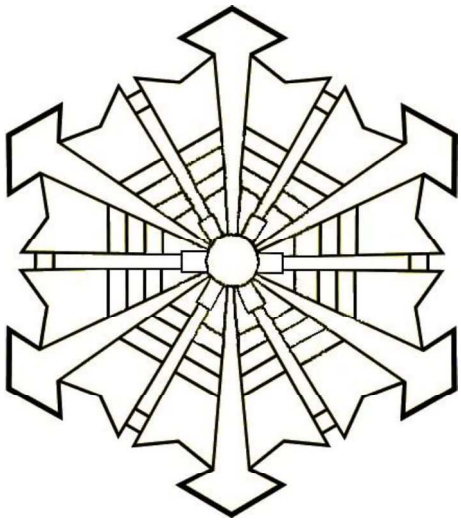
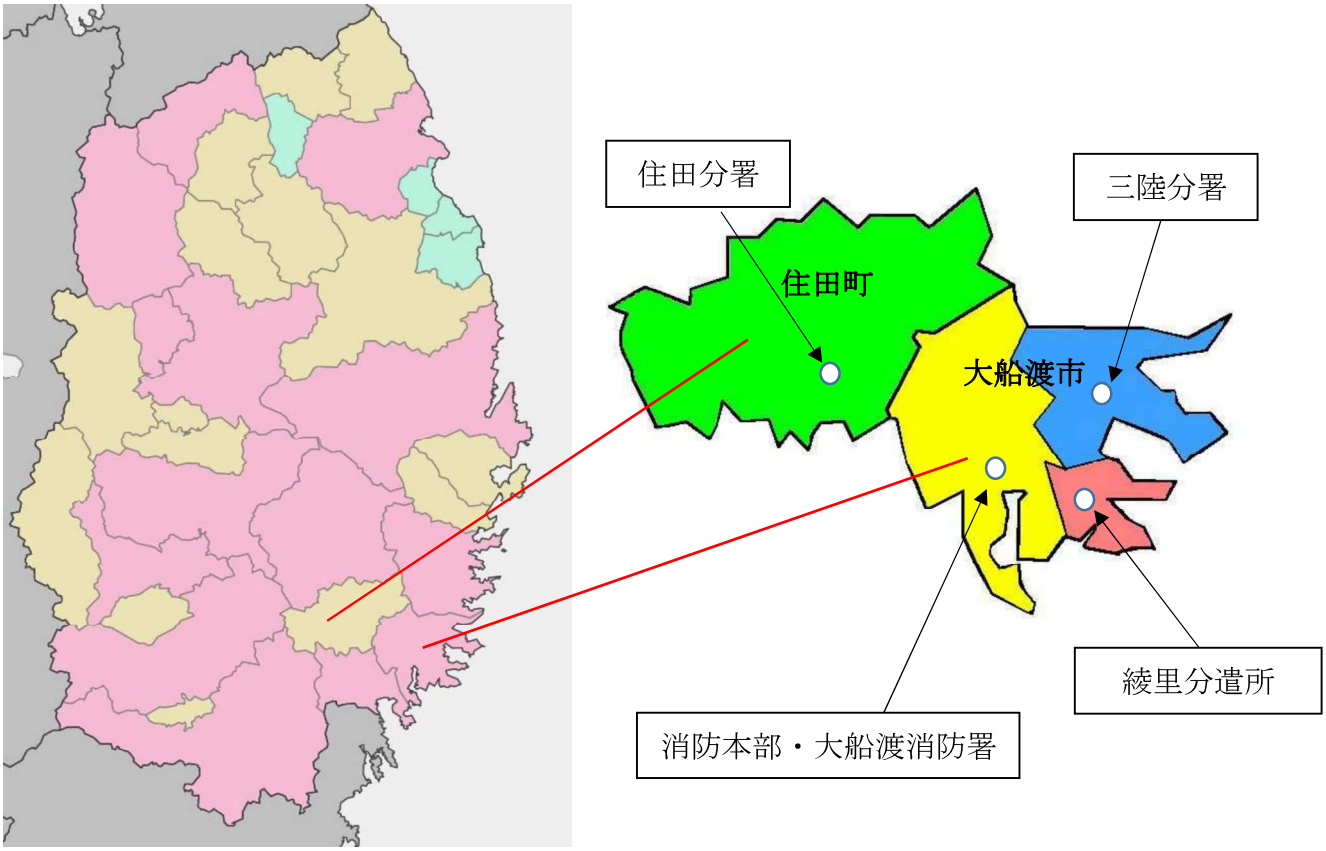
消 防 年 報

令 和 ８ 年 刊 行



大船渡地区消防組合消防本部

大船渡地区消防組合署所管内図



消 防 本 部　〒022-0003　岩手県大船渡市盛町字下舘下 35-1
TEL　0192-27-2119　FAX　0192-27-7414
E-mail：info.fd-ofunato@fd-ofunato.jp

大船渡消防署　〒022-0003　岩手県大船渡市盛町字下舘下 35-1
TEL　0192-27-2119　FAX　0192-27-3546
E-mail：ofd-ofunato@fd-ofunato.jp

三 陸 分 署　〒022-0101　岩手県大船渡市三陸町越喜来字小出 123
TEL　0192-44-2119　FAX　0192-44-3719
E-mail：sanriku119@ybb.ne.jp

綾 里 分 遣 所　〒022-0211　岩手県大船渡市三陸町綾里字宮野 15-1
TEL　0192-42-2119　FAX　0192-42-2219
E-mail：ryouri_119@ybb.ne.jp

住 田 分 署　〒029-2311　岩手県気仙郡住田町世田米字川向 80-7
TEL　0192-46-2119　FAX　0192-46-3719
E-mail：ofd-sumita@abelia.ocn.ne.jp

はしがき

この消防年報は、主に令和７年中における統計及び令和８年４月１日（一部３月 31 日）現在の大船渡地区消防組合管内の消防業務及び消防諸般の状況を収録し、将来の消防業務の参考に資することを目的として編集したものであります。

また、消防事情を広く紹介し、消防行政に対する理解とご支援を賜りますとともに、地域防災への指針として活用していただければ幸甚と存じます。

大船渡地区消防組合消防本部

も　く　じ

目　　次……1.2.3.4
組 合 編
概　　要
　１．常備消防の沿革……5.6.7.8.9.10.11
　２．管内の地勢……12
　３．消防職員と管内地勢対比……12
　４．組合消防予算の状況……12.13
　５．管内消防予算の状況……14
組織と施設
　１．大船渡地区消防組合の組織……15
　２．消防組合の消防力……16
　３．消防職員配置状況……16
　４．消防職員階級別年齢状況……17
　５．消防職員階級別勤続年数……17
　６．消防職員技能資格取得状況……18
　７．消防本部の事務分掌 ……19.20
　８．消防署・分署の事務分掌……20.21
　９．組合管理主要財産の状況……22.23.24.25.26.27.28.29.30.31
　10．通信指令施設の状況……32
　11．歴代組合管理者……33
　12．歴代消防長……33
　13．叙勲受章者の調べ……34
災害備蓄
　１．組合管内山火事用資機材保有状況……35
　２．組合油処理資機材等保有状況……36
　３．組合化学消火薬剤備蓄状況……36

予　　防

１．建築確認同意事務の状況……37
２．建築確認同意及び通知件数の推移……37
３．消防用設備を要する防火対象物……38
４．予防査察実施状況……39
５．防火管理者の選任状況……40
６．消防訓練実施状況……41
７．消防用設備等着工届・設置届受理状況……41
８．用途別中高層建築物の状況……42
９．火災予防条例等に基づく届出受理状況……42
10．広報活動等実施状況……43
11．民間予防協力団体……43
12．女性消防協力隊等結成状況……43
13．幼年消防クラブ結成状況……44
14．少年消防クラブ結成状況……44
15．自主防災組織の結成状況……45.46
16．危険物施設の状況……47
17．危険物施設査察実施状況……47
18．危険物製造所等貯蔵取扱許可数量……48
19．危険物施設の事務取扱状況……48

火災統計

１．火災被害状況比較……49
２．火災種別の割合……49
３．前年比較火災統計……50
４．出火原因別順位……50
５．曜日別火災件数と損害額……51
６．町毎・月別火災発生状況……51
７．地区別火災件数と出動状況……52
８．地区別損害額……52
９．年別・種別火災件数……53
10．年別火災合計……53
11．火災による死傷者数……54
12．火災による死者調べ……54
13．昭和40年からの主な火災記録……55.56.57.58

水　　利
１．地区別消防水利施設数……59
２．地区別消防水利施設総数状況……59
３．地区別公設消火栓設置状況……60
４．地区別公設防火水槽設置状況……60
５．消火栓管径別設置状況……61
６．消火栓管径別管内設置数……61
救急統計
１．救急出動件数と取扱状況……62
２．地区別救急出動件数……62
３．救急事故種別・病院別取扱件数状況……63
４．市町別救急出動件数……63
５．月別救急出動件数（市町別）……64
６．収容までの平均所用時間……64
７．傷病程度別搬送人員……65
８．年齢別搬送人員……65
９．救急隊員の行った応急処置……66
10．救命講習受講者人数……66
11．救命士資格取得率及び救急事案搭乗率……66
12．時間別救急出動件数……67
13．曜日別救急出動件数……67
14．年別・署所別・種別救急出動件数……68
職員教養
１．職員教養実施状況……69
消防団編
大船渡市
市紹介文……70
１．大船渡市消防団の組織……71
２．大船渡市・旧三陸町消防団の沿革……72.73.74.75
３．消防団員階級別現員状況、年齢別及び勤続年数別状況……76.77.78
４．消防車両の現勢……79.80
５．消防団員出動状況……81
６．消防団員教養実施状況……82
７．消防団員等公務災害補償状況……83
８．消防庁長官の行う退職報償（銀杯）……83
９．消防団員の報酬等調べ……83
10．叙勲受章者の調べ……84
11．褒章受章者の調べ……84
12．歴代消防団長……85
13．団体消防表彰受賞状況……86
14．令和７年度消防施設の整備事業状況……87

住 田 町

町紹介文……88
１．住田町消防団の組織……89
２．住田町消防団の沿革……90
３．消防団員階級別、年齢別及び勤続年数別状況……90. 91
４．消防車両の現勢……92
５．消防団員出動状況……93
６．消防団員教養実施状況……94
７．消防庁長官の行う退職報償（銀杯）……94
８．消防団員の報酬等調べ……94
９．叙勲受章者の調べ……95
10. 歴代消防団長……96
11. 令和７年度消防施設の整備状況……97
12. 団体消防表彰受賞状況……97

１．常備消防の沿革

年 月 日	記　　事
昭和	
27. 4. 1	大船渡市民生課に消防係を置く
28. 8.10	大船渡市消防課を設置する
30. 4. 7	大船渡市消防本部を設置する
35. 2.11	優良消防本部・消防団として日本消防協会表彰旗を受賞
8. 1	大船渡市消防署開設のため初任者10名採用
11. 1	大船渡市消防署を開設する　人員13名　消防ポンプ自動車1台
36. 5. 1	消防職員３名採用（実員16名）
37. 6. 1	消防職員３名採用（実員18名）
38.12. 4	大船渡消防署に消防ポンプ自動車1台増車する
12.24	消防用超短波無線局開設免許（基地局1　移動局1）
39. 4. 1	消防職員12名採用（実員30名）
8.14	消防本部指令車を更新する
40. 3.18	優良消防本部・消防団として岩手県知事より表彰旗を受賞
12.17	消防用超短波無線局開設免許（移動局2）
41. 3. 3	優良消防本部・消防団として消防庁長官より竿頭綬を受賞
43. 2. 3	大船渡消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入配置
4. 1	消防職員５名採用（実員34名）
9. 1	大船渡市役所へ1名任命替え
11.18	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車１台受納（大船渡消防署配置）
12.10	消防用超短波無線局開設（移動局2）
44. 3. 4	優良消防本部・消防団として消防庁長官より表彰旗受賞
8.26	日本消防協会より救急車１台受納（大船渡消防署配置）
9. 1	救急業務を開始する
45. 3.10	消防用超短波無線局開設（移動局１）
4. 1	消防職員２名採用（実員35名）
10. 1	消防職員２名採用（実員37名）
46. 4. 1	専任消防長就任
8. 1	気仙地区広域市町村圏協議会発足
48. 4. 1	大船渡地区消防等組合発足（大船渡市・住田町・三陸町を管内とする）
6.22	岩手県共済農協連合会より救急車2台受納（住田・三陸分署配置）
7.25	消防本部指令車購入　消防ポンプ自動車納車（住田・三陸分署配置）
8. 1	広域消防業務推進のため消防職員11名採用（実員47名）
12.15	広域消防業務推進のため消防職員１名採用（実員48名）
49. 1.15	分署庁舎竣工（住田・三陸）
2. 4	一斉指令装置施設完了
2.27	消防用無線電話装置整備完了（基地局1　固定局2　移動局10）
3.20	住田・三陸分署開庁準備のため分署長以下職員7名を分署配置
4. 1	広域消防計画に基づく分署業務開始（各分署分署長以下7名・消防ポンプ自動車1台）
4. 1	広域消防計画による消防職員15名採用（実員63名）
4.10	大船渡地区消防連絡協議会発足
5. 1	各分署救急業務開始
8. 1	各分署・分署長以下職員総数10名配置となる（分隊長各１名含む）
11.25	各分署・分署長以下職員総数12名配置となる（本部８名　大船渡消防署31名配置）

年 月 日	記　　事
昭和	
50. 1.16	綾里分遣所暫定開庁（職員５名配置）
3.31	綾里分遣所閉庁
6.26	大船渡消防署１号車更新（いすゞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ・ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ A2級　７人乗）
8. 1	大船渡消防署２号車（損保号）を市消防団第1分団第2部に配属替え
10. 1	三陸分署越喜来より綾里に移動　業務開始
10. 7	大船渡消防署救急車1台を岩手県共済農協連より受納
10.16	消防本部・大船渡消防署新庁舎移転業務開始 （新庁舎改造工事開始　昭和50年7月28日）
11. 4	消防本部指令車（ジープ車）市へ返納
51. 4. 1	大船渡地区消防等組合の名称変更により大船渡地区消防組合となる
5. 1	大船渡市役所へ１名任命替え
5. 1	事務局員１名配置
5.11	非常災害用専用電話1基増設
5.18	消防本部・大船渡消防署　都市計画区画整理により盛町木町1の1に変更
7. 1	大船渡消防署1号車廃車
9. 1	消防本部・三陸町消防団　三陸大火（山林火災）防御活動の功績により消防庁長官から消防防災功労受賞
9.16	職員の交通事故等防止対策委員会発足
10. 1	三陸分署・綾里より越喜来に移動業務開始・人事異動-各分署副士長外１名配置
11.25	大船渡消防署１号車更新（いすゞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ A2級 7人乗）
52. 4. 1	消防職員３名採用（実員65名）
4.26	昭和52年度（第8回）岩手県林野火災防ぎょ訓練実施（会場地 三陸町）
9.28	第１回消防救助技術大船渡大会開催
10. 1	三陸分署・越喜来より綾里に移動業務開始
11.26	職員定数条例改正公布 72名となる
12. 9	消防専用無線３基新設（車載・携帯兼用型）
53. 2.10	Ⅱ型化学消防ポンプ自動車新規購入（消防無線付）
4. 1	消防職員３名採用（実員68名）
8. 9	消防本部・大船渡消防署に非常用発電設備設置
8.29	日本消防協会より救急車1台受納（綾里分遣所配置）
10. 1	三陸分署・綾里より越喜来に移動業務開始
10.30	大船渡消防署車庫増築工事完成（鉄骨造142.8㎡）
54. 3.29	消防本部消防救助技術訓練塔完成（鉄骨造17m級）
4. 1	消防職員５名採用（実員73名）
8.24	第８回全国消防救助技術大会出場（於 大阪市）２種目出場 入賞
10.25	三陸分署綾里分遣所開設準備のため職員異動発令
11. 1	三陸分署・綾里分遣所開庁（分遣所長以下７名　救急車１台配置）
11. 1	消防計画発刊
55. 4. 1	消防職員２名採用（実員73名）
10.19	大船渡市農業協同組合より2B型救急車１台受納（大船渡消防署配置）
11. 4	日本防火協会より防火広報車１台受納（９人乗 映写装置 拡声装置各一式付）
12. 3	予備車廃車（いすゞ 車令17年）
56. 2.28	職員定数条例改正公布 76名となる

年 月 日	記　　事
昭和	
56. 3. 5	屈折はしご付消防ポンプ自動車 15m級 １台購入
3.16	移動車載用消防無線 10W ２基購入
4. 1	消防職員３名採用（実員75名）
7.18	住田分署救急車更新（トヨタRH型）
12.28	消防本部指令車更新（トヨタMS型）
57. 2. 1	岩手県救急医療情報システム運用開始
3.11	綾里分遣所小型動力ポンプ付水槽車購入
4. 1	消防職員１名採用（実員76名）
58. 1.14	大船渡消防署救急車更新（トヨタ2B型）
1.14	日本自動車工業会より救急車1台（トヨタ2B型）受納（三陸分署配置）
3. 2	職員定数条例改正公布 78名となる
3.25	三陸分署庁舎新築完成
4. 1	消防職員２名採用（実員78名）
9. 1	岩手県総合防災訓練（大船渡市）
9.20	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車1台受納（大船渡消防署配置）
59. 2.29	住田分署消防ポンプ自動車更新（CD-Ⅰ型）
2.29	三陸分署消防ポンプ自動車更新（CD-Ⅰ型）
3.21	消防無線今出山中継局完成
61. 3.15	空中消火補給基地完成（ヘリコプター離着陸用広場 4,830㎡ 資機材等保管施設・・鉄骨造平屋建 198.74㎡）
10.17	三陸分署救急車更新（トヨタ2B型）
11.24	大船渡消防署消防ポンプ自動車購入（CD-Ⅰ型）
12.23	住田分署事務室増築工事完成（鉄骨造44.3㎡）
62. 2.12	日本損害保険協会より救急車１台受納（トヨタ2B型）（綾里分遣所配置）
4. 1	消防職員１名採用（実員78名）
4. 1	省令制定に伴う大船渡消防署救助隊の編成
63. 4. 1	消防職員１名採用（実員78名）
8. 5	住田分署輸送車更新（トヨタ ハイエースWキャブ4WD）
11.21	大船渡消防署救急車更新（トヨタ2B型4WD）
平成	
元. 1.25	日本自動車工業会より救急車1台受納（トヨタ2B型）（大船渡消防署配置）
4. 1	大船渡市役所へ２名任命替え
4. 1	消防職員２名採用（実員78名）
6.29	消防本部指令車更新（トヨタ クラウン）
12.20	屈折はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
2. 3.27	救助訓練塔塗装工事完了
3.31	大船渡市役所へ２名任命替え
4. 1	消防職員３名採用（実員78名）
7.16	住田分署救急車更新（トヨタ2B型4WD）
7.18	防火広報車更新（トヨタ ハイエースロングバン）
8. 1	テレホンサービス開始
4. 9. 1	完全週休二日制実施
5. 2.26	職員定数条例改正公布86名となる

年 月 日	記　　事
平成	
5. 3.30	三陸分署救助訓練塔増設工事完了
4. 1	消防職員８名採用（実員86名）
12.17	三陸分署綾里分遣所、小型動力ポンプ付水槽車更新（U-FE447C)定員3名 （三菱キャンター、高床ダブルタイヤ3.5t　130PS）
6. 2.28	職員定数条例改正公布88名となる
4. 1	消防職員３名採用（実員88名）
7.15	大船渡消防署連絡車更新（トヨタカリブAVI(AT)）
7. 8.31	綾里分遣所救急車日本消防協会より受納（ニッサン2B型）
12.11	三陸分署救急車更新（トヨタ2B型4WDオートマチックディーゼルターボ）
8. 2. 7	住田分署消防ポンプ自動車更新（三菱CD-Ⅰ型 A-2級4WD）
2.26	職員定数条例改正公布90名となる
4. 1	消防本部、大船渡消防署組織の一部改正（消防本部二課制設置）
4. 1	消防職員３名採用（実員90名）
7.19	日本防火協会より防火号受納（消防本部設置）
7.22	綾里分遣所庭舗装工事完了
8. 1	岩手県防災航空隊へ１名派遣（第1期）
9. 1	岩手県総合防災訓練（大船渡市）
10. 1	消防職員委員会発足
9. 2.25	高規格救急車購入（トヨタハイメディック）
3.31	救助訓練塔塗装工事完了
4. 1	高規格救急車運用開始
10. 2.20	住田分署救急車更新（トヨタ2B型4WD）
3.31	三陸分署消防ポンプ自動車更新（三菱CD-Ⅰ型 A-2級4WD）
4. 1	消防職員２名採用（実員90名）
11. 4. 1	消防職員２名採用（実員90名）
8.25	大船渡消防署水槽付消防ポンプ自動車日本損害保険協会より受納（日野KK-FDIJEDA改）
11. 8	大船渡消防署化学消防ポンプ自動車更新（日野KK-GDIJGDA改）
12. 4. 1	消防職員３名採用（実員90名）
13. 3.27	住田分署高規格救急車「日本損害保険協会」より受納（トヨタハイメディック）
4 .1	消防職員１名採用（実員89名）
5. 1	住田分署高規格救急車運用開始
7. 3	消防本部指令車更新（トヨタクラウン）
14. 3.20	三陸分署高規格救急車「ＪＡおおふなと」より受納（トヨタハイメディック）
4. 1	消防職員３名採用(実員89名)
5. 1	三陸分署高規格救急車運用開始
15. 2.20	大船渡消防署救助工作車（Ⅱ型）１台購入（日野レンジャー低床型4WD）
4. 1	消防職員２名採用（実員88名）
16. 3.25	大船渡消防署１号車更新（日野CD-Ⅰ型 A-2級4WD）
4. 1	消防職員１名採用（実員89名）
17. 3.19	三陸縦貫道自動車道救急車緊急退出路供用開始
3.22	日本宝くじ協会より防災指導車受納（消防本部配置）
4. 1	消防職員１名採用（実員87名）
7. 1	消防職員１名採用（実員88名）
18. 3. 6	大船渡消防署屈折はしご付消防車更新（日野プロティアΣ型25m級）

年 月 日	記　　事
平成	
18. 4. 1	消防職員４名採用（実員88名）
7.25	移動式空気充填用コンプレッサー導入（バウアーコンプレッサー）
19. 1. 9	二相性波形式自動体外式除細動器購入（AED：日本光電）
3.15	災害対応特殊救急自動車購入（トヨタハイメディック）
4. 1	消防職員１名採用（実員88名）
7.10	住田分署充電式油圧救助器具マルチカッター一式購入（OMC-119DP）
20. 1. 4	綾里分遣所携帯型救急モニター一式購入（日本光電）
4. 1	消防職員１名採用（実員88名）
7.29	緊急消防援助隊用エアテント購入（チューブ膨張式エアテント）
21. 1.23	綾里分遣所消火泡吐出装置付消防ポンプ自動車購入（CD-Ⅰ型）
4. 1	消防職員３名採用（実員87名）
8. 1	水難救助隊発足（県内初）
22. 3.29	指揮車購入（ミツビシ　デリカD5）
4. 1	消防職員４名採用（実員88名）
10.26	住田分署二相性波形式自動体外式除細動器購入（メドトロニック）
12. 1	大船渡消防署救急用心電図モニター購入（レーダーサーク）
12.21	綾里分遣所高規格救急自動車「日本損害保険協会」より受納（ニッサンパラメディック）
23. 3.10	住田分署高規格救急自動車更新（トヨタハイメディック）
3.11	東北地方太平洋沖地震発生（東日本大震災）
	大津波により三陸分署綾里分遣所全壊（「綾姫ホール」を仮分遣所とする）
3.14	支援車Ⅰ型「総務省消防庁」より受納（無償使用）
4. 1	消防職員４名東日本大震災対応のため三ヶ月勤務延長
4. 1	消防職員６名採用（実員92名）
6.24	可搬型衛星携帯電話購入（2台）※ 住田・三陸分署配備
7. 1	人事異動（実員88名）
10.12	住田分署ガス検知器更新（理研計器：マルチガスモニター）
11. 9	総務大臣より東日本大震災現場功労表彰を受賞
24. 1.27	大船渡消防署可搬型衛星携帯電話購入
3.14	岩手県消防協会総裁・岩手県消防協会会長表彰現場功労竿頭綬を受賞
3.21	三陸分署高規格救急自動車「JA共済連」より受納（トヨタハイメディック）
4. 1	消防職員２名採用（実員89名）
9. 1	平成24年度防災功労者として内閣総理大臣表彰を受賞
11.26	大型油圧救助器具更新（ホルマトロ）大船渡消防署配備
25. 1.15	三陸分署ガス検知器更新（理研計器：有毒ガス検知器GX-2000）
3.28	消防救急無線デジタル化・高機能デジタル消防指令センター整備完了
4. 1	消防本部に通信指令係を増設（専従職員を7名配置）
4. 1	消防職員３名採用（実員90名）
	［本部16名・大船渡消防署37名・住田分署15名・三陸分署14名・綾里分遣所8名］
5.10	高機能デジタル消防指令センター開設式／本格運用開始
10.29	綾里分遣所ガス検知器更新（理研計器：有毒ガス検知器GX-2000）
11.29	水難救助隊水難救助資器材一式購入（スクーバ式潜水具及び付属品）※ 五カ年計画
26. 1.21	三陸分署救助訓練塔改修工事完了
3.14	消防本部消防用ハンディタイプ赤外線サーマルカメラ更新（FLIR社製K-50）

年 月 日	記　　事
平成	
26. 3.31	消防本部レーザー距離計更新（マキタ製LD080PI）
4. 1	消防職員６名採用（実員90名）
11.28	化学防護服一式更新（ﾄﾞﾚｰｹﾞﾙCPS7900）
27. 2.19	水難救助隊水難救助資器材一式購入（スクーバ式潜水具及び付属品）※ 五カ年計画
3.27	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入
4. 1	消防職員４名採用（実員90名）
	[本部16名・大船渡消防署37名・住田分署15名・三陸分署14名・綾里分遣所8名]
10.27	三陸分署エンジンカッター購入（ハスクバーナーK760）
12.25	防災相互波用無線機購入（ICOM製 IC-VH37MFT）
28. 1.22	消火訓練用放射器具・模擬消火訓練装置セット購入
1.25	水難救助隊水難救助資器材一式購入（スクーバ式潜水具及び付属品）※ 五カ年計画
3.29	緊急消防援助隊用組立式二段ベッド購入
4. 1	消防職員３名採用（実員90名）
	[本部17名・大船渡消防署36名・住田分署15名・三陸分署14名・綾里分遣所8名]
5.31	東日本大震災の津波により全壊した三陸分署綾里分遣所庁舎完成
7. 1	三陸分署綾里分遣所供用開始
7.28	三陸分署自動心臓マッサージ器一式購入（LUCAS2）
8. 8	水難救助隊水難救助資器材一式購入（スクーバ式潜水具及び付属品）※ 五カ年計画
11.16	バスケットストレッチャー一式購入（タイタンTi分離型）
11.28	職員定数条例改正公布 93名となる
29. 2.14	大船渡市防災センターの完成に伴い、消防本部・大船渡消防署庁舎移転
3. 9	大船渡消防署災害対応特殊救急自動車購入（トヨタハイメディック）
3.16	(株)オノデラサインより業務用軽自動車受納（消防本部配置）
4. 1	大船渡市防災センター正式供用開始
4. 1	消防職員５名採用 ※うち女性消防職員１名採用（実員93名　うち女性消防職員数１名）
	[本部19名・大船渡消防署35名・住田分署15名・三陸分署15名・綾里分遣所9名]
4. 1	二部制から三部制へ移行
9.24	水難救助隊水難救助資器材一式購入（スクーバ式潜水具及び付属品）※ 五カ年計画
30. 3.19	大船渡消防署住田分署完成
3.19	大船渡消防署災害対応特殊化学消防ポンプ自動車購入
4. 1	大船渡消防署住田分署正式供用開始
4. 1	消防職員２名採用（実員93名　うち女性消防職員数１名）
	[本部19名・大船渡消防署35名・住田分署15名・三陸分署15名・綾里分遣所9名]
31. 3.13	三陸分署水槽付消防ポンプ自動車購入
3.20	住田分署消火泡吹出型水槽付消防ポンプ自動車購入
4. 1	消防職員４名採用（実員93名　うち女性消防職員数１名）
	[本部19名・大船渡消防署35名・住田分署15名・三陸分署15名・綾里分遣所9名]
4. 1	組織改革により、「次長」を「消防次長」、「署長」を「消防署長」、「分署長補佐」を「副分署長」、「庶務課」を「消防総務課」に改め、消防本部に「救急救助係」「予防指導係」「危険物保安係」、大船渡消防署に「救急救助係」を新たに設け、消防本部の「予防係」を廃止する。
令和	
元. 9.27	住田分署高規格救急自動車購入

年 月 日	記　　事
令和	
2. 3.30	消防本部救助工作車購入
4. 1	消防職員１名採用 ※うち女性消防職員１名採用（実員93名　うち女性消防職員数２名） ［本部19名・大船渡消防署35名・住田分署15名・三陸分署15名・綾里分遣所9名］
3. 2.26	旧消防本部・大船渡消防署庁舎及び訓練棟解体
4. 1	消防職員１名採用（実員93名　うち女性消防職員数２名） ［本部20名・大船渡消防署34名・住田分署15名・三陸分署15名・綾里分遣所9名］
4. 3.23	三陸分署綾里分遣所高規格救急自動車購入
3.25	消防本部指揮指令車購入
4. 1	消防職員３名採用 ※うち女性消防職員１名採用（実員92名　うち女性消防職員数３名） ［本部19名・大船渡消防署37名・住田分署15名・三陸分署12名・綾里分遣所9名］
5. 2.13	三陸分署高規格救急自動車購入
2.15	職員定数条例改正公布 100名となる
4. 1	消防職員８名採用　　※うち消防職経験者３名、女性消防職員２名採用 （実員92名　うち再任用職員２名、女性消防職員数４名） ［本部18名・大船渡消防署38名・住田分署15名・三陸分署12名・綾里分遣所9名］ 定年の年齢が61歳となる 組織改革により「消防総務課」を「総務課」、「中隊長」を「当直司令」に改め、消防本部に「主幹」及び「主査」を、大船渡消防署に「主査」を新たに設け、消防士長を「主任」、消防副士長及び消防士を「主事」とする職名を設ける。
6. 4. 1	消防職員４名採用（実員94名　うち再任用職員１名、女性消防職員数４名） ［本部19名・大船渡消防署38名・住田分署15名・三陸分署13名・綾里分遣所9名］
7. 2.26	大船渡市大規模林野火災発生
7. 3.28	高機能デジタル消防指令センター全更新業務完了
7. 4. 1	消防職員５名採用（実員95名　うち女性消防職員数４名） ［本部19名・大船渡消防署39名・住田分署15名・三陸分署13名・綾里分遣所9名］ 定年の年齢が62歳となる Live119及びNET119運用開始
8. 2.25	大船渡消防署災害対応特殊救急自動車購入(電動ストレッチャー導入)
8. 3.19	岩手県消防協会会長表彰現場功労竿頭綬を受賞
8. 4. 1	消防職員１名採用（実員95名　うち女性消防職員数４名） ［本部20名・大船渡消防署39名・住田分署15名・三陸分署12名・綾里分遣所9名］

２．管内の地勢

項目＼区分		大船渡市		住田町		計	
		R7国調	R8.4.1現在	R7国調	R8.4.1現在	R7国調	R8.4.1現在
位置	緯度	39° 04′		39° 08′			
	経度	141° 42′		141° 34′			
面積（㎢）		322.51		334.84		657.35	
人口		30,565	31,807	4,331	4,635	34,896	36,442
世帯		13,187	14,688	1,844	2,051	15,031	16,739
1㎢あたり	人口	95	99	13	14	53	55
	世帯	41	46	6	6	23	25

３．消防職員と管内地勢対比

R8.4.1現在

区分	項目＼地区別	消防吏員１人当り		
		人口（人）	世帯（世帯）	面積（㎢）
消防本部 20名	管内(大船渡市・住田町)	1,822	837	33
大船渡消防署 三陸分署 綾里分遣所 60名	大船渡市	530	245	5
住田分署 15名	住田町	309	137	22
組合合計	95名	384	176	7

４．組合消防予算の状況（令和８年度当初）

（歳　入）　　（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1.分担金及び負担金	1,098,813	999,403	99,410
2.使用料及び手数料	300	300	0
3.国庫支出金	0	17,375	△ 17,375
4.繰越金	1	1	0
5.諸収入	6,001	6,001	0
6.組合債	0	5,100	△ 5,100
歳入合計	1,105,115	1,028,180	76,935

（分担金の内訳）　　（単位：千円）

大船渡市	住田町	計
904,541	194,022	1,098,563

（歳　出）　　（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 議会費	324	324	0
2. 総務費	1,690	2,086	△ 396
3. 消防費	1,070,271	994,607	75,664
4. 公債費	32,730	31,063	1,667
5. 予備費	100	100	0
歳出合計	1,105,115	1,028,180	76,935

（性質別予算額）

区分	予算額(千円)	構成比（%）
1. 人件費	879,081	79.6
2. 物件費	124,459	11.3
3. 維持補修費	1,895	0.2
4. 補助費等	4,980	0.5
5. 普通建設事業費	61,870	5.6
6. 公債費	32,730	3.0
7. 予備費	100	0.0
歳出合計	1,105,115	100.0

（消防費の内訳）　　（単位：千円）

区分	予算額
1. 消防本部費	275,885
2. 大船渡署費	648,224
3. 住田分署費	146,162
計	1,070,271

５．管内消防予算の状況

イ．一般会計と消防予算（令和８年度当初予算）　（単位：千円）

区分 ＼ 項目 ＼ 年度	大船渡市		住田町	
	令和８年度	令和７年度	令和８年度	令和７年度
予算総額（千円）	25,300,000	21,190,000	5,461,000	5,359,000
消防予算額（千円）	1,256,275	1,069,017	329,234	361,227
比率（%）	4.97	5.04	6.03	6.74
住民一人当り消防予算額（円）	40,097	33,416	73,147	77,935

ロ．消防費の内訳（令和８年度当初予算）　（単位：千円）

区分 ＼ 項目 ＼ 年度	大船渡市			住田町		
	令和８年度	令和７年度	前年比	令和８年度	令和７年度	前年比
消防費総額	1,256,275	1,069,017	17.5	329,234	361,227	△ 8.9
1. 常備消防費	906,735	819,430	10.7	194,274	188,623	3.0
2. 非常備消防費	85,823	84,466	1.6	43,290	53,139	△ 18.5
3. 消防施設費	96,672	33,375	189.7	4,134	3,155	31.0
4. 水防費	10,869	10,491	3.6	189	189	0.0
5. 防災費	156,176	121,255	28.8	87,347	116,121	△ 24.8

ハ．令和７年度歳出決算状況　（単位：千円）

項目 ＼ 区分	一般会計決算額	消防費決算額	比率	消防費決算内訳					
				人件費	物件費	維持補修費	補助費等	普通建設事業費	繰出金
大船渡市	24,968,106	2,273,126	9.1	82,111	125,854	612	2,011,697	52,852	
住田町	5,095,958	341,496	6.7	11,002	40,834	7,754	201,201	80,705	
計	30,064,064	2,614,622	8.7	93,113	166,688	8,366	2,212,898	133,557	0

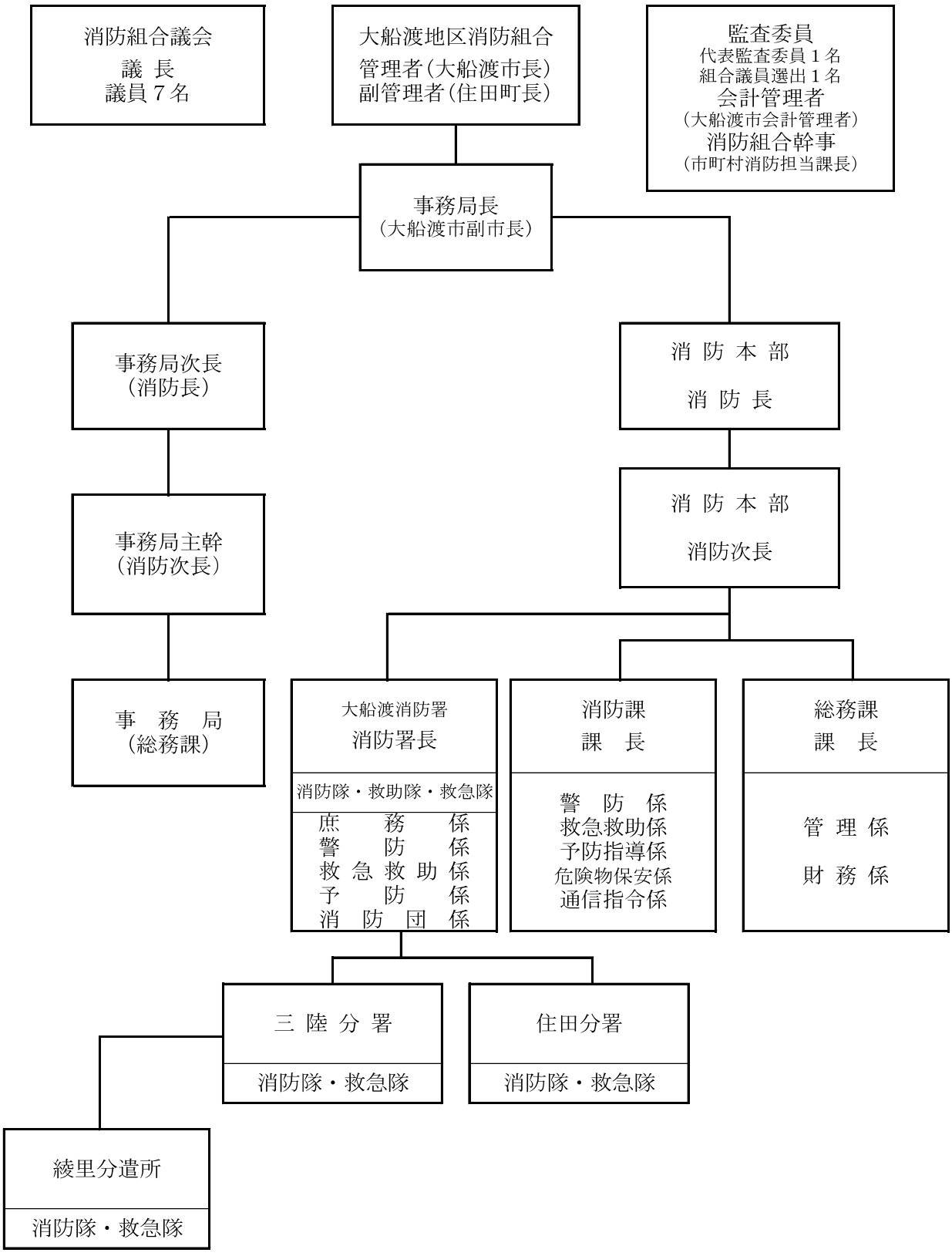
ニ．令和７年度消防費決算額財源内訳　（単位：千円）

項目 ＼ 区分	消防費決算額	財源内容					
		国庫支出金	県支出金	諸収入	地方債	その他	税等
大船渡市	2,273,126	18,888	18,859	227,368	57,000	57,524	1,893,487
住田町	341,496	6,902		716	92,200	241,678	
計	2,614,622	25,790	18,859	228,084	149,200	299,202	1,893,487

ホ．令和７年度基準財政需要額との比較　（単位：千円）

項目 ＼ 区分	消防費にかかる基準財政需要額（A）	消防費決算にかかる税等の額（B）	消防費決算額（C）	B/A	C/A	B/C
大船渡市	628,346	1,893,487	2,273,126	3.013	3.618	0.833
住田町	215,201	0	341,496	0.000	1.587	0.000

１．大船渡地区消防組合の組織



２．消防組合の消防力

R8.4.1現在

項目＼区分		消防本部	大船渡消防署	住田分署	三陸分署	綾里分遣所	計
吏員	条例定数	100					100
	実員数	20	39	15	12	9	95
車両	普通ポンプ車		1				
	水槽付消防ポンプ自動車		1		1		2
	化学車		1				1
	消火泡吹出型水槽付消防ポンプ自動車			1		1	2
	屈折はしご車		1				1
	救助工作車	1					1
	高規格救急車		3	1	1	1	6
	指揮指令車	1					1
	支援車	1					1
	救急指導車	1					1
	指揮車		1				1
	連絡車	1					1
	多目的車		1				1
	輸送車				1		1

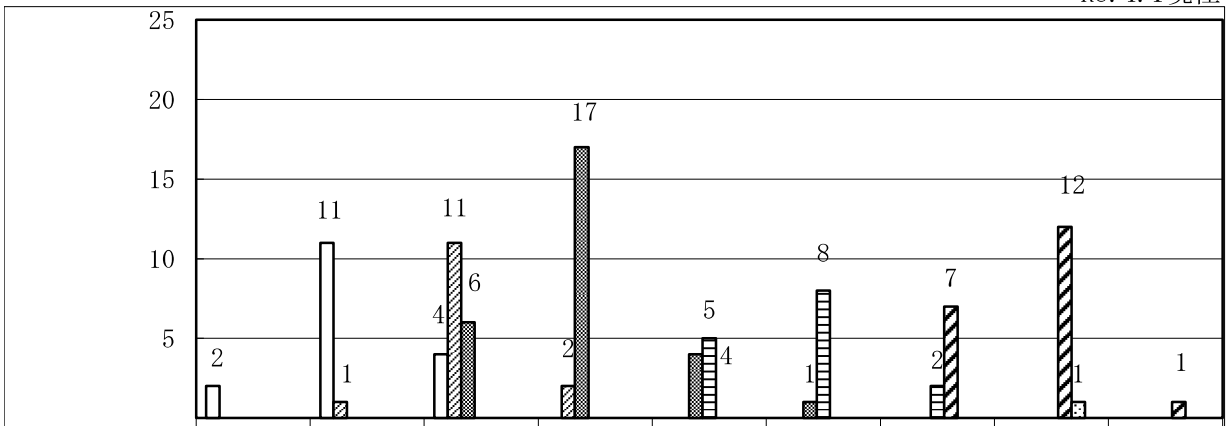
３．消防職員配置状況

R8.4.1現在

階級＼区分	消防本部	大船渡消防署	住田分署	三陸分署	綾里分遣所	計
消防司令長	1					1
消防司令	9	8	1	1	1	20
消防司令補	4	5	3	3		15
消防士長	5	9	5	4	5	28
消防副士長		8	2	2	2	14
消防士	1	9	4	2	1	17
計	20	39	15	12	9	95

４．消防職員階級別年齢状況

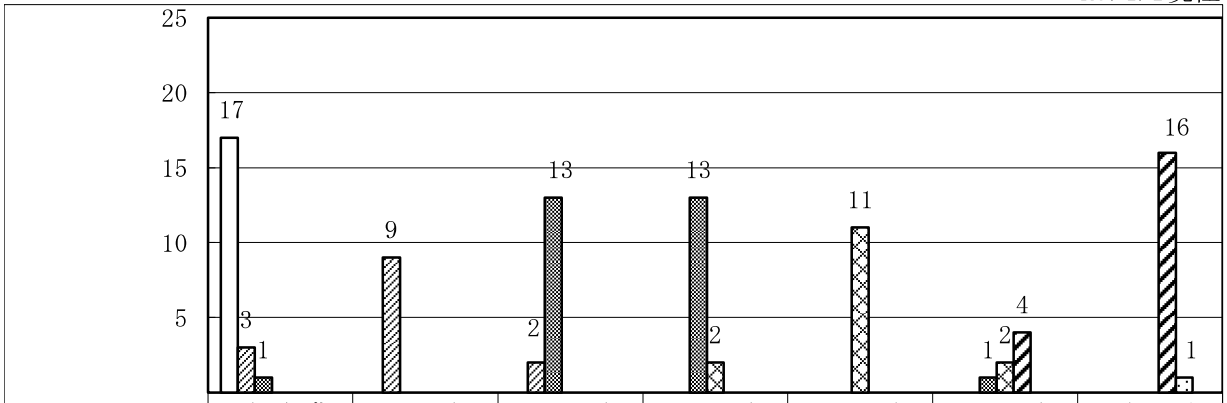
R8.4.1現在



	21歳未満	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上
消防士	2	11	4						
消防副士長		1	11	2					
消防士長			6	17	4	1			
消防司令補					5	8	2		
消防司令							7	12	1
消防司令長								1	
合計	2	12	21	19	9	9	9	13	1

５．消防職員階級別勤続年数

R8.4.1現在



	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
消防士	17						
消防副士長	3	9	2				
消防士長	1		13	13		1	
消防司令補				2	11	2	
消防司令						4	16
消防司令長							1
合計	21	9	15	15	11	7	17

６．消防職員技能資格取得状況

R8.4.1現在

項目 ＼ 階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
自動車免許	大型特殊免許		3			1	2	6
	大型免許	1	20	13	27	9	3	73
	中型免許			2			1	3
	準中型免許				1	3	1	5
	普通免許	1	20	15	28	14	17	95
危険物取扱者免許	乙種第４類		7	3	13	8	1	32
	第４類以外乙種		1		2	1		4
	丙種			1			1	2
特殊無線技士免許	海上第２級					1		1
	陸上第２級	1	14			2		17
	陸上第３級		6	15	28	13	16	78
	アマチュア無線		1	1		1		3
消防設備士	乙種６類		3		1	1		5
	乙種６類以外					1		1
予防技術検定	防火査察		3	3	9	5	1	21
	消防用設備等			1	6	1		8
	危険物		2	3	6	3	1	15
小型船舶	一級小型船舶操縦士		2		1	1		4
	二級小型船舶操縦士		5	2	2	3		12
潜水士			15	11	15	7	1	49
衛生管理者資格			1	1				2
救急救命士		1	9	11	7	5	4	37
救急隊員有資格者標準課程		1	18	11	25	9	1	65
救急隊員有資格者Ⅰ課程			1					1
救急隊員有資格者Ⅱ課程			1					1
ガス溶接		1	12	1		1		15
小型移動式クレーン		1	20	12	21	5		59
玉掛け		1	19	12	18	4		54
酸素欠乏硫化水素作業主任者		1	8			1		10

７．消防本部の事務分掌

(1)　総　務　課

①　管　理　係

ア　消防本部、消防署所の事務調整及び連絡に関すること。
イ　儀式、行事及び会議に関すること。
ウ　公印の管理に関すること。
エ　文書の収発、審査及び保存に関すること。
オ　消防職員の任免、服務、賞罰その他人事に関すること。
カ　条例、規則等に関すること。
キ　その他庶務に関すること。

②　財　務　係

ア　予算及び経理に関すること。
イ　職員の給与及び貸与品に関すること。
ウ　物品の購入、経理に関すること。
エ　財産の取得、管理及び処分に関すること。
オ　職員の福利厚生及び保健衛生に関すること。

（2）　消　防　課

①　警　防　係

ア　水火災その他の災害の防御計画及び警戒鎮圧に関すること。
イ　警防業務の基本方針及び調査研究に関すること。
ウ　警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
エ　消防団との連絡調整に関すること。
オ　消防地水利の調査保全に関すること。
カ　消防機械器具の点検整備に関すること。
キ　消防施設、装備の企画に関すること。
ク　緊急援助隊に関すること。
ケ　その他警防に関すること。

②　救急救助係

ア　救急救助業務の基本方針及び調査研究に関すること。
イ　救急救助訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
ウ　救急及び救助に係る統計に関すること。
エ　救急業務計画に関すること。
オ　救助活動に係る計画に関すること。
カ　救急医療機関等との連絡調整に関すること。
キ　その他救急救助に関すること。

③　予防指導係

ア　予防業務の企画及び調査研究に関すること。
イ　防火管理及び防災管理に係る講習、資格及び事務の指導に関すること。
ウ　消防用設備等の検査及び指導に関すること。
エ　立入検査及び防火管理指導に関すること。
オ　建築物の確認同意に関すること。
カ　防火対象物点検報告制度及び防災管理点検報告制度に係る事務の指導に関すること。
キ　火災の原因及び損害調査に関すること。
ク　火災統計に関すること。
ケ　表示制度に係る事務の指導に関すること。
コ　婦人・幼少年消防クラブ、自主防災組織等防火防災団体に関すること。
サ　予防上の各種届出に関すること。
シ　その他予防に関すること。

④　危険物保安係

ア　危険物の規制及び保安指導に関すること。
イ　液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関すること。

ウ 高圧ガス保安法に関すること。
エ 電気用品安全法に関すること。
オ 危険物製造所等許認可に関すること。
カ 危険物の流出等の事故の原因調査及び指導に関すること。
キ その他危険物保安に関すること。

⑤ 通信指令係
ア 災害通報の受信及び出動指令に関すること。
イ 災害の即報及び関係機関への連絡に関すること。
ウ 消防通信の運用及び統制に関すること。
エ 災害情報の収集及び伝達・管理に関すること。
オ 消防通信指令施設の維持管理及び研究に関すること。
カ 気象予警報の情報収集及び連絡に関すること。
キ その他通信指令に関すること。

８．消防署・分署の事務分掌

（１）消防署の事務分掌

① 庶 務 係
ア 署内の庶務に関すること。
イ 文書の収発及び保管に関すること。
ウ 建物及び物品の管理保管に関すること。
エ 予算及び経理に関すること。
オ 署内及び消防団の燃料に関すること。
カ 消防屯所に関すること。
キ 他係に属さない事務に関すること。

② 消 防 団 係
ア 消防団の庶務に関すること。
イ 消防団の教養訓練に関すること。
ウ 消防団の予算及び執行に関すること。
エ 消防団の任免、服務、賞罰その他人事に関すること。
オ 他係に属さない消防団事務に関すること。

③ 警 防 係
ア 水火災その他の災害の防御及び警戒に関すること。
イ 警防業務の方針の策定その他警防業務に係る事務に関すること。
ウ 警防訓練及び教養に関すること
エ 消防地水利の調査保全に関すること。
オ 消防通信に関すること。
カ 消防機械器具の整備点検に関すること。
キ 消防団車両に関すること。

④ 救急救助係
ア 救急救助業務の実施に関すること。
イ 救急及び救助統計に係る資料の収集に関すること。
ウ 救急救助業務の方針の策定その他救急救助業務に係る事務に関すること。
エ 救急救助訓練に関すること。
オ 心肺蘇生法等救急処置の普及指導に関すること。

⑤ 予 防 係
ア 火災予防の普及及び啓発に関すること。
イ 予防査察に関すること。
ウ 危険物の取締及び規制に関すること。
エ 建築物の確認同意に関すること。
オ 自主防災組織等防火防災団体の育成に関すること。
カ 火災予防条例に規定されている各種届出に関すること。
キ 火災の原因及び損害の調査に関すること。
ク 消防用設備等の点検及び報告に係る事項の処理に関すること。

ケ　火災予防の指導、立入検査及び違反処理に関すること。
コ　防火対象物点検報告制度及び防災管理点検報告制度に関すること。
サ　表示制度に関すること。
シ　防火対象物の消防用設備等の状況の公表に係る調査及び事務の処理に関すること。

（２）分署及び分遣所の事務分掌

①　庶務に関すること。
②　文書の収発及び保存に関すること。
③　建物及び物品の管理保管に関すること。
④　燃料に関すること。
⑤　消防団事務に関すること。
⑥　水火災その他の災害の防御及び警戒に関すること。
⑦　警防訓練及び教養に関すること。
⑧　消防水利の調査保全に関すること。
⑨　消防通信に関すること。
⑩　消防機械器具の整備点検に関すること。
⑪　救急救助業務の実施に関すること。
⑫　救急及び救急統計に係る資料の収集に関すること。
⑬　心肺蘇生法等救急処置の普及指導に関すること。
⑭　火災予防の普及及び宣伝に関すること。
⑮　予防査察に関すること。
⑯　危険物の取締及び規制の予備調査に関すること。
⑰　自主防災組織等防火防災団体の育成に関すること。
⑱　火災予防条例に規定されている各種届出に関すること。

９．組合管理主要財産の状況

R8.4.1現在

区　　分		所　有	施設完了月日 借用契約月日	仕　　様
庁舎等	防災センター 本部・消防署	大船渡市	H29.2.11引き渡し	本庁舎鉄筋コンクリート造4階　床面積3,176.07㎡
				訓練棟4階　床面積122.02㎡　計3,298.09㎡
	住田分署	住田町	H30.3.19引き渡し	木造一部鉄筋コンクリート組積造 延床面積924.64㎡
				資器材倉庫　延床面積50.00㎡
	三陸分署	消防組合	S58. 3.25	鉄骨平屋建（訓練塔ほか併設）
				延面積359.92㎡
	綾里分遣所	〃	H28.6. 1引き渡し	鉄筋コンクリート造2階　１階156.65㎡
				2階82.00㎡　計238.65㎡
	救助訓練塔 （住田分署）	住田町	H30.3.19引き渡し	鉄筋コンクリート組積造　１階　28.08㎡
				２階　27.02㎡　延床面積　55.10㎡
	救助訓練塔 （三陸分署）	消防組合	S58. 3.25	鉄骨造 地上12m 延面積36.0㎡
			H5.3.30(増築)	地上17m 延面積45.0㎡(増築)
	資機材等保管施設	〃	S61. 3.15	鉄骨造平屋建　延面積199㎡
土地	防災センター 本部・消防署	大船渡市	H29. 2.11	一括借用　有効敷地面積　6,720.00㎡
	住田分署	住田町	H29. 3.19	一括借用　1,029.74㎡
	三陸分署	借地	S57. 8. 1	一括借用　2,403.93㎡
	綾里分遣所	〃	H25. 4. 1	一括借用　975.06㎡
	空中消火基地	消防組合	S60.12.21	一括購入　6,947.26㎡(大蔵省よりS61.3.27)
	今出山基地局	借地	H24.12.20	一括借用　151.34㎡
	大平基地局	〃	H24.12 .1	一括借用　231.87㎡
	種山基地局	〃	H24.12 .1	一括借用　60.00㎡
	長崎基地局	〃	H24.12 .1	一括借用　96.00㎡
	荷沢基地局	〃	H24.12 .1	一括借用　60.00㎡
	大船渡基地局	大船渡市	H24.12 .1	一括借用　25.00㎡

区　　分		所　有	車両登録年月日	仕　　様
車両	指揮指令車	消防本部	R4. 3.25	トヨタハイエース4WD
	救助工作車Ⅱ型	消防本部	R2. 3.30	日野　4WD　FRPハイルーフ
	救急指導車	消防本部	H23. 3. 3	トヨタハイメディック (住田町より)
	連絡車	消防本部	H29. 3.14	ホンダバモス 〔オノデラサイン贈〕
	支援車	総 務 省	H23. 3.11	日野プロフィア　低床型 〔総務省消防庁配備〕
	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車	大船渡 消防署	H27. 3.26	日野（水槽2,000㎥）
	災害対応特殊化学 消防ポンプ自動車	大船渡 消防署	H30. 3.16	日野（水槽1,500㎥、消火薬液槽500㎥）
	屈折はしご付消防自動車	大船渡 消防署	H18. 3. 2	日野プロフィアΣ25m級
	高規格救急１号車	大船渡 消防署	H29. 3. 2	トヨタハイメディック (災害対応特殊救急自動車)
	高規格救急２号車	大船渡 消防署	H24. 3.21	トヨタハイメディック （JA共済贈）
	高規格救急３号車	大船渡 消防署	R8. 1.30	トヨタハイメディック (災害対応特殊救急自動車)
	指揮車	大船渡 消防署	H22. 3.24	三菱デリカD5
	消火泡吐出型水槽付 消防ポンプ自動車	住田分署	H31. 3.20	日野CD－Ⅰ型A-2級4WD
	高規格救急車	住田分署	R1. 9.17	トヨタハイメディック
	水槽付消防ポンプ自動車	三陸分署	H31. 3.13	日野CD－Ⅰ型A-2級4WD
	高規格救急車	三陸分署	R 4. 12.22	トヨタハイメディック
	輸送車	三陸分署	H24.11.16	トヨタ（大船渡市からの無償譲渡）
	消火泡吐出型水槽付 消防ポンプ自動車	綾里分遣所	H21. 1.20	トヨタCD－Ⅰ型A-2級4WD
	高規格救急車	綾里分遣所	R4. 3.23	トヨタハイメディック
林野火災用資機材	薬剤散布装置	消防本部	S61. 3.15	中型ヘリ用6台
	薬剤混合機	消防本部	S61. 3.15	2台
	可搬式動力ポンプ	消防本部	S61. 3.15	シバウラB-3級 3台
消火・救助等用資機材	大型油圧救助器具一式	消防本部	H24.11.26	救助工作車積載用大型油圧救助器具一式
	空気エアジャッキ一式	大船渡 消防署	H11. 7.23	リフトバック
		消防本部	R2. 3.30	VETTERジャンプバッグ
		消防本部	R2. 3.30	リフトバック（1.0MPa）

区　　分		所　有	車両登録年月日	仕　　様
消火・救助等用資機材	救助用エンジンポンプ	三陸分署	H11. 3.20	ホルマトロ社製エンジンポンプTPU10
		住田分署	H11. 5.14	ホルマトロ社製エンジンポンプTPU10
		消防本部	H24.11.26	ホルマトロ社製エンジンポンプPU30C
	油圧救助器具スタンダード スプレッター	三陸分署	H11. 3.20	ホルマトロ社製3240
		住田分署	H11. 5.14	ホルマトロ社製3240
		消防本部	R2. 3.30	Ogura　HRS-95
		消防本部	R2. 3.30	ウェーバー　スプレッダー　SP53BS　E-FORCE2
	油圧救助器具カッター	三陸分署	H11. 3.20	ホルマトロ社製3020
		住田分署	H11. 5.14	ホルマトロ社製3020
		消防本部	R2. 3.30	ウェーバー　カッター　RSU180PLUS　E-FORCE2
	充電式油圧救助器具 マルチカッター	住田分署	H19. 7.10	1式
	油圧ジャッキ	消防本部	R2. 3.30	ウェーバー　ラムシリンダー　E-FORCE2　RZT2-1500　2基
	電動ホースカー	大船渡 消防署	H30. 3.19	加納式電動ホースカー　長野ポンプ製　NGN-25A
		三陸分署	H31. 3.13	加納式電動ホースカー　長野ポンプ製　NGN-25A
		住田分署	H31. 3.20	加納式電動ホースカー　東京サイレン製　TS-R120
	三連はしご	消防本部	H15. 2.20	KHA-87型チタン製(全長・伸長8765m/m、縮長35605m/m、巾3935m/m、質量31kg)
		大船渡 消防署	H30. 3.19	三連チタン製　KHA-87
		三陸分署	H31. 3.13	三連ステンレス製　7.4m　KHFL-SIW74
		綾里分遣所	H21. 1.20	MAL-387アルミ合金製（全伸長8.74m/収納時3.55m/質量24.5kg）
		住田分署	H31. 3.20	三連ステンレス製　7.4m　KHFL-SIW74
		消防本部	R2. 3.30	三連チタン製　KHA-74
	充電式救助工具	大船渡 消防署	H30. 3.19	ハンマードリル、レシプロソー
		住田分署	H31. 3.20	ルーカス製　コンビツール
	赤外線カメラ	大船渡 消防署	H27. 3.26	FLIR　K-65
		大船渡 消防署	H30. 3.19	FLIR　K-65
		三陸分署	H31. 3.13	FLIR　K-55
		住田分署	H31. 3.20	FLIR　K-55
		消防本部	R2. 3.30	ドレーゲル　UCF9000

区　　分		所　有	車両登録年月日	仕　　様
消火・救助等用資機材	簡易画像探索機	消防本部	R2. 3.30	プロカムⅡ
	投光器一式	消防本部	R2. 3.30	カネコ製信号器付投光装置　KS9302A
	可燃性ガス測定器	消防本部	R2. 3.30	理研計器　GX-6000
	レスキュードローン	消防本部	R2. 3.30	ACSL　MINI
	救命索発射銃	消防本部	R2. 3.30	レスキューマックス
	救助用簡易起重機	消防本部	R2. 3.30	ACX　パワーアッセンダー（電動モーター）
	エンジンカッター	消防本部	R2. 3.30	ハスクバーナー　K970レスキュー
	ガス溶断機	消防本部	R2. 3.30	アークエアー
	手動ウインチ	消防本部	R2. 3.30	CMCハーケンロックヘッドウインチキット735500
	救助用支柱器具	消防本部	R2. 3.30	RESCUE42
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	消防本部	R2. 3.30	ハスクバーナ　コンクリートチェーンソー
	救急用除細動器	大船渡消防署	R8. 2.17	半自動式除細動器 TEC-2603
		大船渡消防署	R6. 7.26	半自動式除細動器 TEC-2603
		大船渡消防署	H28. 3. 9	半自動式除細動器 TEC-2513
		住田分署	R1. 9.17	半自動式除細動器　TEC-2603
		住田分署	R1. 9.17	AED-3150(AED)
		消防本部	R2. 3.30	サマリタン　PAD350P(AED)
		綾里分遣所	R4. 3.22	半自動式除細動器　TEC-2603
		三陸分署	R5. 2.13	半自動式除細動器　TEC-2603
	救急用モニタ	大船渡消防署	R8.2.17	BSM-3562
		大船渡消防署	H15.10.31	BSM-4103
		大船渡消防署	H29. 3. 9	BSM-3562
		住田分署	R1. 9.17	BSM-3562
		綾里分遣所	R4. 3.22	BSM-3562
		三陸分署	R5. 2.13	BSM-3562
	救急用エクスチェンジストレッチャー	大船渡消防署	R8. 2.17	Stryker Power-PRO 2
		大船渡消防署	H20. 9.22	ファーノ社製4080-S
		住田分署	R1. 9.17	ファーノ社製4080-S
		綾里分遣所	R4. 3.22	ファーノ社製4080-S

区分			所有	車両登録年月日	仕様
消火・救助等用資機材	心肺蘇生装置		大船渡消防署	R8. 2.17	クローバー3000
			大船渡消防署	R8. 2.17	アンサーライトDセット
			大船渡消防署	H29. 3. 9	可搬型人工呼吸器（メデュマットイージーCPR）
			大船渡消防署	H29. 3. 9	LUCAS2（ME-1005-029）
			住田分署	R1. 9.17	アンサーDセット
			住田分署	R1. 9.17	クローバー3000
			三陸分署	R5. 2.13	可搬型人工呼吸器（メデュマットイージーCPR）
			三陸分署	R5. 2.13	LUCAS3
			綾里分遣所	R4. 3.22	可搬型人工呼吸器（メデュマットイージーCPR）
			綾里分遣所	R4. 3.22	LUCAS3
	高度救命用救急資器材		大船渡消防署	H29. 3. 9	高規格救急自動車積載用資機材一式
	救急訓練用資器材		消防本部	H 9. 8.13	高度救急処置シミュレーター一式
	12誘導心電図伝送装置		住田分署	R1. 9.17	12誘導心電図伝送システム「富士の国」NR-1207-E
			綾里分遣所	R4. 3.22	12誘導心電図伝送システム「富士の国」NR-1207-E
			三陸分署	R5. 2.13	12誘導心電図伝送システム「富士の国」NR-1207-E
	パルスオキシメーター一式		住田分署	R1. 9.17	Red-57　2個
			綾里分遣所	R4. 3.22	Red-57　1個
			三陸分署	R5. 2.13	Red-57　1個
無線・通信指令関係	基地局無線設備	回線制御装置	消防本部	H25. 3.25	32無線チャンネル主要部二重化構成、データ伝送機能　1台
		管理監視制御卓	消防本部	R7. 3.19	ディスプレイ、プリンタ、ショートメッセージ用端末　1式
		基地局無線装置	消防本部	H25. 3.25	出力10W、現用/予備　17台
			消防本部	H25. 3.25	出力10W、現用/予備、予備、統制波、ﾁｬﾝﾈﾙ切替　2台
		空中線共用器Ⅰ型	消防本部	H25. 3.25	TRX1/SDRX1、2基地局無線装置　5式
		空中線共用器Ⅱ型	消防本部	H25. 3.25	TRX1/SDRX1、3基地局無線装置　2式
		空中線	消防本部	H25. 3.25	スリーブ型、260MHz帯、2dB以上、無指向性、金具付　14基
		空中線	消防本部	H25. 3.25	3素子八木型、260MHz帯、8dB以上、金具付　6基
		同軸避雷器	消防本部	H25. 3.25	260MHz帯　20台
		遠隔制御装置	消防本部	H25. 3.25	高機能型、監視・制御機能、セレコール、ショートメッセージ、ディスプレイ　8台
			消防本部	H25. 3.25	ディスプレイなし　4台

区分			所有	車両登録年月日	仕様
無線・通信指令関係		回線接続装置	消防本部	H25. 3.25	デジタルアクセス専用線(DA-64/128)接続用 12台
	車載型移動局無線設備	車載無線機	消防本部	H25. 3.25	出力10W2波複信又は2波単信用、分離型又は、一体型操作部の選択が可能　23台
			消防本部	H25. 3.25	出力10W2波複信又は2波単信用、動態情報送出機能付　77台
		空中線	消防本部	H25. 3.25	ホイップ型、260MHｚ帯、２ｄB以上、ケーブル接栓付　200基
			消防本部	H25. 3.25	ホイップ型、260MHｚ帯、４ｄB以上、ケーブル接栓付(高利得型)　20基
	携帯	携帯無線機	消防本部	H25. 3.25	出力2W以上1波単信又は2波単信用切換用、付属品含　49台
			消防本部	H27.12.25	携帯型無線機装置ICOM製　IC-VH37MFT　付属品含　6台
		携帯型受令器	大船渡市	H29. 3.25	１波受信型　4台
			消防本部	H25. 3.25	１波受信型　30台
	可搬	可搬型無線機	消防本部	H25. 3.25	出力10W以上2波複信又は2波単信用、電源装置一体型、付属品含　5台
	卓上	卓上型固定移動局無線装置	消防本部	H25. 3.25	出力10W以上2波複信又は3波単信用、電源装置一体型、付属品含　7式
		卓上型受令機	大船渡市	H29. 3.25	260MHz帯　2台
	卓上	空中線	大船渡市	H29. 3.25	スリーブ型、260MHｚ帯、２ｄB以上、無指向性、金具付　1基
			消防本部	H25. 3.25	スリーブ型、260MHｚ帯、２ｄB以上、無指向性、金具付　14基
		同軸避雷器	大船渡市	H29. 3.25	260MHz帯　1台
			消防本部	H25. 3.25	260MHz帯　14台
	非常用	非常用発動発電機	消防本部	H25. 3.25	単相3線、18KVA、屋内型、72時間以上対応可能、切替盤含　1式（今出山）
		非常用発動発電装置	消防本部	H25. 3.25	単相2線、10KVA以上、自動起動式､72時間以上補償、切替盤含　1式（大平）
			消防本部	H25. 3.25	単相2線、５KVA以上、自動起動式､72時間以上補償、切替盤含　3式（荷沢、種山、長崎）
	電源設備	直流電源装置	消防本部	H25. 3.25	DC48V、100A以上(大容量型)　1台（今出山）
			消防本部	H25. 3.25	DC48V、50A以上(中容量型)　2台(大平)､(本部)
			消防本部	H25. 3.25	DC48V、30A以上(小容量型)　3台(荷沢、種山、長崎)
		耐雷トランス	消防本部	H25. 3.25	屋内据付型、20KVA　1式（今出山）
			消防本部	H25. 3.25	屋内据付型、15KVA　1式（大平）
			消防本部	H25. 3.25	屋内据付型、５KVA　3式（荷沢、種山、長崎）
	電源設備	電源用SPD	消防本部	H25. 3.25	SPM-023　単相３線式100/200Ｖ用、3相3線式200Ｖ用　1台（今出山）
			消防本部	H25. 3.25	SPM-021　単相２線式100Ｖ用　4台（大平、荷沢、種山、長崎）

区　　分			所　有	車両登録年月日	仕　　様
無線・通信指令関係	電源設備	自動復帰型ブレーカ	消防本部	H25. 3.25	ARB-N型、屋外据付用　1台（今出山）
			消防本部	H25. 3.25	ARB-OP型、屋外据付用　4台（大平、荷沢、種山、長崎）
	局舎	局舎I型	消防本部	H25. 3.25	SPC-169(特)型、運搬、組立、基礎、据付、フェンス(門扉)等含む　2式（今出山、大平）
		局舎Ⅱ型	消防本部	H25. 3.25	SPC-122(特)型、運搬、組立、基礎、据付、フェンス(門扉)等含む　3式（荷沢、種山、長崎）
		通信局舎	大船渡市	H29. 3.25	中容量型、架台付
	鉄塔	鉄塔Ⅰ型	消防本部	H25. 3.25	鋼管単柱L＝30m、6mリング1段輸送、組立、基礎、配管等含む　1式（大船渡）
		鉄塔Ⅱ型	消防本部	H25. 3.25	アングル鉄塔L＝15m、6mリング2段輸送、組立、基礎、配管等含む　1式（今出山）
		鉄塔Ⅲ型	消防本部	H25. 3.25	アングル鉄塔L＝20m、6mリング1段輸送、組立、基礎、整地、配管等含む　1式（大平）
		鉄塔Ⅳ型	消防本部	H25. 3.25	鋼管単柱、L＝20m、6m取付金具、輸送、組立、基礎、配管等含む　1式（長崎）
		鉄塔Ⅴ型	消防本部	H25. 3.25	鋼管組柱、L＝560EMT型、L14.9m、6m取付金具、輸送、組立、基礎、配管等含む　2式（荷沢、種山）
		鉄塔Ⅵ型	消防本部	H25. 3.25	鋼管組柱、L＝560EM型、L14.9m、6m取付金具、輸送、組立、基礎、配管等含む　3式（住田、三陸、綾里）
		鋼管組柱	大船渡市	H29. 3.25	SS400、壁面取付型　2式
	多重	多重無線装置	消防本部	H25. 3.25	7.5GHｚ帯、4PSK-13Mbqs(現用/予備)、ODU･IDU　4式（大船渡、今出山×2、大平）
	空中線	空中線	大船渡市	H29. 3.25	可搬ポール、ベース、ケーブル、収容ケース　2組
			消防本部	H25. 3.25	0.9mφレドーム付、取付金具含む　2基（大船渡、今出山）
			消防本部	H25. 3.25	2.0mφレドーム付、取付金具含む　2基（今出山、大平）
	指令装置	指令台	消防本部	R7. 3.19	4画面構成(支援・自動・地図１・地図２)　2台
		自動出動指定装置 制御処理装置	消防本部	R7. 3.19	データメンテナンス装置含む　1式
		自動出動ディスプレイ	消防本部	R7. 3.19	23インチ以上ワイド液晶　2台
		データメンテナンス装置	消防本部	R7. 3.19	地図メンテナンス兼用　1台
		地図等検索装置	消防本部	R7. 3.19	4台
		地図用ディスプレイ	消防本部	R7. 3.19	23インチ以上ワイド液晶　4台
		支援情報表示装置 制御処理装置	消防本部	R7. 3.19	2台
	指令装置	支援情報ディスプレイ	消防本部	R7. 3.19	23インチ以上ワイド液晶　2台
		長時間録音装置	消防本部	R7. 3.19	HDD録音　1式
		非常用指令設備	消防本部	R7. 3.19	指令制御装置と同等機能　1式
		指令制御装置	消防本部	R7. 3.19	自動切替方式、完全二重化以上、自立型　1式

区　　分			所　有	車両登録年月日	仕　　様
無線・通信指令関係	指令装置	携帯電話・IP電話 受信転送装置	消防本部	R7. 3.19	指令制御装置及び非常用指令設備内に機能含む
		プリンタ	消防本部	R7. 3.19	A4版モノクロレーザー、汎用品　1式
		署所端末装置	消防本部	R7. 3.19	出動車両の受令及び車両状況の設定　4式
	表示盤	車両運用表示盤	消防本部	R7. 3.19	65インチ以上液晶ディスプレイ、自立型　1面
		支援情報表示盤	消防本部	R7. 3.19	65インチ以上液晶ディスプレイ、自立型　1面
		多目的情報表示装置	消防本部	R7. 3.19	65インチ以上液晶ディスプレイ、自立型　2面
		車両運用表示盤 （署所用）	消防本部	R7. 3.19	50インチ以上液晶、壁面取付型　1面
		映像制御装置	消防本部	H25. 3.25	映像信号分配器、DVDレコーダー、映像操作卓含む 1式
		映像分配装置	消防本部	H29. 3.25	
		災害情報表示盤	消防本部	R7. 3.19	75インチ以上液晶、壁面取付型　2面
		多目的情報表示 （大船渡消防署）	消防本部	R7. 3.19	50インチ以上液晶、壁面取付型　1面
		多目的情報表示 （指令センター）	消防本部	R7. 3.19	32インチ以上液晶、壁面取付型　6面
	指令電送装置	指令情報送信装置	消防本部	R7. 3.19	自動出動指定装置内に機能含む　1式
		指令情報出力装置	消防本部	R7. 3.19	PC、モノクロプリンタ含む　1式
			消防本部	R7. 3.19	制御処理装置、ディスプレイ(23インチ以上液晶)、プリンタ　4式
	気象	気象情報収集装置	消防本部	R7. 3.19	風向風速発信機、湿度発信機、自然通報シェルター、データロガー(WEB機能内臓)、閲覧・メンテ用PC　1式
	音声	音声合成装置	消防本部	R7. 3.19	規則合成方式、大規模コーパスベース方式、音片メンテナンス方式 1式
	LAN	無線LANアクセスポイント	消防本部	R7. 3.19	ネットワーク対応型、収容BOX含む　8台
	統合	統合型位置通知装置	消防本部	R7. 3.19	指令台連動型、発信位置情報通知装置(統合型)　1式
	出動車両運用装置	管理装置	消防本部	R7. 3.19	1式
		車両運用端末装置 （Ⅲ型）	消防本部	R7. 3.19	AVM、GPS、地図表示、ルート検索　15台
		車外設定端末装置	消防本部	R7. 3.19	6動態以上　18台
	システム	システム監視装置	消防本部	R7. 3.19	システム運用状況管理、ディスプレイ　1式
	電源設備	無停電電源装置 （本部用）	消防本部	R7. 3.19	AC100V系、10kVA以上、分散2系統、CVCF、停電保証時間10分以上　1台
		無停電電源装置 （署所用）	消防本部	R7. 3.19	AC100V系、3kVA以上、停電保証時間10分以上　1台
		直流電源装置	消防本部	R7. 3.19	DC48V系、停電補償時間4時間以上、蓄電池（超長寿命型SNS）　1台
		非常用発動発電機 （署所用）	消防本部	H25. 3.25	5KVA以上、72時間以上補償、屋外型自動起動式、切替盤含む　3式

区分			所有	車両登録年月日	仕様
無線・通信指令関係	高所監視装置	監視カメラ装置	消防本部	R7. 3.19	屋外雲台一体型カメラ、高感度、塩害対応、約417万画素、倍率30倍 1台
		操作端末装置	消防本部	R7. 3.19	デスクトップ型PC、WEBデコーダ、ネットワークビデオレコーダー等 1台
		5GHz帯無線LAN装置	消防本部	R7. 3.19	5GHz帯無線アクセスシステム、パラボラアンテナ　2台
		電源接続箱(オートリセットブレーカー)	消防本部	R7. 3.19	電源用SPD(柱上設置型)、自動復旧ブレーカ定格15A、高速避雷器クレスⅡ、入力電圧AC100V、SUS、指定色、鋼管組柱取付金具等含む　1台
		無停電電源装置	消防本部	R7. 3.19	1台
		画像伝送装置	大船渡市	H29. 3.25	1式
	画像伝送	HDカメラ	大船渡市	H29. 3.25	1台
		スマートフォン	大船渡市	H29. 3.25	5台
	庁内監視装置	カメラ装置	消防本部	H25. 3.25	Web方式、ドーム型　3式
		カメラ装置(屋外用)	消防本部	R7. 3.19	ネットワークカメラ、屋外ハウジング　7台
		カメラ装置(屋内用)	消防本部	R7. 3.19	ネットワークカメラ　6台
		監視カメラ制御装置	消防本部	R7. 3.19	制御処理装置、ディスプレイ、HDD録画、スイッチャー、コントローラー　1台
		2.4GHz帯無線LAN装置	消防本部	R7. 3.19	2.4GHz帯ビル間通信ユニット、平面アンテナ　2台
		電源接続箱(オートリセットブレーカー)	消防本部	R7. 3.19	電源用SPD(柱上設置型)、自動復旧ブレーカ定格15A、高速避雷器クレスⅡ、入力電圧AC100V、SUS、指定色、鋼管組柱取付金具等含む　1台
	構内自動電話交換装置	構内電話交換機 (タイプM)	消防本部	R7. 3.19	IP化対応、停電補償時間180分以上　1式
		構内電話交換機 (タイプS)	消防本部	R7. 3.19	IP化対応、停電補償時間180分以上　3式
		多機能電話機	消防本部	H29. 3.25	ネットワーク対応型、停電対応型　28台
			消防本部	H25. 3.25	ネットワーク対応型、停電対応型　7台
		一般電話機	消防本部	H25. 3.25	ネットワーク対応型　27台
		コードレス電話機	消防本部	R7. 3.19	ネットワーク対応型　7台
		アクセスポイント	消防本部	H29. 3.25	ネットワーク対応型、コードレス電話機用　36個
			消防本部	H25. 3.25	ネットワーク対応型、コードレス電話機用　4個
		FAX	消防本部	H29. 3.25	MFC-8890DW相当品　1台
			消防本部	H25. 3.25	MFC-8890DW相当品　5台
	放送設備	アンプ	消防本部	R7. 3.19	60W、卓上型、5局、マイク、チャイム付き　3台
		スピーカ(屋外用)	大船渡市	H29. 3.25	ホーン型、防水型、定格入力5W以上　1個
			消防本部	H25. 3.25	ホーン型、防水型、定格入力5W以上　6個

区分			所有	車両登録年月日	仕様
無線・通信指令関係	放送設備	スピーカ(屋内用)	大船渡市	H29. 3.25	壁掛型、定格入力3W以上　55個
			消防本部	H25. 3.25	壁掛型、定格入力3W以上　20個
		駆け込み通報装置	消防本部	R7. 3.19	署所端末装置と接続、カメラ付き　4式
	119受信装置	NET119受信装置	消防本部	R7. 3.19	1台
		LIVE119受信装置	消防本部	R7. 3.19	1台
		FAX119受信装置	消防本部	R7. 3.19	卓上型、着信表示機能　1台
	防無	防災行政無線等集中制御装置	消防本部	H25. 3.25	防災無線及び音声告知放送との連携　大船渡市、住田町　1式
	メール	Eメール指令装置	消防本部	R7. 3.19	1式
	OAシステム	サーバー	消防本部	R7. 3.19	データベース管理（警防業務）　1台
		クライアントPC	消防本部	R7. 3.19	デスクトップPC、23インチ以上液晶　7台
		プリンタ	消防本部	R7. 3.19	汎用型　6台
		ネットワーク機器	消防本部	R7. 3.19	1式
	受信装置	J-ALERT受信装置	消防本部	H25. 3.25	据付調整含む　1式
	避雷器	高速避雷器（本部用）	消防本部	R7. 3.19	1式
		高速避雷器（署所用）	消防本部	R7. 3.19	3式
	拡張台	拡張台（W-1200mm）	消防本部	R7. 3.19	1台
		拡張台（W-600mm）	消防本部	R7. 3.19	2台
	配線	配線架（MDF）	消防本部	H25. 3.25	キャビネット型　1式
	受電	複合受電盤	消防本部	H29. 3.25	1面
	監視	管理監視制御卓	消防本部	R7. 3.19	制御処理装置、ディスプレイ　1台
	予備	予備・付属品	消防本部	R7. 3.19	交換用送受器40個、予備電子部品類1式、モノクロプリンタトナー50本、シュレッダー1台、空気清浄機1台、掃除機1台、黒板用ウォール、スマートフォン(iPhone15Pro)7台
その他の財産	空気充填用コンプレッサー		消防本部	H18. 7.25	パワアーコンプレッサーC3E/SP-3
	緊急消防援助隊用エアテント		消防本部	H20. 7.29	エアテント、前室兼風除室、エアブロアー、発電機、灯油式給湯器、エアテント用可搬型暖房機、バルーン照明灯、簡易トイレセット、隊員用ザック、シュラフ
	化学防護服一式		消防本部	H26.11.28	ドレーゲル社製2着
	危険物引火点測定用資機材引火点試験器		消防本部	H 3. 2.22	引火点試験器3点セット(TAG-E、COC-E、RT-1)

１０．通信指令施設の状況

R8.4.1現在

施設別＼所属別				消防本部	大船渡消防署	住田分署	三陸分署	綾里分遣所	計	備　考
指令情報送信装置				1					1	
指令情報出力装置					1	1	1	1	4	
車両運用端末装置（Ⅲ型）				2	7	2	2	2	15	
	消防Ａタイプ			1	4	1	1	1	8	
	救助Ｂタイプ			1					1	
	救急Ｃタイプ				3	1	1	1	6	
車外設定端末装置（Ⅲ型）				0	9	3	3	3	18	
	消防Ａタイプ			0	6	2	2	2	12	
	救助Ｂタイプ								0	
	救急Ｃタイプ				3	1	1	1	6	
消防無線	アナログ無線	基地局		1					1	防災相互通信無線（150MHz帯）
		固定局								H28.5.31　廃止
		車載型移動局								
		携帯型移動局	１０Ｗ							防災相互通信無線（150MHz帯）
			５Ｗ	2	1	1	1	1	6	
			１Ｗ							
	デジタル無線	基地局		6					6	消防本部のうち５局は今出山、大平、荷沢、種山、長崎基地局。
		車載型移動局		4	11	3	3	2	23	
		携帯型移動局		6	18	7	8	5	44	
		可搬型移動局		2		1	1	1	5	
		卓上固定型移動局		4		1	1	1	7	消防本部のうち２局は大船渡市役所、住田町役場。
	署活系携帯型移動局			1	33	6	6	3	49	
電話回線等	１１９番受付回線			19					19	
		ＮＴＴ加入電話		2					2	
		携帯電話		4					4	
		ＩＰ電話（ＮＴＴひかり）		3					3	
		ヘルプネット受付回線		1					1	ISDN１回線
		携帯電話転送回線		2					2	ISDN２回線
		衛星119番迂回		1					1	アナログ回線
		署所駆け込み通報装置		5					5	
		ファックス119回線		1					1	アナログ回線
	救急車携帯電話			1	3	1	1	1	7	
	車載衛星携帯電話				2	1	1	1	5	
	固定可搬型衛星携帯電話			1	1	1	1	1	5	
	一般加入電話回線			1		1	1	1	4	
	ファクシミリ回線			1	2				3	
	指令台局線			1					1	
	内線電話			14	31	7	6	4	62	
	構内ＰＨＳ			3	5	1	1	1	11	
防災行政無線連動装置				1					1	
防災行政無線放送設備				1		1			2	

１１．歴代組合管理者

R8.4.1現在

代	氏　名	就　任	退　任	備　考
初	藤原　滝三郎	昭和48年　4月　1日	昭和50年　1月　28日	大船渡市長
2	鈴木　八五平	昭和50年　1月　29日	昭和51年　2月　8日	〃
3	臼井　勝三	昭和51年　3月　7日	昭和61年　12月　2日	〃
4	白木沢　桂	昭和61年　12月　3日	平成 6年　12月　2日	〃
5	甘竹　勝郎	平成 6年　12月　3日	平成22年　12月　2日	〃
6	戸田　公明	平成22年　12月　3日	令和 4年　12月　2日	〃
7	渕上　清	令和 4年　12月　3日	現　在	〃

１２．歴代消防長

R8.4.1現在

代	氏　名	就　任	退　任	備　考
初	藤原　滝三郎	昭和30年　4月　7日	昭和43年　5月　31日	大船渡市助役兼務
2	大和田　肇	昭和43年　6月　1日	昭和46年　3月　31日	〃
3	田中　衞	昭和46年　4月　1日	昭和51年　4月　30日	専　任
4	山口　司	昭和51年　5月　1日	昭和55年　1月　31日	〃
5	柏木和晴	昭和55年　2月　1日	昭和59年　3月　31日	〃
6	千葉喜八郎	昭和59年　4月　1日	昭和63年　3月　31日	〃
7	千葉英夫	昭和63年　4月　1日	平成 3年　3月　31日	〃
8	今野克之	平成 3年　4月　1日	平成 6年　3月　31日	〃
9	休石昭一	平成 6年　4月　1日	平成 8年　3月　31日	〃
10	大畑信吾	平成 8年　4月　1日	平成10年　3月　31日	〃
11	金野重夫	平成10年　4月　1日	平成13年　3月　31日	〃
12	佐藤浩平	平成13年　4月　1日	平成14年　3月　31日	〃
13	新沼右近	平成14年　4月　1日	平成15年　3月　31日	〃
14	船野克之	平成15年　4月　1日	平成17年　3月　31日	〃
15	崎山盛雄	平成17年　4月　1日	平成18年　3月　31日	〃
16	新沼幸夫	平成18年　4月　1日	平成20年　3月　31日	〃
17	田中勘一郎	平成20年　4月　1日	平成21年　3月　31日	〃
18	金野律夫	平成21年　4月　1日	平成22年　3月　31日	〃
19	近藤育治郎	平成22年　4月　1日	平成23年　6月　30日	〃 （東日本大震災対応のため三ヶ月勤務延長）
20	佐々木裕一	平成23年　7月　1日	平成25年　3月　31日	専　任
21	前野浩哉	平成25年　4月　1日	平成26年　3月　31日	〃
22	上野新悦	平成26年　4月　1日	平成27年　3月　31日	〃
23	中井栄一郎	平成27年　4月　1日	平成28年　3月　31日	〃
24	村上芳春	平成28年　4月　1日	平成31年　3月　31日	〃
25	橋本洋治	平成31年　4月　1日	令和 2年　3月　31日	〃
26	大久保守正	令和 2年　4月　1日	令和 3年　3月　31日	〃
27	大畑養一	令和 3年　4月　1日	令和 4年　3月　31日	〃
28	千葉仁一	令和 4年　4月　1日	令和 5年　3月　31日	〃
29	武田吉宏	令和 5年　4月　1日	令和 6年　3月　31日	〃
30	管野　賢	令和 6年　4月　1日	令和 7年　3月　31日	〃
31	鈴木　将	令和 7年　4月　1日	現　在	〃

１３．叙勲受章者の調べ

R8.4.1現在

受章年	種別	階級	氏名
平成16年秋	瑞宝単光章	(元) 消防司令長	菊地将郎
平成17年春	瑞宝双光章	(元) 消防監	佐藤浩平
平成18年春	瑞宝単光章	(元) 消防司令長	佐藤光雄
平成18年秋	瑞宝単光章	(元) 消防司令	新沼隆
平成19年秋	瑞宝双光章	(元) 消防監	千葉英夫
平成20年春	瑞宝単光章	(元) 消防司令	佐藤立
平成20年春	瑞宝双光章	(元) 消防監	大畑信吾
平成21年春	瑞宝双光章	(元) 消防監	金野重夫
平成21年秋	瑞宝双光章	(元) 消防監	新沼右近
平成22年春	瑞宝単光章	(元) 消防司令長	菅生和郎
平成22年秋	瑞宝単光章	(元) 消防司令	中嶋邦良
平成23年春	瑞宝双光章	(元) 消防監	船野克之
平成23年春	瑞宝双光章	(元) 消防監	崎山盛雄
平成23年秋	瑞宝単光章	(元) 消防司令長	佐藤勝利
平成23年秋	瑞宝単光章	(元) 消防司令長	金野清郷
平成25年（死亡叙勲）	瑞宝単光章	(元) 消防司令	入澤藤郎
平成25年秋	瑞宝双光章	(元) 消防監	新沼幸夫
平成27年春	瑞宝双光章	(元) 消防司令長	田中勘一郎
平成28年秋	瑞宝双光章	(元) 消防司令長	金野律夫
平成29年秋	瑞宝双光章	(元) 消防司令長	近藤育治郎
令和２年（死亡叙勲）	瑞宝双光章	(元) 消防司令長	中井栄一郎
令和２年（死亡叙勲）	瑞宝単光章	(元) 消防司令	佐々木健
令和５年（死亡叙勲）	瑞宝双光章	(元) 消防司令長	佐々木裕一
令和5年秋	瑞宝単光章	(元) 消防司令	木村芳久

１．組合管内山火事用資機材保有状況

（ ）内は岩手県からの委託

R8.4.1現在

区分 / 資機材名		大船渡地区消防組合						消防団			合計
		消防本部	大船渡署	住田分署	三陸分署	空中消火基地	計	大船渡市	住田町	計	
可搬式高圧送水装置											
ホース背負い器				2			2				2
可搬式動力ﾎﾟﾝﾌﾟD級											
可搬式散布装置			123 (123)	85 (40)	10 (10)		218 (173)				218 (173)
ｳｫｰﾀｰﾁｬｰｼﾞｬｰ			1 (1)	1 (1)	1 (1)		3 (3)				3 (3)
移動式水槽			3 (3)	2 (1)	1 (1)		6 (5)				6 (5)
チェンソー			7 (7)	6 (3)	4 (4)		17 (14)				17 (14)
草刈り機			5 (5)	3 (3)	24 (24)		32 (32)				32 (32)
唐　鍬			19	3			22	88	50	138	160
造林鎌			17				17				17
スコップ			65		15		80	44	194	238	318
折り畳みスコップ			18	8			26				26
カッチャ			4	11			15	66		66	81
ノコギリ			8				8				8
空中消火資機材	水のう中型					12 (6)	12 (6)				12 (6)
	組立水槽(2000L)					3 (2)	3 (2)				3 (2)
	混合機					3 (1)	3 (1)				3 (1)
	可搬式動力ポンプ					3	3				3
	粉砕機					1 (1)	1 (1)				1 (1)
	ベルトコンベア					3	3				3
	FR-T(kg)					6,580 (6,580)	6,580 (6,580)				6,580 (6,580)
	Super MAPL(kg)					2,250 (2,250)	2,250 (2,250)				2,250 (2,250)
	増粘剤(kg)					640 (640)	640 (640)				640 (640)

２．組合油処理資機材等保有状況

R8.4.1現在

品　　名	大船渡消防署	住田分署	三陸分署	綾里分遣所	合計
油処理剤　(kℓ)	0.191	0.018	0.030		0.239
油吸着剤　(kg)	280	58	75	13	426

３．組合化学消火薬剤備蓄状況

R8.4.1現在

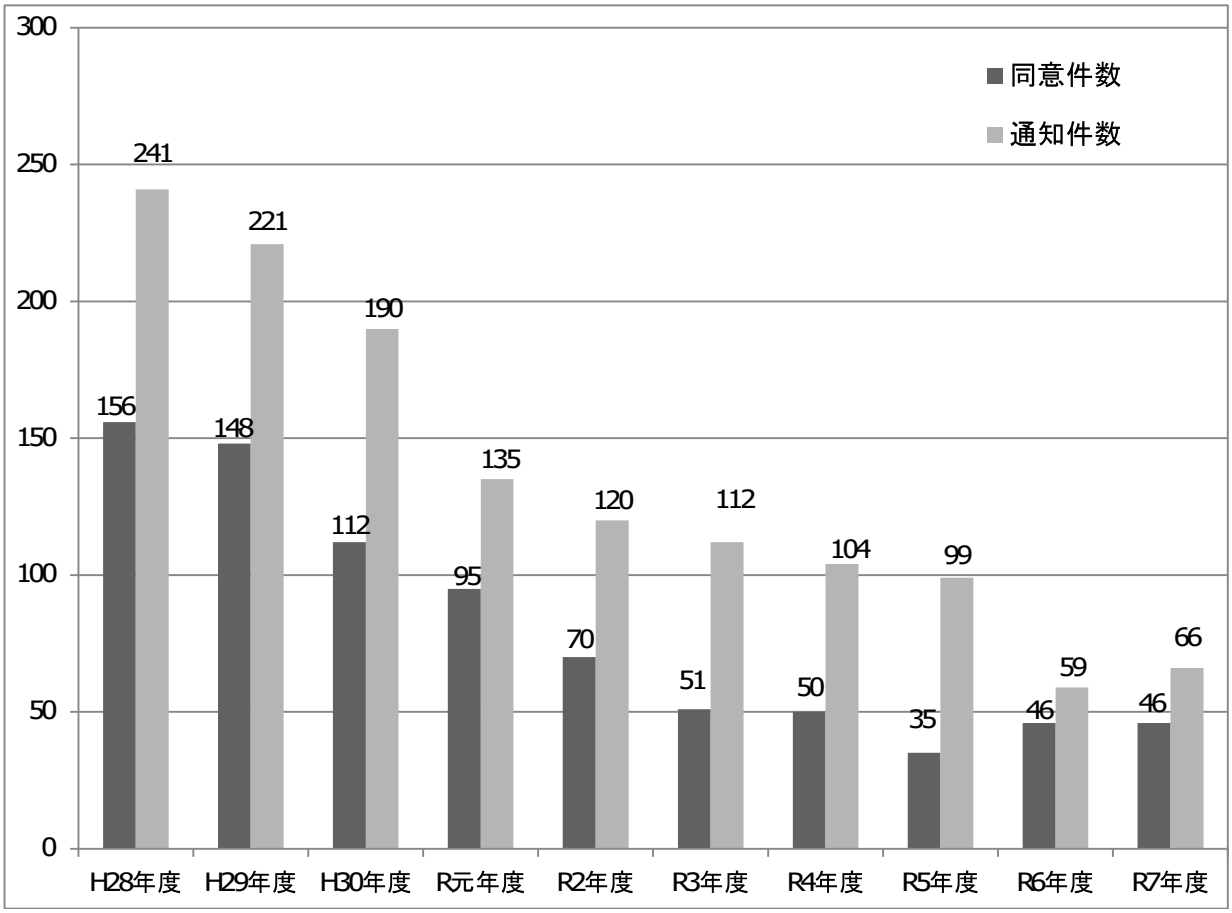
品　　名	大船渡消防署	住田分署	三陸分署	綾里分遣所	合計
合成界面活性剤　（kℓ）	0.900	0.200	0.180	0.140	1.42
水成膜泡消火薬剤　（kℓ）	1.040		0.200		1.24
水溶性液体用消火薬剤（kℓ）					0.00

１．建築確認同意事務の状況

R7.4.1～R8.3.31

申請区分	大船渡市			住田町			合計
	同意	不同意	小計（A）	同意	不同意	小計（B）	（C）（A）＋（B）
新築	31		31	6		6	37
増築	6		6				6
改築	2		2				2
撤去							
用途変更	1		1				1
移転							
模様替							
修繕							
その他							
計	40		40	6		6	46

２．建築確認同意及び通知件数の推移



３．防火対象物数

R8.3.31現在

令別表区分			区分／項目	大船渡市									住田町	合計
				盛	大船渡	末崎	赤崎	猪川	立根	日頃市	三陸	計		
一	イ		劇場、映画館、演芸場等											
	ロ		公会堂・集会場	6	5	1	4	4	3	1	18	42	13	55
二	イ		キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等											
	ロ		遊技場等		1			1	1			3		3
	ハ		風俗営業等											
	ニ		カラオケボックス等											
三	イ		待合・料理店等											
	ロ		飲食店	4	10				2	1		17	6	23
四			百貨店・マーケット等	11	26	2	8	9	19		6	81	7	88
五	イ		旅館・ホテル等		13	1		2	2		8	26	3	29
	ロ		寄宿舎・共同住宅等	62	67	4	33	42	11	2	26	247	10	257
六	イ	(1)	避難のために患者の介助が必要な病院		4							4		4
		(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所											
		(3)	病院((1)を除く),有床診療所((2)を除く),有床助産所											
		(4)	無床診療所,無床助産所	5	5		1	4	1		1	17	2	19
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	1	4	1		2	1	1	3	13	1	14
		(2)	救護施設											
		(3)	乳児院											
		(4)	障害児入所施設											
		(5)	障害者支援施設					1			3	4		4
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	2	2	1		3		1	1	10	1	11
		(2)	更生施設											
		(3)	助産施設等	1	2	1	1	3	1	1	3	13	2	15
		(4)	児童発達支援センター等											
		(5)	身体障害者福祉センター等	2			1	5	1		1	10		10
	ニ		幼稚園又は特別支援学校		1			2	1			4		4
七			学校	2	5	4	2	7	10	2	5	37	9	46
八			図書館・博物館等			2						2		2
九	イ		蒸気浴場・熱気浴場							1	1	2		2
	ロ		イ以外の公衆浴場											
十			車両の停車場等											
十一			神社・寺院等	4	2	3			3	1	5	18	7	25
十二	イ		工場・作業場	28	67	18	70	14	17	7	33	254	50	304
	ロ		映画スタジオ等											
十三	イ		自動車車庫・駐車場	6	1			5	2	1	3	18	4	22
	ロ		飛行機等の格納庫											
十四			倉庫	11	38	15	41	7	15	6	42	175	33	208
十五			前各項に該当しない事業場	28	35	9	33	8	35	24	23	195	207	402
十六	イ		特防が存する複合対象物	7	16	1	1	4	2	1	4	36	9	45
	ロ		イ以外の複合対象物	3	11		2	1		1	1	19		19
合計				183	315	63	197	124	127	51	187	1,247	364	1,611

４．予防査察実施状況

R7.4.1～R8.3.31

区分			項目	大船渡市 防火対象物数	大船渡市 実施延件数	住田町 防火対象物数	住田町 実施延件数	合計 防火対象物数	合計 実施延件数
一	イ		劇場、映画館、演芸場等						
	ロ		公会堂・集会場	42	39	13	12	55	51
二	イ		キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等						
	ロ		遊技場等	3	3			3	3
	ハ		風俗営業等						
	ニ		カラオケボックス等						
三	イ		待合・料理店等						
	ロ		飲食店	17	10	6	5	23	15
四			百貨店・マーケット等	81	72	7	7	88	79
五	イ		旅館・ホテル等	26	26	3	3	29	29
	ロ		寄宿舎・共同住宅棟	247	161	10	10	257	171
六	イ	(1)	避難のために患者の介助が必要な病院	4	4			4	4
		(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所						
		(3)	病院((1)を除く),有床診療所((2)を除く),有床助産所						
		(4)	無床診療所,無床助産所	17	11	2	2	19	13
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	13	13	1	1	14	14
		(2)	救護施設						
		(3)	乳児院						
		(4)	障害児入所施設						
		(5)	障害者支援施設	4	4			4	4
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	10	9	1	1	11	10
		(2)	更生施設						
		(3)	助産施設等	13	13	2	2	15	15
		(4)	児童発達支援センター等						
		(5)	身体障害者福祉センター等	10	8			10	8
	ニ		幼稚園又は特別支援学校	4	4			4	4
七			学校	37	13	9	9	46	22
八			図書館・博物館等	2	1			2	1
九	イ		蒸気浴場・熱気浴場	2	2			2	2
	ロ		イ以外の公衆浴場						
十			車両の停車場等						
十一			神社・寺院等	18	12	7	6	25	18
十二	イ		工場・作業場	254	78	50	25	304	103
	ロ		映画スタジオ等						
十三	イ		自動車車庫・駐車場	18	10	4	2	22	12
	ロ		飛行機等の格納庫						
十四			倉庫	175	64	33	11	208	75
十五			前各項に該当しない事業場	195	76	207	95	402	171
十六	(イ)		特防が存する複合対象物	36	33	9	8	45	41
	(ロ)		イ以外複合対象物	19	8			19	8
令別表対象物合計				1,247	674	364	199	1,611	873

５．防火管理者の選任状況

R8.3.31現在

令別表区分＼項目			大船渡市				住田町				計				甲種選任比率（%）	乙種選任比率（%）
			甲種対象物		乙種対象物		甲種対象物		乙種対象物		甲種対象物		乙種対象物			
			要選任対象物	選任済対象物	要選任対象物	選任済対象物	要選任対象物	選任済対象物	要選任対象物	選任済対象物	要選任対象物	選任済対象物	要選任対象物	選任済対象物		
(一)	イ															
	ロ		28	28	14	14	11	11	1	1	39	39	15	15	100.0	100.0
(二)	イ															
	ロ		3	3							3	3			100.0	
	ハ															
	ニ															
(三)	イ															
	ロ		2	2	10	10	3	3			5	5	10	10	100.0	100.0
(四)			49	49	15	15	4	4			53	53	15	15	100.0	100.0
(五)	イ		19	19			2	2			21	21			100.0	
	ロ		11	11			1	1			12	12			100.0	
(六)	イ	(1)	1	1							1	1			100.0	
		(2)														
		(3)														
		(4)	4	4	1	1	1	1			5	5	1	1	100.0	100.0
	ロ	(1)	11	11			1	1			12	12			100.0	
		(2)														
		(3)														
		(4)														
		(5)	4	4							4	4			100.0	
	ハ	(1)	2	2	3	3					2	2	3	3	100.0	100.0
		(2)														
		(3)	12	12			2	2			14	14			100.0	
		(4)														
		(5)	4	4	3	3					4	4	3	3	100.0	100.0
	ニ		2	2							2	2			100.0	
(七)			19	19			4	4			23	23			100.0	
(八)			2	2							2	2			100.0	
(九)	イ		2	2							2	2			100.0	
	ロ															
(十)																
(十一)			13	13	3	3	4	4	1	1	17	17	4	4	100.0	100.0
(十二)	イ		9	9			1	1			10	10			100.0	
	ロ															
(十三)	イ															
	ロ															
(十四)			1	1	1	1	2	2			3	3	1	1	100.0	100.0
(十五)			30	30	2	2	7	7			37	37	2	2	100.0	100.0
(十六)	イ		22	22	2	2	5	5	2	2	27	27	4	4	100.0	100.0
	ロ		2	2							2	2			100.0	
合計			252	252	54	54	48	48	4	4	300	300	58	58		

６．消防訓練実施状況

R7.4.1～R8.3.31

区分＼項目	要消防訓練事業所数	消防訓練実施事業所数	訓練参加人数	消防車参加台数	職員出向人数
大船渡市	309	297	13,748	62	177
住田町	53	37	1,721	16	40

７．消防用設備等着工届・設置届受理状況

R7.4.1～R8.3.31

令別表区分＼届出別		消火器			屋内消火栓		屋外消火栓		消火設備パッケージ型		動力消防ポンプ設備	スプリンクラー設備		自動消火設備パッケージ型		粉末消火設備		自動火災報知設備		漏電火災警報器	火災通報装置消防機関へ通報する		非常警報設備	非常警報器具	避難器具		誘導灯	誘導標識	消防用水	連結送水管		合計	
		設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	設置届	着工届	設置届	設置届	設置届	着工届	設置届	設置届	設置届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届
(一)	イ																																
	ロ																										1						1
(二)	イ																																
	ロ																																
	ハ																																
	ニ																																
(三)	イ																																
	ロ																										1						1
(四)																			1														1
(五)	イ																		1								1						2
	ロ	1											1																				1
(六)	イ																										1						2
	ロ													1							1	1										2	1
	ハ	1													1				3		1	1					5					1	11
	ニ																										1						1
(七)																			1				1										2
(八)																																	
(九)	イ																																
	ロ																																
(十)																																	
(十一)																																	
(十二)	イ	2																3	5									1				3	8
	ロ																																
(十三)	イ	1																															1
	ロ																																
(十四)		4	2	2			1	1										2	5								2	1				5	15
(十五)		1																1	2								2				1	5
(十六)	イ	2																1	3								3	1			1	9
	ロ																																
合計		12	2	2			1	1			1	1	1			7	21		2	2	1				17	3				13	61		

８．用途別中高層建築物の状況

R8.3.31現在

令別表区分		区分／項目	大船渡市 3階	4階	5階	6階以上	計	住田町 3階	4階	5階	計	合計
(一)		公会堂又は集会場	2				2	1			1	3
(三)		飲食店										
(四)		百貨店・マーケット	1				1					1
(五)	イ	旅館・ホテル	2	2	1	2	7	1			1	8
	ロ	寄宿舎・共同住宅	58	3	9	7	77	1			1	78
(六)	イ	病院・診療所	2			1	3					3
	ロ	福祉施設	5				5					5
	ハ	老人デイサービスセンター	1				1					1
	ニ	幼稚園										
(七)		学校	8	3			11	3			3	14
(十一)		神社・寺院	2				2					2
(十二)	イ	工場・作業場	12	5	5	5	27	1			1	28
(十三)	イ	駐車場										
(十四)		倉庫	6	1			7					7
(十五)		前各項に該当しない事業所	15	7		1	23	1		1	2	25
(十六)	イ	特防の存する複合対象物	5	1			6	1			1	7
	ロ	上記以外の複合対象物	4	2	1		7					7
合計			123	24	16	16	179	9		1	10	189

９．火災予防条例等に基づく届出受理状況

R7.4.1～R8.3.31

区分／項目	大船渡市	住田町	合計
防火対象物使用開始届	16	1	17
ボイラー設置届	5		5
乾燥設備設置届	4		4
煙火打上届	4	1	5
催物開催届	9		9
水道断水届		2	2
道路工事届	61	13	74
少量（危）貯蔵取扱届	5	2	7
液化石油ガス届	11	6	17
火災とまぎらわしい煙を発する行為の届出	105	13	118
水素ガス充てん気球届			
変電設備設置届	6		6
蓄電池設備設置届	7		7
発電設備設置届	3	1	4
炉・カマド設置届			
露店等の開設届	26	3	29
合計	262	42	304

１０．広報活動等実施状況

R7.4.1.～R8.3.31

区分＼実施項目		防火座談会	防火映画会	防火講話	市町広報紙等掲載	防火相談所	消火訓練
大船渡市	回数	5		13	6		10
	参集人員	80		293			303
住田町	回数	2			4		9
	参集人員	44					554
計	回数	7		13	10		19
	参集人員	124		293			857

１１．民間予防協力団体

R8.4.1現在

名称	会員数	設置年月	摘要
気仙地区危険物安全協会	86	S35.1	大船渡市・住田町・陸前高田市の危険物製造所等で組織 危険物の安全取扱、災害予防事業

１２．女性消防協力隊等結成状況

R8.4.1現在

クラブ等名称			結成年月日	会員数
協力隊	1	住田町女性消防協力隊	S30. 4. 1	1,063
防火クラブ		大船渡市婦人防火クラブ協議会	R6.3.31 解散	0
計				1,063

１３．幼年消防クラブ結成状況

R8.4.1現在

クラブ名称	結成年月日	会員数
1.末崎こども園幼年消防クラブ	S56.6.1	47
2.大船渡保育園幼年消防クラブ	S56.6.1	86
3.明和保育園幼年消防クラブ	S56.6.1	79
4.海の星幼稚園幼年消防クラブ	S56.6.1	13
5.盛こども園幼年消防クラブ	S56.6.1	89
6.あかさきこども園幼年消防クラブ	S56.6.1	42
7.いかわこども園幼年消防クラブ	S56.6.1	117
8.立根こども園幼年消防クラブ	S56.6.1	81
9.日頃市保育園幼年消防クラブ	S56.6.1	19
10.越喜来こども園幼年消防クラブ	S56.6.1	30
11.綾里こども園幼年消防クラブ	S56.6.1	28
12.吉浜こども園幼年消防クラブ	S56.6.1	22
13.有住保育園幼年消防クラブ	S56.10.16	16
14.世田米保育園幼年消防クラブ	S57.4.10	53
計		722

１４．少年消防クラブ結成状況

R8.4.1現在

クラブ名称	結成年月日	会員数
1.末崎小学校少年消防クラブ	S54.12.6	40
2.赤崎小学校少年消防クラブ	H4.11.7	58
3.猪川小学校少年消防クラブ	H5.12.1	144
4.立根小学校少年消防クラブ	H7.3.6	70
5.日頃市小学校少年消防クラブ	S55.5.1	17
6.越喜来小学校少年消防クラブ	S57.4.30	35
7.吉浜小学校少年消防クラブ	S58.4.23	24
8.綾里小学校少年消防クラブ	H11.11.18	35
9.世田米小学校少年消防クラブ	S58.2.22	46
10.有住小学校少年消防クラブ	H20.4.1	12
11.住田中学校少年消防クラブ	R6.4.1	69
計		550

１５．自主防災組織の結成状況

大船渡市　　R8.3.31現在

No.	組織名	結成年月	No.	組織名	結成年月
1	永井沢自主防災組織	S54. 5	36	小路自主防災組織	H 9. 9
2	下船渡自主防災組織	H 1. 5	37	小石浜自主防災組織	H 9.12
3	赤崎町宿公民館自主防災組織	H 3. 4	38	中通自主防災組織	H10. 1
4	桜場公民館自主防災組織	H 7.11	39	増舘自主防災組織	H10. 2
5	南笹崎自主防災組織	H 8. 3	40	長谷堂自主防災会	H10. 3
6	小河原町内会防災会	H 8. 4	41	下久名畑地域自主防災組織	H10. 4
7	日頃市町関谷防災会	H 8. 4	42	小細浦公民館防災会	H10. 4
8	中野公民館自主防災組織	H 8. 4	43	赤崎中井地域自主防災会	H10. 4
9	大野自主防災組織（猪川）	H 8. 4	44	白浜自主防災組織	H10. 4
10	大船渡町平町内会自主防災会	H 8. 5	45	宮野自主防災組織	H10. 4
11	門之浜自主防災組織	H 8. 6	46	野形自主防災組織	H10. 4
12	細浦公民館自主防災組織	H 8. 6	47	上通自主防災組織	H10. 4
13	地ノ森一区自主防災組織	H 8. 6	48	後山自主防災組織	H10. 4
14	長安寺地域自主防災組織	H 8. 6	49	下通自主防災組織	H10. 4
15	甫嶺自治会防災会	H 8. 6	50	岩崎部落会自主防災組織	H10. 5
16	峯岸地域自主防災組織	H 8. 7	51	田浜自主防災組織	H10. 7
17	北笹崎自主防災組織	H 8. 8	52	千歳自主防災組織	H10. 7
18	神坂町内会防災部会	H 8. 9	53	扇洞自主防災組織	H10. 7
19	西区自主防災組織	H 8. 8	54	和村地域防災組織	H11. 2
20	菅生地域会防災組織	H 9. 1	55	赤沢公民館防災会	H11. 4
21	船河原地域防災会	H 9. 1	56	本町自主防災組織	H11. 4
22	石浜自主防災組織	H10. 1	57	前田地域公民館防災班	H11. 5
23	上甫嶺自主防災組織	H 9. 1	58	山口公民館自主防災組織	H11.11
24	下富岡防災部	H 9. 4	59	三十刈公民館自主防災組織	H12. 7
25	野々前自主防災組織	H 9. 4	60	後ノ入自主防災組織	H12.10
26	南区自主防災組織	H 9. 4	61	下欠地域公民館自主防災組織	H13. 4
27	仲区自主防災組織	H 9. 4	62	田谷地域自主防災会	H13. 4
28	大野自主防災組織（吉浜）	H 9. 4	63	久保自主防災会	H13. 8
29	根白自主防災組織	H 9. 5	64	小通自主防災組織	H13.11
30	川内自主防災部	H 9. 6	65	大洞自主防災組織	H14. 5
31	板用自主防災組織	H 9. 6	66	末崎町中井自主防災組織	H15. 1
32	崎浜自主防災組織	H 9. 7	67	田中地域公民館自主防災組織	H15. 2
33	泊自主防災組織	H 9. 8	68	町場地域公民館自主防災組織	H15. 8
34	砂子浜自主防災組織	H 9. 8	69	台町自主防災組織	H16. 3
35	港自主防災組織	H 9. 9	70	佐野地域防災会	H16. 4

No.	組織名	結成年月	No.	組織名	結成年月
71	蛸ノ浦契約会自主防災組織	H17. 4	88	上久名畑地域自主防災組織	H21.11
72	長崎自主防災組織	H17. 4	89	末崎町平地域自主防災組織	H22. 6
73	上富岡自主防災	H17. 4	90	下権現堂地域自主防災組織	H22.10
74	永浜地域自主防災組織	H17. 4	91	山根地域自主防災組織	H23. 1
75	沢田自主防災組織	H17. 7	92	西舘公民館自主防災組織	H24. 4
76	平田地域自主防災会	H17. 8	93	碁石公民館自主防災組織	H25. 1
77	吉野町自主防災組織	H18. 2	94	鷹生地域自主防災組織	H25. 5
78	合足自主防災組織	H18. 4	95	梅神公民館自主防災組織	H26. 1
79	中央通り自主防災組織	H18. 8	96	田茂山一区自主防災組織	H26. 8
80	清水自主防災組織	H19. 4	97	田茂山二区自主防災組織	H26. 8
81	新道自主防災組織	H19. 4	98	旭町自主防災組織	H26. 9
82	浦浜東区自主防災組織	H19. 4	99	御山下自主防災組織	H26. 9
83	上山町内会自主防災組織	H20. 3	100	木町公民館自主防災会	H26.12
84	日頃市町宿地域自主防災組織	H20. 5	101	明神前地域自主防災組織	H28. 4
85	下中井地域公民館自主防災組織	H21. 3	102	上木町自主防災組織	H29. 4
86	平山地域自主防災組織	H21. 4	103	八幡町自主防災組織	R 1. 5
87	上中井地域公民館自主防災組織	H21. 7	※1	赤崎地区自主防災組織連合会	H21. 9
				計	

※1　連合会組織

住田町

No.	組織名	結成年月	No.	組織名	結成年月
1	火の土自治公民館自主防災組織	H8.12	12	下在自治公民館自主防災組織	H9. 6
2	小股自治公民館自主防災組織	H9. 4	13	新切自治公民館自主防災組織	H9. 6
3	姥石自治公民館自主防災組織	H9. 4	14	天嶽自治公民館自主防災組織	H9. 6
4	月山自治公民館自主防災組織	H9. 4	15	川口自治公民館自主防災組織	H9. 6
5	大洞自治公民館自主防災組織	H9. 4	16	東峰自治公民館自主防災組織	H9. 6
6	両向自治公民館自主防災組織	H9. 4	17	外舘自治公民館自主防災組織	H9. 6
7	大股自治公民館自主防災組織	H9. 4	18	八日町自治公民館自主防災組織	H9. 6
8	五葉中自治公民館自主防災組織	H9. 4	19	曙自治公民館自主防災組織	H9. 6
9	愛宕自治公民館自主防災組織	H9. 5	20	中沢自治公民館自主防災組織	H9. 6
10	坂本自治公民館自主防災組織	H9. 5	21	中井自治公民館自主防災組織	H9. 6
11	寒倉自治公民館自主防災組織	H9. 5	22	恵山自治公民館自主防災組織	H9.11
				計	

１６．危険物施設の状況

R8.3.31現在

区分＼製造所等		製造所	貯蔵所 屋内	貯蔵所 屋外	貯蔵所 タンク屋内	貯蔵所 タンク屋外	貯蔵所 地下タンク	貯蔵所 移動タンク	取扱所 給油	取扱所 一般	取扱所 移送	計
大船渡市	盛町		1				7	11	7	4		30
	大船渡町		2			9	13	28	10	17		79
	末崎町					3	8	6	2	2		21
	赤崎町		2	3		10		7	6	13		41
	猪川町					2	8	3	1			14
	立根町		1			1	6	1	5	4		18
	日頃市町					5	1	2	1	2		11
	三陸町 吉浜						2		1			3
	三陸町 越喜来						1	6	4			11
	三陸町 綾里		1			2			3			6
	小計		7	3		32	46	64	40	42		234
住田町	世田米		2	1		1	10	7	4	2		27
	下有住											
	上有住		1				3	1		1		6
	小計		3	1		1	13	8	4	3		33
合計			10	4		33	59	72	44	45		267

１７．危険物施設査察実施状況

R7.4.1～R8.3.31

施設別＼市町 / 施設数 査察数		大船渡市 施設数	大船渡市 査察数	住田町 施設数	住田町 査察数	合計 施設数	合計 査察数
製造所							
貯蔵所	屋内	7	5	3	2	10	7
	屋外	3		1	1	4	1
	屋内タンク						
	屋外タンク	32	12	1	1	33	13
	地下タンク	46	23	13	8	59	31
	移動タンク	64	61	8	8	72	69
取扱所	給油	40	36	4	3	44	39
	一般	42	23	3	1	45	24
	移送						
合計		234	160	33	24	267	184

（移動タンクの査察数は管外車を含む）

１８．危険物製造所等貯蔵取扱許可数量

R8.3.31現在

類 / 品名 / 製造所等		２類	３類	４類					施設計
		可燃性固体 (千Kg)	カーバイド (千Kg)	第一石油類 (kℓ)	第二石油類 (kℓ)	第三石油類 (kℓ)	第四石油類 (kℓ)	動植物油類等 (kℓ)	
製造所									
屋内貯蔵所		1	38	7	19	1	19		10
屋外貯蔵所					99	2			4
地下タンク貯蔵所				10	445	435			59
移動タンク貯蔵所					188	7			72
屋外タンク貯蔵所					127	4,464			33
屋内タンク貯蔵所									
給油取扱所				616	957	632	1		44
一般取扱所			1	2	383	1,519	35		45
移送取扱所									
計		1	39	635	2,218	7,060	55		267
貯蔵取扱数量	大船渡市	1	39	591	1,984	6,937	55		234
	住田町			44	234	123			33

１９．危険物施設の事務取扱状況

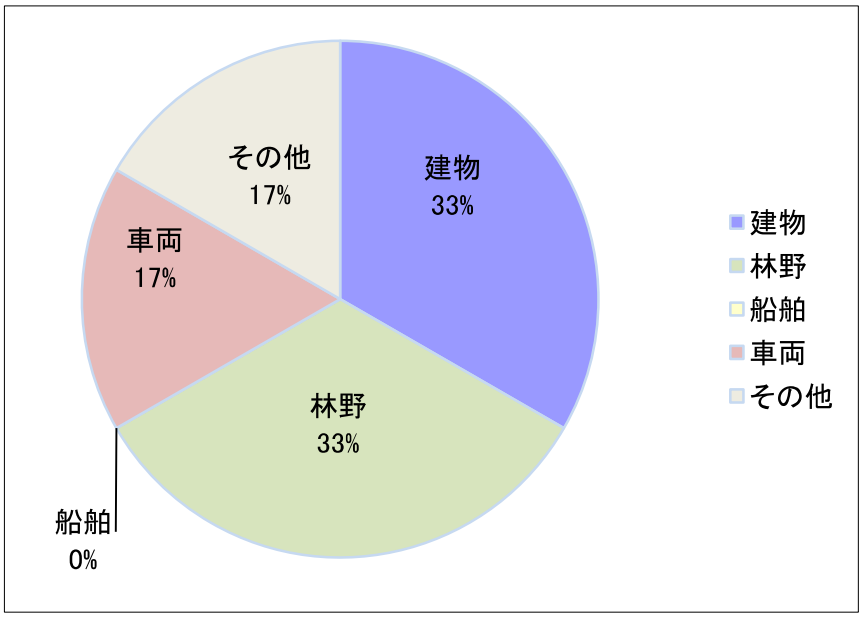
R7.4.1～R8.3.31

施設別 / 区分		設置許可	変更許可	検査・水張水圧	完成検査	数量変更	廃止・休止	仮使用承認	選任（解）届保安監督者
大船渡市	製造所								
	貯蔵所		4		4		2		3
	取扱所		1		1		3		6
	小計		5		5		5		9
住田町	貯蔵所						2		1
	取扱所								
	小計						2		1
合計			5		5		7		10

１．火災被害状況比較

地区	区分 / 年	火災件数 件数	火災件数 人口10,000人あたり	損害額 損害額 (千円)	損害額 火災1件あたり (千円)	損害額 住民1人あたり (円)	損害額 1世帯あたり (円)	損害額 建物火災1件あたり (千円)
大船渡市	R 3	7	2	40,582	5,797	1,184	2,742	7,127
	R 4	8	2	394,462	49,308	11,761	26,676	78,892
	R 5	18	6	448,356	24,909	14,649	34,020	89,671
	R 6	7	2	38,745	5,535	1,266	2,940	7,749
	R 7	4	1	7,497,717	1,874,429	244,975	568,914	1,499,543
住田町	R 3	1	0	180	180	36	14	180
	R 4	3	6	296	99	61	142	296
	R 5	2	5	89,452	44,726	21,617	46,324	296
	R 6	2	5	77,778	38,889	18,796	40,279	15,556
	R 7	2	5	3,154	1,577	762	1,633	631
管内合計	R 3	8	2	40,762	5,095	1,036	2,415	5,738
	R 4	11	2	394,758	35,887	1,036	2,415	5,738
	R 5	20	6	537,808	26,890	15,479	35,593	89,635
	R 6	9	3	116,523	12,947	3,354	7,712	19,421
	R 7	6	2	7,500,871	1,250,145	215,890	496,418	1,250,145

２．火災種別の割合（令和７年）



建物	2 件
船舶	0 件
車両	1 件
林野	2 件
その他	1 件
合　計	6 件

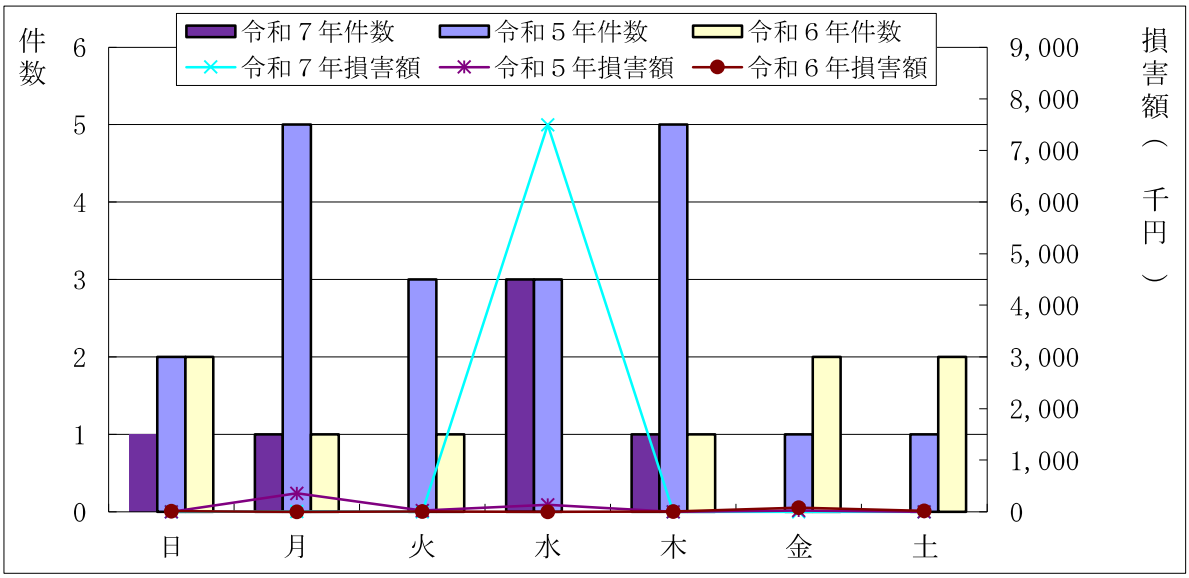
３．前年比較火災統計

区分＼市町＼年		大船渡市			住田町			組合合計		
		R6年	R7年	前年比	R6年	R7年	前年比	R6年	R7年	前年比
火災件数		7	4	▲ 3	2	2		9	6	▲ 3
火災種類	建物	4	1	▲ 3	1	1		5	2	▲ 3
	林野	1	2	1				1	2	1
	船舶									
	車両	1	1		1		▲ 1	2	1	▲ 1
	その他	1		▲ 1		1	1	1	1	
建物焼損程度	全焼	2		▲ 2	1	1		3	1	▲ 2
	半焼									
	部分焼	1	1					1	1	
	ぼや	1		▲ 1				1		▲ 1
住宅焼損程度	全焼	2		▲ 2	1	1		3	1	▲ 2
	半焼									
	部分焼		1	1					1	1
	ぼや	1		▲ 1				1		▲ 1
罹災人員		10	3	▲ 7	3	2	▲ 1	13	5	▲ 8
焼失面積	建物(㎡)	257	12	▲ 245	389	163	▲ 226	646	175	▲ 471
	林野(a)	568	369,400	368,832				568	369,400	368,832
損害額(千円)		38,745	7,497,717	7,458,972	77,778	3,154	▲ 74,624	116,523	7,500,871	7,384,348
死傷者	死者		1	1		1	1		2	2
	負傷者					1	1		1	1

４．出火原因別順位（主なものを掲載）

Ｒ２		Ｒ３		Ｒ４		Ｒ５		Ｒ６		Ｒ７	
風呂かまどの火源がこぼれる	1件	コードの短絡	1件	草焼き	2件	コンロストーブ	3件	たばこ	1件	油漏洩	1件
火の着いた薪を放置する	1件	低温発火	1件	廃材等のゴミ焼き	2件	枯草の焼却	2件	電気コードの発火	1件	反射式ストーブ	1件
ロケット花火が落葉に着火	1件	たばこの不始末	1件	放火・放火の疑い	2件	ゴミ等焼却	2件	配線コネクタより発火	1件	送電線スパーク	1件
電源コードの短絡	1件	船舶の過給機にオイルが付着	1件	コンセントのトラッキング	1件	放火	1件	その他の火の粉	1件	不明	3件
木の枝等の焼却	1件	落雷	1件	薪ストーブ	1件	放火の疑い	1件	グラインダーの火花	1件		件

５．曜日別火災件数と損害額



年 ＼ 曜日		日	月	火	水	木	金	土	合計
令和 5 年	件数	2	5	3	3	5	1	1	20
	損害額	128	355,496	26,199	134,476	277	21,180	52	537,808
令和 6 年	件数	2	1	1	0	1	2	2	9
	損害額	11,358	0	5,233	0	6,672	77,778	15,482	116,523
令和 7 年	件数	1	1	0	3	1	0	0	6
	損害額	1	3,153	0	7,497,674	43	0	0	7,500,871

６．町毎・月別火災発生状況

R7.1.1～R7.12.31(損害額　単位：千円)

町別 ＼ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
大船渡市	盛													
	大船渡													
	末崎							1						1
	赤崎		1			1								2
	猪川													
	立根													
	日頃市													
	吉浜													
	越喜来													
	綾里		1											1
	件数		2			1		1						4
	損害額		7,497,614			43		60						7,497,717
住田町	上有住													
	下有住													
	世田米	1					1							2
	件数	1					1							2
	損害額	3,153					1							3,154
合計	件数	1	2			1	1	1						6
	損害額	3,153	7,497,614			43	1	60						7,500,871

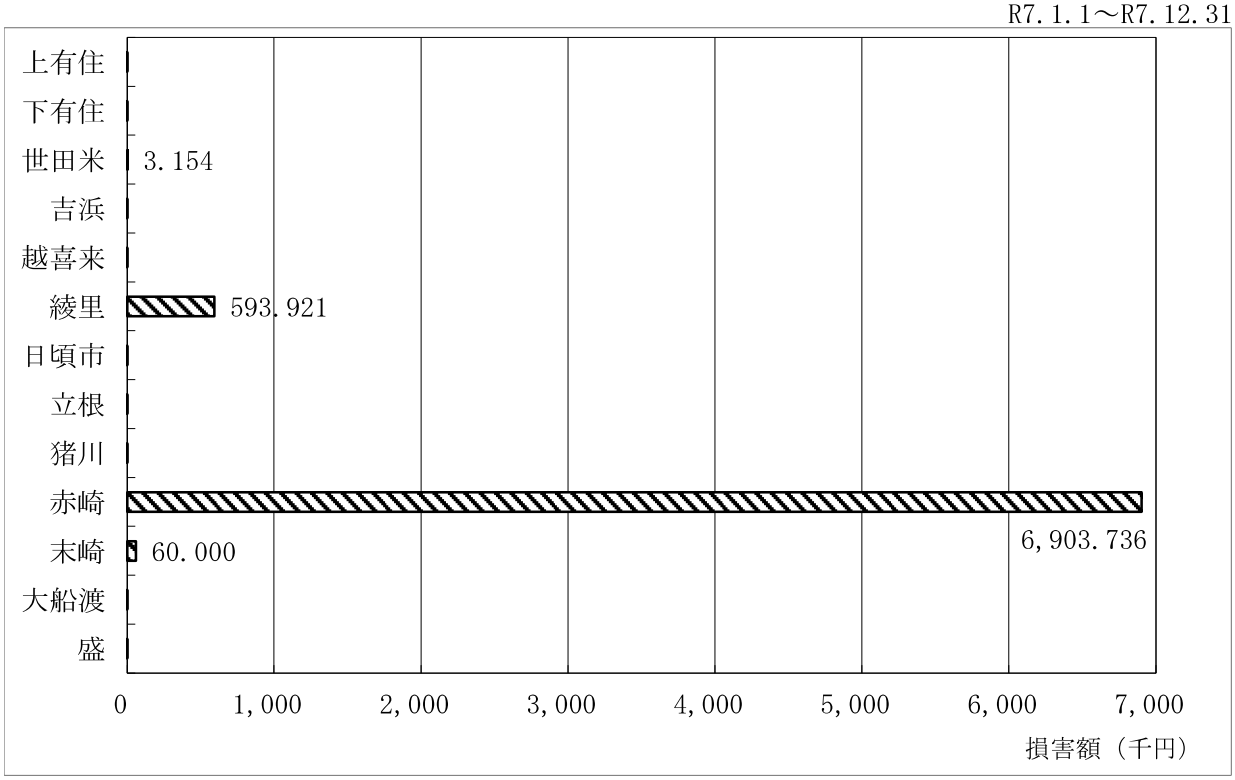
７.地区別火災件数と出動状況

R7.1.1～R7.12.31

地区＼種別		火災件数						損害額	出動状況	
		建物	林野	船舶	車両	その他	計	（千円）	職員	放水車両
大船渡市	盛									
	大船渡									
	末崎	1					1	60	21	1
	赤崎		1		1		2	6,903,736	3,533	80
	猪川									
	立根									
	日頃市									
	綾里		1				1	593,921	252	39
	越喜来									
	吉浜									
	計	1	2		1		4	7,497,717	3,806	120
住田町	世田米	1				1	2	3,154	35	3
	下有住									
	上有住									
	計	1				1	2	3,154	35	3
管内合計		2	2		1	1	6	7,500,871	3,841	123

８.地区別損害額

R7.1.1～R7.12.31



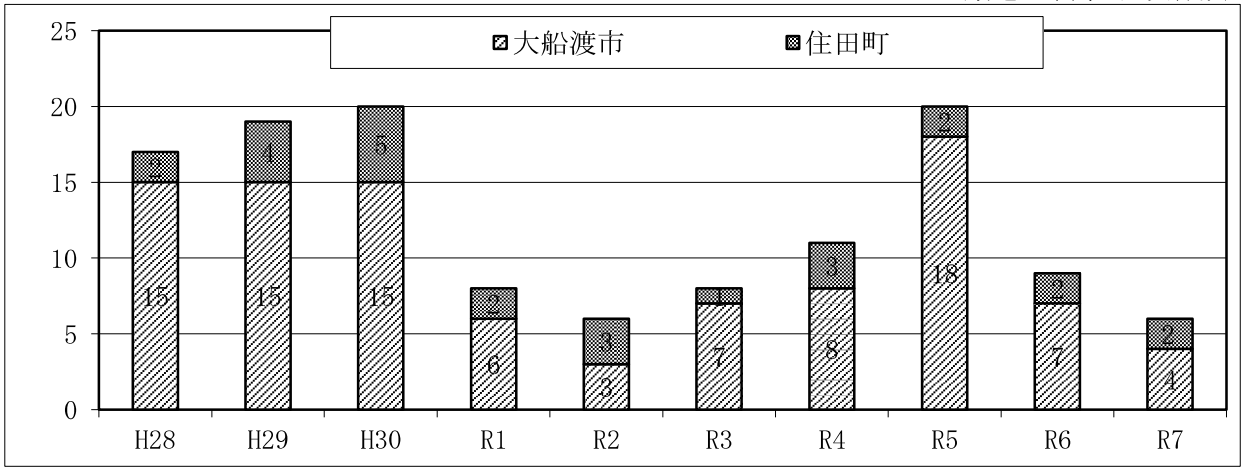
９．年別・種別火災件数

（最近10年間の火災件数）

火災種別	年 / 市町村	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
建物	大船渡市	11	9	10	3	3	4	5	11	4	1	61
	住田町	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	13
	小計	12	11	12	5	4	5	6	12	5	2	74
林野	大船渡市		4	1			1			1	2	9
	住田町					1						1
	小計		4	1		1	1			1	2	10
船舶	大船渡市						1		1			2
	住田町											
	小計						1		1			2
車両	大船渡市		1	2	2		1		1	1	1	9
	住田町	1		1					1	1		4
	小計	1	1	3	2		1		2	2	1	13
その他	大船渡市	4	1	2	1			3	5	1		17
	住田町		2	2		1		2			1	8
	小計	4	3	4	1	1		5	5	1	1	25
小計	大船渡市	15	15	15	6	3	7	8	18	7	4	98
	住田町	2	4	5	2	3	1	3	2	2	2	26
合計		17	19	20	8	6	8	11	20	9	6	124

１０．年別火災合計

（最近10年間の火災件数）



１１．火災による死傷者数

平成28年～令和7年

年 ＼ 市町		大船渡市		住田町		計	
		火災件数	人	火災件数	人	火災件数	人
H28	死者	15	1	2		17	1
	負傷者						
H29	死者	15	2	4	1	19	3
	負傷者						
H30	死者	15		5	1	20	1
	負傷者		3				3
R1	死者	6		2		8	
	負傷者		2				2
R2	死者	3		3		6	
	負傷者		1				1
R3	死者	7	1	1		8	1
	負傷者		1				1
R4	死者	8	1	3		11	1
	負傷者		3		1		4
R5	死者	18	2	2	1	20	3
	負傷者		1				1
R6	死者	7		2		9	
	負傷者						
R7	死者	4	1	2	1	6	2
	負傷者				1		1
計	死者	98	8	26	4	124	12
	負傷者		11		2		13

１２．火災による死者調べ

昭和54年～令和7年

年　月　日	時　刻	火災種別	火災発生の場所	死者				損害額（千円）
				署員	団員	協力者	一般	
S 54. 1. 4	20:00	車　両	三陸町吉浜字川原				1	160
S 54. 4. 6	3:20	船　舶	末崎町字山岸				2	1,800
S 55. 1.20	11:20	建　物	猪川町字大野				1	8,490
S 55. 9.30	16:10	建　物	大船渡町字茶屋前				1	6,241
S 55.11.20	10:00	建　物	猪川町字中井沢				1	36
S 56. 1.11	9:30	建　物	大船渡町字野々田				1	11,421
S 56. 6.13	21:05	建　物	住田町世田米字和山				1	7,297
S 59. 4.14	12:10	その他	大船渡町字下平				1	0
S 60. 1.27	4:20	建　物	末崎町字泊里				1	22,101
S 62.12. 3	11:45	建　物	大船渡町字富沢				1	19
H 1. 1.19	13:55	その他	日頃市町字下鷹生				1	0
H 2. 3. 1	16:30	その他	三陸町越喜来字甫嶺				1	0
H 3. 2.11	3:10	建　物	三陸町吉浜字千歳				2	65,670
H 3. 5.22	4:00	その他	盛町字字津野沢				1	0
H 3.11.22	13:10	建　物	末崎町字平林				1	0
H 4. 4.29	21:45	建　物	住田町世田米字川向				1	6,191
H 9. 7.14	11:59	建　物	住田町下有住字高瀬				1	180
H 10. 1. 9	21:50	建　物	赤崎町字長崎				1	3
H 10. 4. 7	10:20	建　物	三陸町越喜来字所通				3	3,855
H 11. 3.22	17:40	建　物	立根町字川原				1	160
H 11.10. 5	1:30	建　物	住田町世田米字上日向				1	3,623
H 12. 8.22	14:48	建　物	三陸町吉浜字横石				1	251
H 15. 9. 6	2:50	その他	大船渡町字茶屋前				1	0
H 17. 4. 5	2:00	その他	赤崎町字大立				1	0
H 19. 6.25	13:55	建　物	大船渡町字下平				1	2,836
H 20. 5.17	9:00	建　物	大船渡町字富沢				1	267
H 21. 1.29	3:30	建　物	猪川町字下権現堂				1	4,510
H 22. 2. 4	21:20	車　両	住田町世田米字城内				1	358
H 22. 8. 9	11:10	建　物	盛町字みどり町				1	2,457
H 25. 3.11	21:30	建　物	末崎町字山岸				4	1,019
H 25.11.11	23:10	建　物	大船渡町字赤沢				1	6,868
H 25.12. 4	14:10	建　物	盛町字権現堂				1	3,922
H 26. 8.23	5:17	建　物	大船渡町字明神前				1	8,686
H 28.12. 7	22:00	建　物	三陸町越喜来字肥の田				1	101
H 29. 1.10	不明	建　物	盛町字内ノ目				1	22
H 29. 1.24	3:00	建　物	世田米字向川口				1	26
H 29. 7.13	0:10	建　物	猪川町字長谷堂				1	175
H 30. 2.27	0:00	建　物	住田町世田米字天風				1	10,198
R 3.11.29	0:45	建　物	赤崎町字中井				1	1,653
R 4. 8. 3	11:30	建　物	赤崎町字諏訪前				1	1,971
R 5. 1.12	11:00	その他	三陸町越喜来字井戸洞				1	4
R 5. 2.27	22:30	建　物	盛町字沢川				1	3,146
R 5.10.14	5:20	車　両	住田町上有住字中埣				1	52
R 7.1.13	20:15	建　物	住田町世田米字中井				1	3,153
R 7.2.26	不明	林　野	赤崎町字合足				1	6,903,693

１３．昭和40年からの主な火災記録

損害額 S40.5.2よりは　100万円以上 S48.1.1よりは　500万円以上
S58.4.1よりは1,100万円以上 H 5.1.1よりは1,500万円以上

年月日	時刻	場　　所	火災種別	原　　因	損害額（千円）
昭和					
40. 5. 2	5:10	盛町内ノ目	建物	かまど	5,190
5.26	12:30	末崎町門之浜	〃	〃	1,686
11.24	15:46	大船渡町茶屋前岸壁	船舶	溶接機	2,124
41. 3.12	1:15	立根町関谷	建物	風呂かまど	5,481
12. 9	21:10	大船渡町野々田	〃	電気コンロ	1,350
42. 1.10	17:45	盛町御山下	〃	たき火	2,097
1.18	13:45	日頃市町田代屋敷	〃	こたつ	1,778
2.17	21:10	赤崎町跡浜	〃	たばこ	1,310
5.13	11:05	日頃市町平山	〃	〃	2,555
10.11	11:32	大船渡町上平	〃	火遊び	1,134
12.17	18:30	大船渡町宮ノ前	〃	たばこ	1,008
43. 2.17	22:25	盛町権現堂	〃	こたつ	1,140
12.17	9:12	大船渡町台	〃	ガソリン引火	9,558
44. 1 .3	18:15	日頃市町関谷	〃	煙突	1,319
3.26	10:15	日頃市町蛭潟	〃	火遊び	3,735
8. 8	2:50	大船渡町永沢	〃	取灰	1,161
9.14	21:20	大船渡町堀川	〃	不明	2,388
11.22	2:35	大船渡町茶屋前	〃	たばこ	6,762
45. 3.10	22:20	〃	〃	放火（疑）	1,985
12.12	11:54	赤崎町大立	〃	電気こたつ	1,505
46. 6.16	23:45	末崎町泊里	〃	スパーク	3,211
11.11	10:45	立根町堰口	〃	電気こたつ	1,446
11.13	23:30	大船渡町野々田	船舶	溶接火花	3,543
47. 3.17	4:20	〃	建物	石油ストーブ	2,920
6.19	22:10	大船渡町地ノ森	〃	不明	1,576
12.10	9:00	猪川町轆轤石	〃	〃	2,689
48. 9.20	17:50	大船渡町猪頭	〃	ガス風呂釜	30,660
10. 6	18:19	大船渡町野々田	〃	電気溶接機	19,388
49.11. 7	18:50	住田町上有住土倉	〃	石油風呂釜	5,220
12.18	5:00	末崎町中野	〃	プロパンガス引火	45,467
50. 3.16	19:35	住田町上有住小松	〃	かまど	9,845
12. 6	7:40	日頃市町長岩	〃	たばこ	7,756
51. 1. 2	10:50	三陸町越喜来小出	林野	〃	229,161
3. 8	14:17	盛町町	建物	不明	10,419
4. 8	13:10	盛町柿ノ木沢	〃	たばこ	5,509
6.17	15:00	大船渡町下平	〃	重油ボイラー	18,180
12.30	23:30	三陸町綾里港	〃	石油風呂釜	5,656
52. 2.12	9:20	三陸町綾里大久保	〃	電気こたつ	8,988
10.11	5:50	三陸町越喜来大平	〃	不明	5,668
53. 1.28	18:45	大船渡町野々田	〃	重油ストーブ	12,113

年月日	時刻	場　　所	火災種別	原　　因	損害額（千円）
昭和					
53. 2.12	23:55	三陸町綾里田浜	建物	不明	6,845
2.25	20:25	赤崎町諏訪前	〃	石油ストーブ	5,968
8.29	4:25	立根町猫足	〃	たばこ	6,760
54.11.18	20:15	三陸町吉浜上野	〃	不明	8,445
11.26	2:50	赤崎町跡浜	〃	配線コード	49,090
55. 1.20	11:20	猪川町大野	〃	たばこ	8,490
4. 8	1:10	大船渡町台	〃	不明	16,517
9.30	16:10	大船渡町茶屋前	〃	〃	6,241
56. 1.11	9:30	大船渡町野々田	〃	石油ストーブ	11,421
2. 4	19:00	三陸町綾里八ヶ森	〃	乾燥機	17,196
2.18	15:10	末崎町泊里	〃	練炭コンロ	10,196
2.24	11:25	大船渡町下平	〃	溶接機	195,405
4.10	22:40	住田町世田米柏里	〃	グラインダーの火花	20,149
4.27	18:15	末崎町山岸	〃	煙突	6,029
8.27	18:50	日頃市町長岩	車両	配線	5,150
57. 2.28	0:20	三陸町越喜来烏頭	建物	たばこ	14,428
4.27	23:40	大船渡町台	〃	〃	16,414
5.15	1:05	日頃市町関谷	〃	不明	40,343
9.12	9:45	大船渡町中港	〃	たばこ	10,047
58. 1.21	4:10	末崎町平林	〃	ガスストーブ	14,113
8.13	2:50	末崎町山岸	〃	不明	13,834
10.23	20:14	立根町萱中	〃	〃	12,556
59. 4.11	16:15	末崎町大田	〃	石油ストーブ	10,281
4.15	14:40	住田町上有住土倉	林野	枯葉焼き	12,573
11.16	8:17	住田町上有住八日町	建物	電気こたつ	23,049
60. 1.27	4:20	末崎町泊里	〃	堀ごたつ	22,101
5.20	1:12	住田町世田米西風	〃	ローソク	10,578
9. 4	17:05	住田町世田米川向	〃	風呂かまど	16,044
61. 3.22	20:20	大船渡町明神前	〃	石油風呂釜	22,948
4.15	20:20	大船渡町丸森	〃	天ぷら鍋	59,243
9.11	10:40	末崎町山根	〃	たばこ	12,279
62. 1.22	19:15	三陸町綾里大明神	〃	煙突	15,030
3. 9	7:20	大船渡町新田	〃	不明	64,743
63. 1. 7	不 明	大船渡町茶屋前	〃	放火疑い	19,784
1.23	11:55	大船渡町笹崎	〃	煙突	16,836
平成					
元. 1.30	1:55	住田町上有住二度成木	〃	練炭コンロ	21,957
11.15	7:00	大船渡町山馬越	〃	ガス爆発	15,443
12. 5	13:20	末崎町西舘	〃	たばこ	10,820
2. 4.30	8:30	末崎町小中井	〃	焼却炉	11,974

年月日	時刻	場　　所	火災種別	原　　因	損害額（千円）
平成					
2.12.20	22:20	大船渡町野々田	建物	たばこ	14,591
3. 2.11	3:10	三陸町吉浜千歳	〃	布団乾燥機	65,670
2.24	15:00	大船渡町明神前	〃	こたつ	12,808
4.14	3:50	盛町砂土場	〃	たばこ	16,117
11. 7	17:45	盛町内ノ目	〃	石油ストーブ	14,256
12. 5	20:00	日頃市町沼川	〃	電気	10,916
4. 2.17	10:18	三陸町吉浜上野	〃	ガスコンロ	24,760
12. 8	15:30	盛町木町	〃	放火の疑い	16,148
12.16	17:20	盛町内ノ目	〃	〃	15,909
7.12.27	21:35	大船渡町砂森	〃	不明	17,073
8. 1.20	16:35	大船渡町明神前	〃	石油ストーブ	54,009
2.20	13:50	赤崎町沢田	〃	〃	31,679
2.27	0:45	住田町上有住新田	〃	不明	28,256
9. 2.15	9:33	三陸町越喜来前田	〃	薪ストーブ	15,060
2.23	11:02	住田町世田米大崎	〃	ローソク	41,452
10. 1.27	3:00	住田町上有住平沢	〃	ガスストーブ	44,365
11. 4. 1	8:50	大船渡町明神前	〃	消し炭	30,803
4. 5	1:30	三陸町綾里田浜上	〃	不明	46,892
12. 8. 7	16:40	赤崎町跡浜	〃	火の粉	23,247
11. 9	12:40	大船渡町砂森	〃	モーター	88,246
13. 7.14	18:20	住田町上有住下寒倉	〃	ガスストーブ	39,361
14. 7.31	0:29	盛町木町	〃	不明	17,199
15. 3. 1	22:25	立根町萱中	〃	〃	34,571
4. 1	9:00	大船渡町中港	〃	ホットプレス異常	16,088
18. 8.21	4:40	末崎町大豆沢	〃	たばこ	19,004
19.12.12	16:20	住田町世田米田谷	その他	火花	38,833
20.11.21	16:40	住田町世田米田谷	〃	〃	34,540
22. 3.14	2:00	大船渡町中港	建物	摩擦	21,068
8. 9	6:10	住田町世田米火石	〃	電気	61,543
23. 7.27	13:40	赤崎町生形	船舶	ガス溶断機	75,650
24.11.26	21:55	盛町二本枠	建物	フライヤー	22,552
25. 6.20	14:40	住田町世田米子飼沢	〃	自然発火	49,412
27. 1.20	12:00	三陸町綾里田浜下	林野	不明	28,950
10.15	6:30	立根町関谷	建物	不明	17,119
28. 3.20	17:45	住田町世田米小股	〃	不明	25,208
7.21	18:10	盛町権現堂	〃	たばこ	19,684
10. 6	20:15	三陸町綾里坂本	〃	放火の疑い	21,617
29. 5. 8	21:00	大船渡町山馬越	〃	たばこ	26,136
30. 3.11	0:30	赤崎町中井	〃	たばこ	17,462
11. 1	0:10	住田町世田米西風	〃	暖房器具	19,245

年月日	時刻	場　　所	火災種別	原　　因	損害額（千円）
令和					
3. 5.28	15:40	三陸町吉浜字扇洞	建物	コードの短絡	25,646
4. 3.23	20:10	立根町字堀之内	建物	トラッキング	384,136
5. 4.24	12:40	赤崎町字跡浜	建物	溶接作業	100,000
5.16	9:00	三陸町吉浜字向野	〃	不明	26,199
6.28	8:30	大船渡町字役料	〃	ヒート線の一部断線	45,000
8.21	12:40	赤崎町字跡浜	建物	高温クリンカがベルトコンベアに蓄積し出火	250,000
8.25	22:30	大船渡町字富沢	〃	不明	21,180
12.27	2:00	住田町上有住字新田	〃	〃	89,400
6. 3.16	14:30	大船渡町字上平	〃	〃	15,450
11.15	10:10	住田町上有住字八日町	〃	〃	77,614
7. 1.13	20:15	住田町世田米字中井	〃	反射式ストーブ	3,153
2.19	11:30	三陸町綾里字田浜下	林野	不明	593,921
2.26	不明	赤崎町字合足	〃	不明	6,903,693

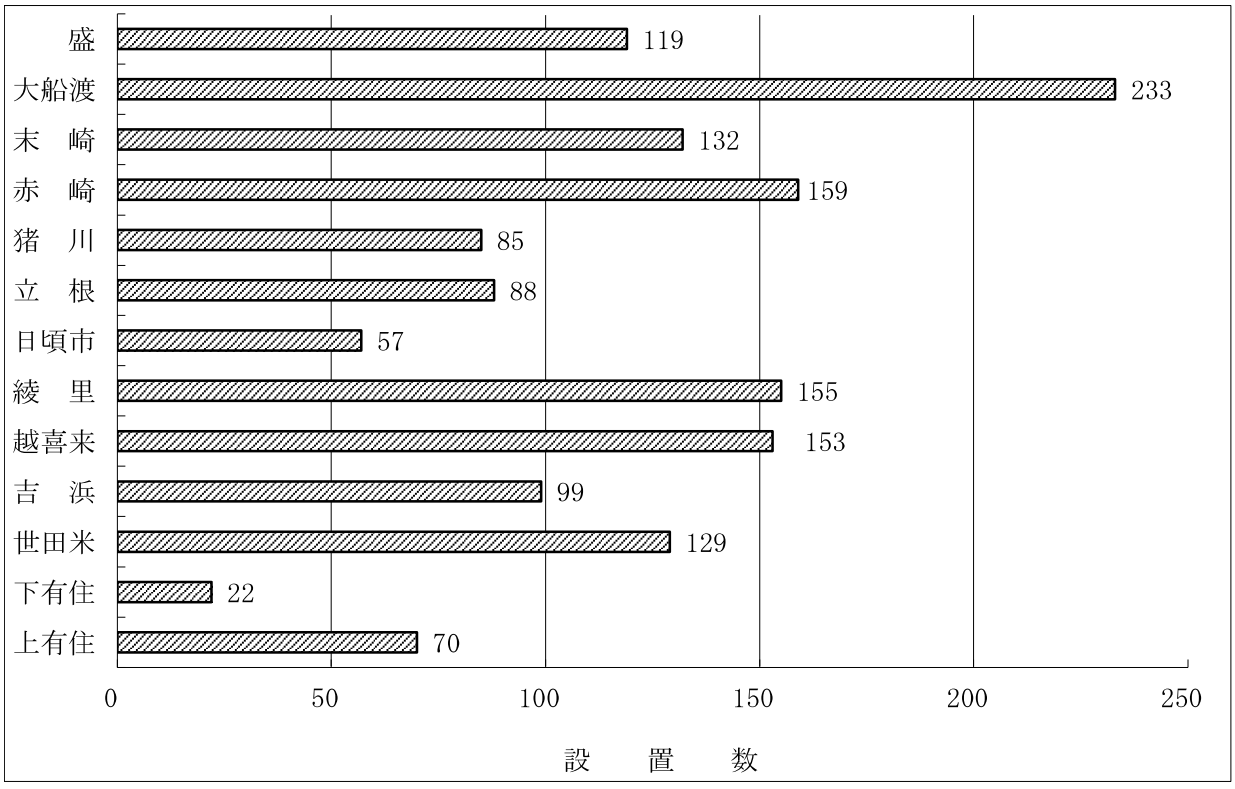
１．地区別消防水利施設数

R8.4.1現在

地区＼種別		計	消火栓		防火水槽				河川	海	プール	池・沼	その他
			公設	私設	公設		私設						
					40㎥以上	40㎥未満	40㎥以上	40㎥未満					
大船渡市	盛	119	102	1	10	5					1		
	大船渡	233	188		26	8	5			1	3		2
	末崎	132	82		33	12	1			2	1	1	
	赤崎	159	98		32	27				2			
	猪川	85	60		11	8	2		1		2	1	
	立根	88	59	1	14	7	4		2		1		
	日頃市	57	25	3	15	5	1		5		1	2	
	綾里	155	96	2	45	5	1			5	1		
	越喜来	153	92	1	46	6	1			5	1	1	
	吉浜	99	56		38	1				3	1		
小計		1,280	858	8	270	84	15		8	18	12	5	2
住田町	世田米	129	66		47	6		4	5		1		
	下有住	22	12		9	1							
	上有住	70	28		33	6		2			1		
小計		221	106		89	13		6	5		2		
管内合計		1,501	964	8	359	97	15	6	13	18	14	5	2

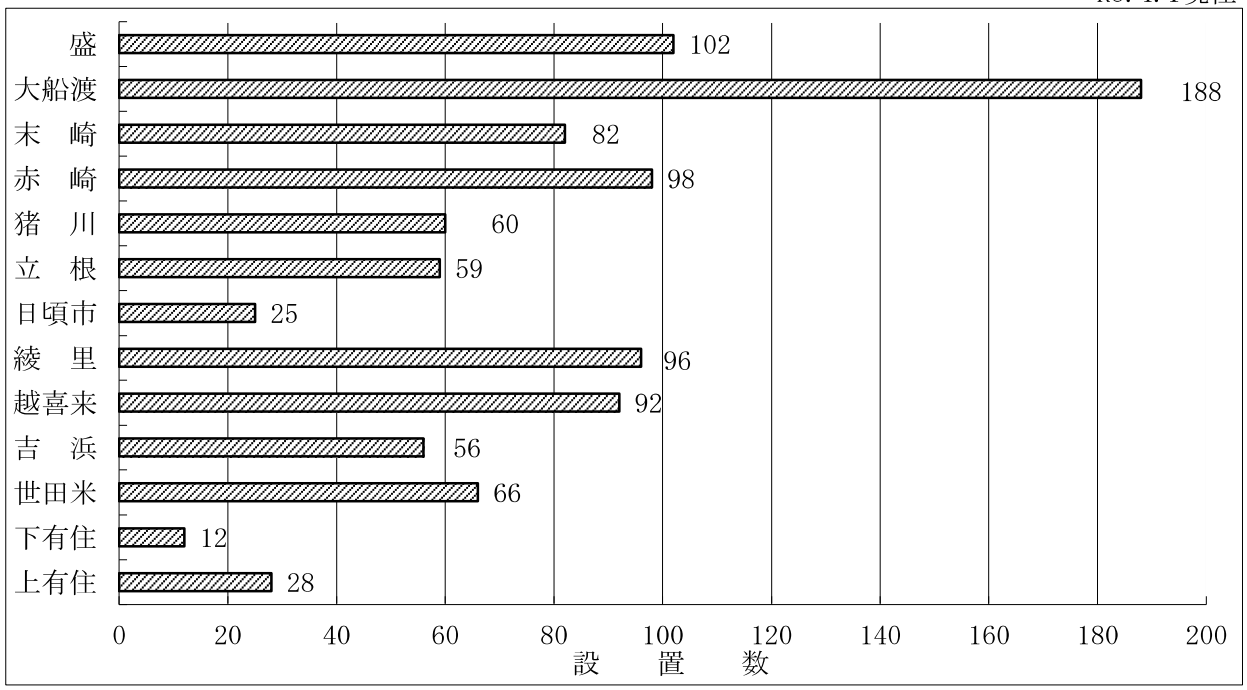
２．地区別消防水利施設総数状況

R8.4.1現在



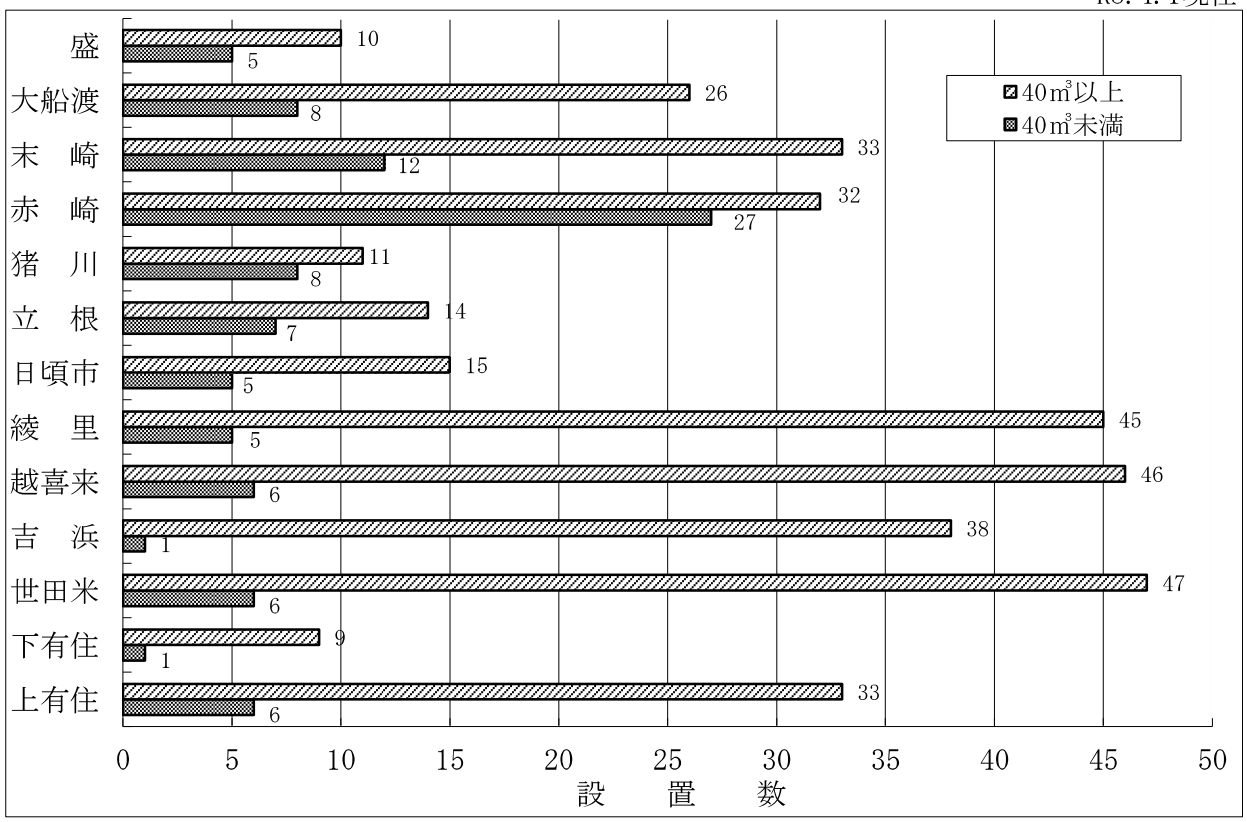
３．地区別公設消火栓設置状況

R8.4.1現在



４．地区別公設防火水槽設置状況

R8.4.1現在



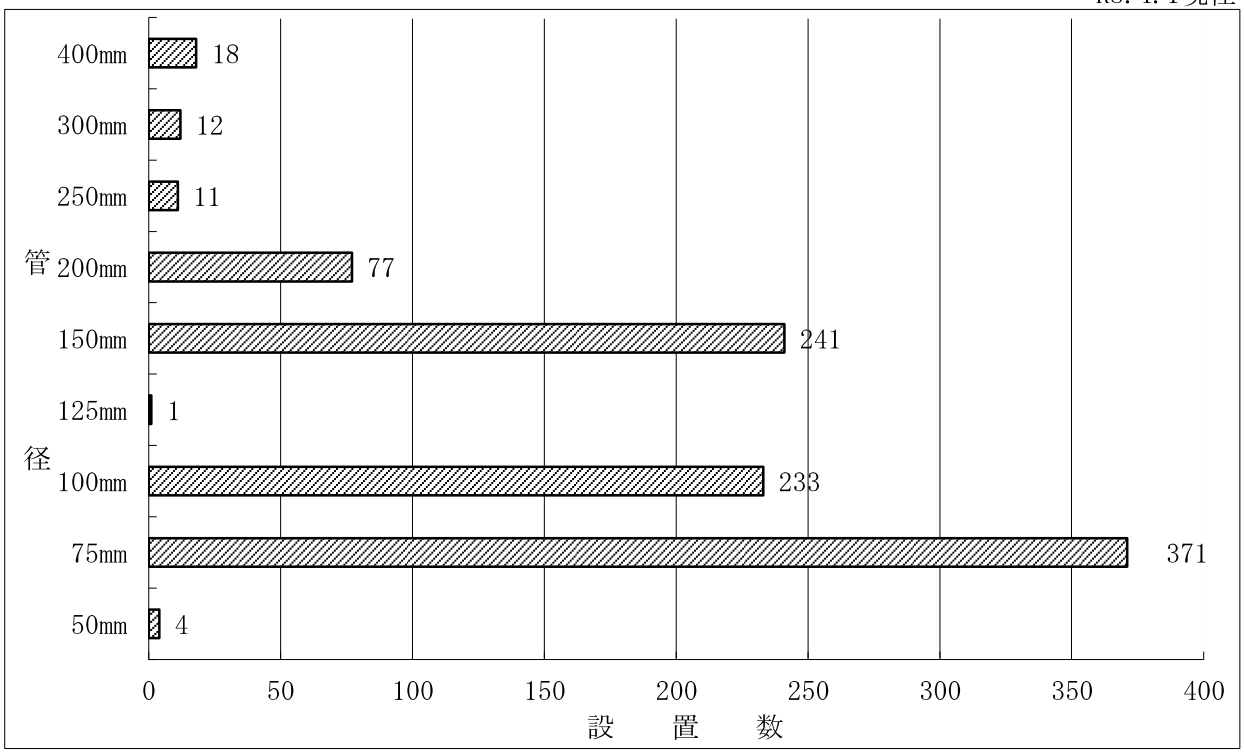
５．消火栓管径別設置状況

R8.4.1現在

地区＼管径		50mm	75mm	100mm	125mm	150mm	200mm	250mm	300mm	400mm	計
大船渡市	盛		45	25		14	2	2		15	103
	大船渡	1	56	42		37	37	2	9	3	187
	末崎		35	21	1	15	8	2			82
	赤崎	3	35	26		20	8	5			97
	猪川		20	12		22	3		3		60
	立根		15	13		30					58
	日頃市		7	10		11					28
	綾里		43	21		31	3				98
	越喜来		50	19		20	4				92
	吉浜		20	17		13	6				56
	小計	4	326	206	1	213	71	11	12	18	862
住田町	世田米		22	20		18	6				66
	下有住		3	4		5					12
	上有住		20	3		5					28
	小計		45	27		28	6				106
管内合計		4	371	233	1	241	77	11	12	18	968

６．消火栓管径別管内設置数

R8.4.1現在



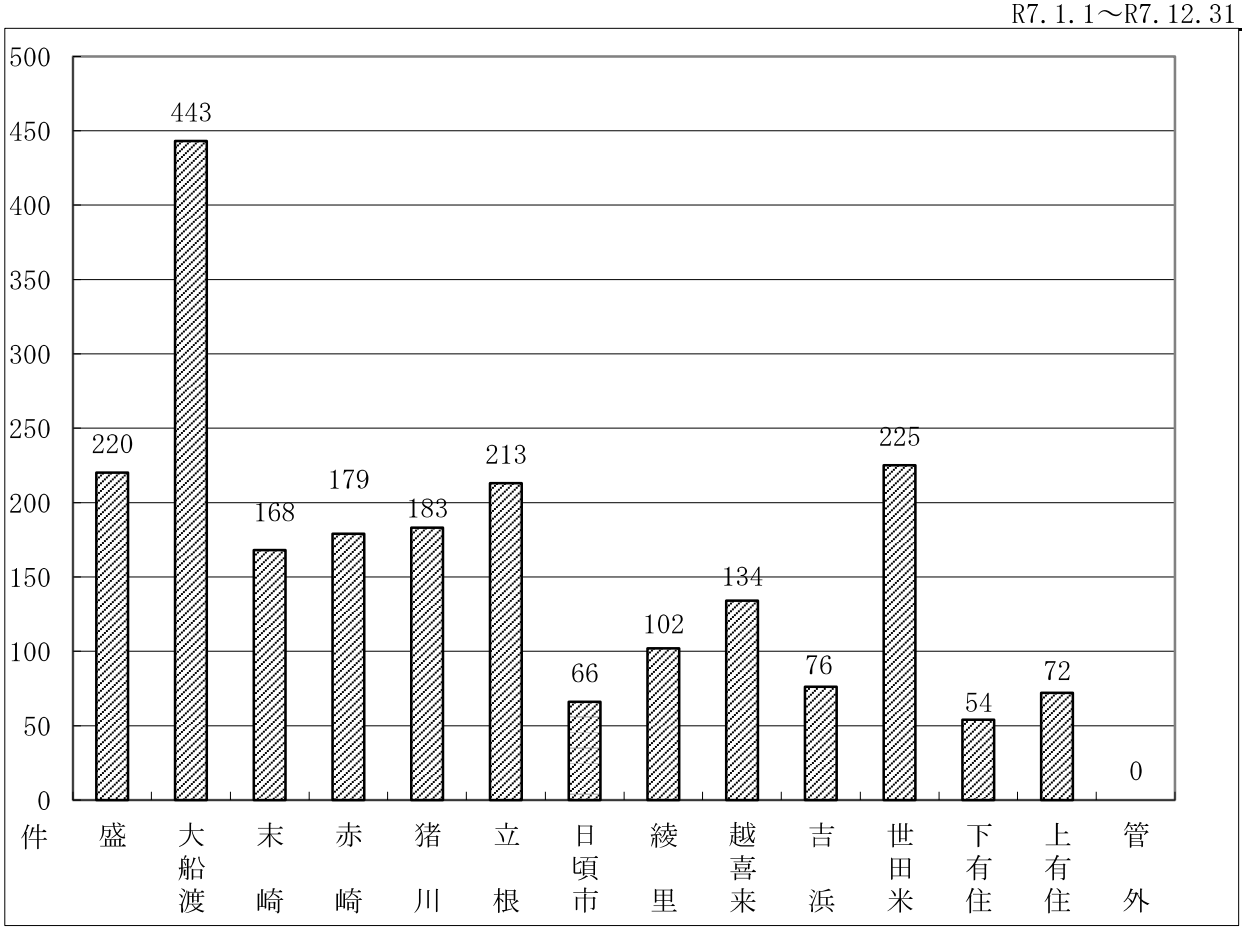
１．救急出動件数と取扱状況

R7.1.1～R7.12.31

区分＼年別		令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年 大船渡市	住田町	管外	合計
救急出動件数		1,938	1,850	2,130	2,007	1,784	351		2,135
内約	搬送件数	1,861	1,758	2,043	1,902	1,703	334		2,037
内約	不搬送件数	77	92	87	105	81	17		98
内約	搬送人員	1,867	1,771	2,062	1,910	1,713	338		2,051
人口10,000人あたりの救急出動件数		464	420	566	546	568	772		594

２．地区別救急出動件数

R7.1.1～R7.12.31



（市町別合計）

地区	大船渡市	住田町	管外	合計
件数	1,784 件	351 件	0 件	2,135 件

３．救急事故種別・病院別取扱件数状況

R7.1.1～R7.12.31

病院別 / 事故種別	管内			管外の公立病院	県外の公立病院	管外・県外のその他	計
	岩手県立大船渡病院	公立の診療所	その他				
火災	1						1
自然災害							
水難	4						4
交通事故	79						79
労働災害	24						24
運動競技	12						12
一般負傷	306			1			307
加害	4						4
自損行為	6						6
急病	1,491			21	1	1	1,514
その他	60			9		31	100
計	1,987			31	1	32	2,051
大船渡市	1,674			7	1	31	1,713
住田町	313			24		1	338

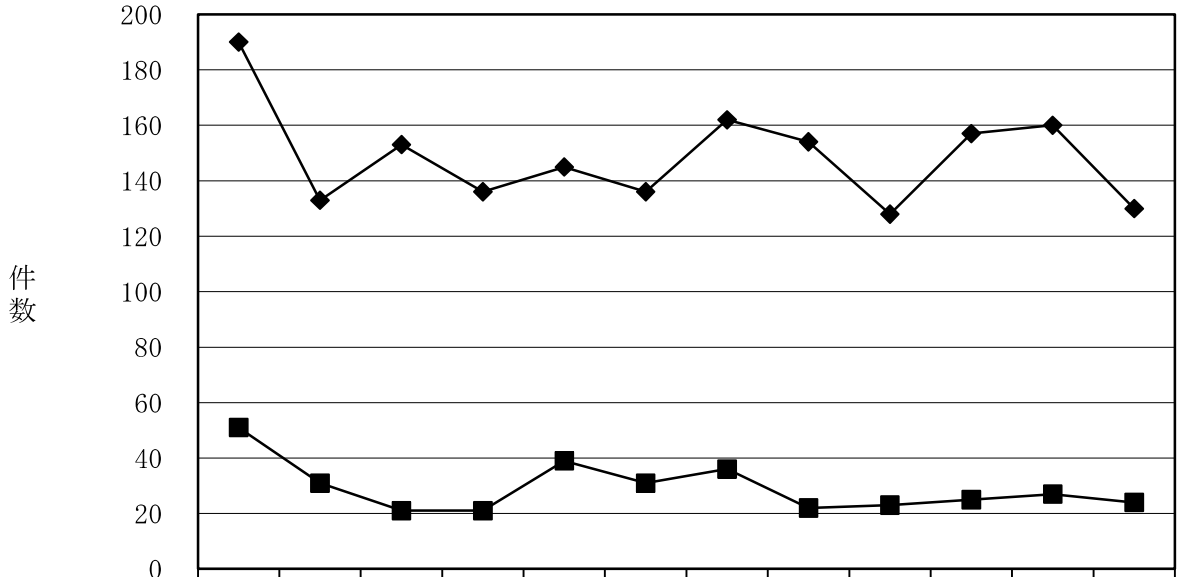
４．市町別救急出動件数

R7.1.1～R7.12.31

事故種別 / 地区	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
大船渡市			4	56	17	9	273	3	7	1,343	72	1,784
住田町	1		1	22	7	3	41	1	1	242	32	351
その他の地域												
計	1		5	78	24	12	314	4	8	1,585	104	2,135

５．月別救急出動件数（市町別）

R7.1.1～R7.12.31



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大船渡市	190	133	153	136	145	136	162	154	128	157	160	130
住田町	51	31	21	21	39	31	36	22	23	25	27	24

大船渡市	合　計	1,784 件
	月平均	149 件
管内合計	合　計	2,135 件
	月平均	178 件

住田町	合　計	351 件
	月平均	29 件

６．収容までの平均所要時間

R7.1.1～R7.12.31

所要時間／署所別	救急出場から医療機関に収容するに要した時間（平均）			
	管内医療機関への搬送		管外医療機関への搬送	
	出場～現着（分）	搬送開始～病院到着（分）	出場～現着（分）	搬送開始～病院到着（分）
大船渡署	9.1	8.8	6.6	92.9
住田分署	10.2	28.7	16.3	26.0
三陸分署	10.5	20.9	25.0	15.0
綾里分遣所	8.6	21.4	0.0	0.0
全体の平均	9.4	13.7	10.6	66.2

７．傷病程度別搬送人員

R7.1.1～R7.12.31

種別／程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	大船渡市	住田町
死　亡			1						1	51		53	44	9
重　症				7	1	1	30		1	136	26	202	168	34
中等症	1		1	12	5	2	86		3	515	63	688	566	122
軽　症			2	60	18	9	191	4	1	812	11	1,108	935	173
その他														
合　計	1		4	79	24	12	307	4	6	1,514	100	2,051	1,713	338

＊重症・・入院３週間以上のもの
＊軽症・・入院加療を要しないもの
＊中等症・・重症・軽症以外のもの
＊その他・・医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

８．年齢別搬送人員

R7.1.1～R7.12.31

種別／区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	大船渡市	住田町
新生児										1	3	4	3	1
乳幼児							4			27	6	37	34	3
少　年				2		8	8		1	31	3	53	48	5
成　人			3	38	16	3	39	2	3	288	21	413	345	68
高齢者	1		1	39	8	1	256	2	2	1,167	67	1,544	1,283	261
合　計	1		4	79	24	12	307	4	6	1,514	100	2,051	1,713	338

＊新生児・・生後28日未満　　＊乳幼児・・生後28日以上７歳未満　　＊少　年・・７歳以上～18歳未満
＊成　人・・18歳以上～65歳未満　　＊高齢者・・65歳以上

９．救急隊員の行った応急処置

R7.1.1～R7.12.31

傷病程度 / 項目	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
応急処置人員	53	202	688	1,108		2,051
止血		3	11	48		62
固定		14	13	23		50
人工呼吸		1				1
心臓マッサージ						
心肺蘇生	45	8				53
酸素吸入	51	80	153	59		343
気道確保	46	16	5	1		68
保温	5	24	75	98		202
被覆			8	14		22
血圧測定	9	193	680	1,095		1,977
聴診器による聴取	37	53	168	150		408
血中酸素飽和度測定	11	194	683	1,103		1,991
心電図測定	53	200	678	1,095		2,026
気道確保(器具使用)	11					11
除細動	4	1				5
静脈路確保	17	11	6	2		36
薬剤投与	16	3				19
その他	47	199	674	1,099		2,019
計	352	1,000	3,154	4,787		9,293

１０．救命講習受講者人数

R7.1.1～R7.12.31

	大船渡市	住田町	合計
受講人数	1,231 名	282 名	1,513 名

１１．救命士資格取得率及び救急事案搭乗率

R7.1.1～R7.12.31

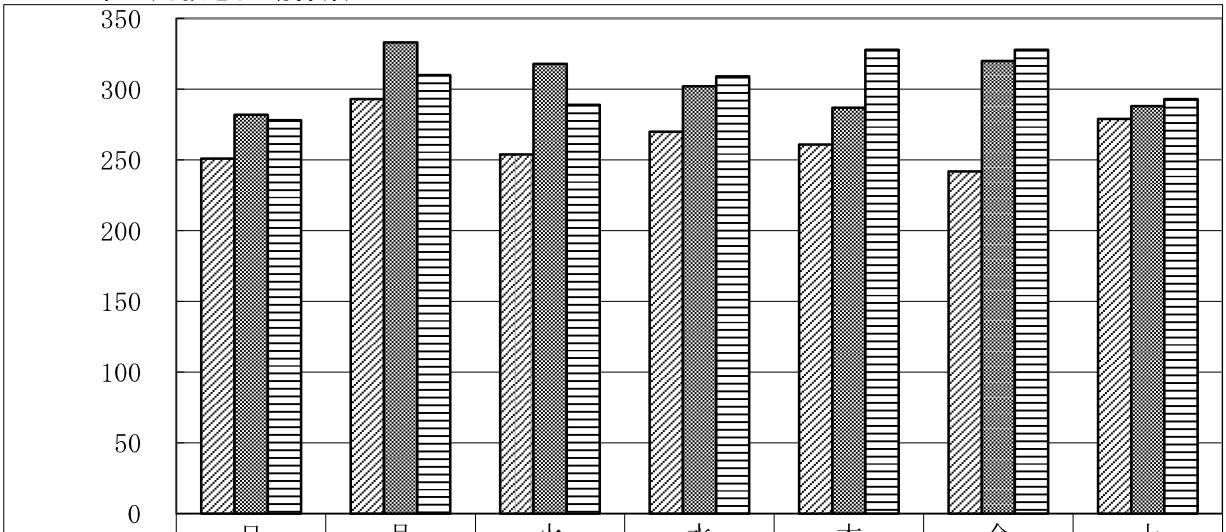
	大船渡市	住田町	合計
救命士資格取得率	38.0%	46.7%	39.4%
救命士救急事案搭乗率	100%	100%	100%

12. 時間別救急出動件数

R7.1.1～R7.12.31

区分 ＼ 事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
時間内訳	0 ～ 2				1			10			59	1	71
	2 ～ 4							4	1		61	2	68
	4 ～ 6				3	1		14			51	1	70
	6 ～ 8				5	1		21		1	161		189
	8 ～ 10				10	5		37	1		219	10	282
	10 ～ 12			2	15	6	2	54		3	196	20	298
	12 ～ 14			1	9	4	5	48	1		166	24	258
	14 ～ 16				10	3	2	32		1	162	29	239
	16 ～ 18				15	4	3	30			168	9	229
	18 ～ 20			1	7			28		2	158	4	200
	20 ～ 22	1			2			25		1	107	2	138
	22 ～ 24			1	1			11	1		77	2	93
	合 計	1		5	78	24	12	314	4	8	1,585	104	2,135

１３．曜日別救急出動件数



	日	月	火	水	木	金	土
令和５年	251	293	254	270	261	242	279
令和６年	282	333	318	302	287	320	288
令和７年	278	310	289	309	328	328	293

１４．年別・署所別・種別救急出動件数

（過去5年間の救急出動件数）

市町別＼種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
令和三年	大船渡消防署			5	43	14	12	141		6	960	66	1,247
	三陸分署			1	7	3		20		2	149	5	187
	綾里分遣所			1	5			10			117		133
	住田分署				10	6	1	30			295	29	371
	計			7	65	23	13	201		8	1,521	100	1,938
令和四年	大船渡消防署	2		2	53	7	7	161	3	10	968	78	1,291
	三陸分署				7	1	1	33	1		107	1	151
	綾里分遣所			2	4	2		20		1	100		129
	住田分署				10		1	29		2	218	19	279
	計	2		4	74	10	9	243	4	13	1,393	98	1,850
令和五年	大船渡消防署	1			54	14	7	231		19	1,140	44	1,510
	三陸分署				8	6	1	23		2	123	3	166
	綾里分遣所			1	3	3	2	30			97	1	137
	住田分署	1		1	9	8	1	38		2	236	21	317
	計	2		2	74	31	11	322		23	1,596	69	2,130
令和六年	大船渡消防署			3	54	13	9	194	1	11	1,033	73	1,391
	三陸分署			1	9	2		21		2	136		171
	綾里分遣所				4	1	1	22		1	114		143
	住田分署				15	4		45		1	205	32	302
	計			4	82	20	10	282	1	15	1,488	105	2,007
令和七年	大船渡消防署	1		2	49	13	6	218	3	5	1,080	70	1,447
	三陸分署			1	7	4	3	40		1	156	1	213
	綾里分遣所			1	4			15		1	118	2	141
	住田分署			1	18	7	3	41	1	1	231	31	334
	計	1		5	78	24	12	314	4	8	1,585	104	2,135
五年間平均	大船渡消防署	0.8		2.4	50.6	12.2	8.2	189.0	1.4	10.2	1,036.2	66.2	1,377.2
	三陸分署			0.6	7.6	3.2	1.0	27.4	0.2	1.4	134.2	2.0	177.6
	綾里分遣所			1.0	4.0	1.2	0.6	19.4		0.6	109.2	0.6	136.6
	住田分署	0.2		0.4	12.4	5.0	1.2	36.6	0.2	1.2	237.0	26.4	320.6
	計	1.0		4.4	74.6	21.6	11.0	272.4	1.8	13.4	1,516.6	95.2	2,012.0

１５．職員教養実施状況

R7.4.1～R8.3.31

種別			階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消大	専科教育									
	幹部教育									
指導救命士										
救急救命士							1			1
県消防学校等	初任教育								5	5
	幹部科	初・中級				1				1
		上級								
	特別	無線通信講習								
		女性活躍推進講習						1	1	2
		土砂災害消防活動講習								
		特別聴講等					5			5
	専科教育	警防科				1				1
		予防総合科								
		火災調査科					1			1
		救急科						1	1	2
		救助科					2	1		3
合計						2	9	3	7	21

委託研修	気仙広域研修	係長	新任課程							
			現任課程							
		吏員	初級課程							
			中級課程							
			上級課程							
	病院実習・講習	生涯教育			1	5	6	5	4	21
		気管挿管					2			2
		ビデオ硬性挿管					2			2
		薬剤投与								
		就業前研修					1			1
合計					1	5	11	5	4	26

各種研修等	研修・講習等	東北救急医学会					1	1	2
		救急実務講習会				2			2
		全国救急隊員シンポジウム							
		警防実務研究会			2	1			3
		通信指令シンポジウム							
		全国救助シンポジウム				1			1
		整備管理者選任前研修		2					2
		潜水技術研修							
		潜水士試験					1		1
		予防技術検定受検					2	3	5
		小型移動クレーン講習					2		2
		玉掛け講習				1	1		2
		酸欠等作業者主任技能講習							
		大型自動車免許				1	1		2
		消防・救急緊急自動車運転技能者課程							
合計				2	2	6	8	4	22

大　船　渡　市



穴通磯

ともに創る
やすらぎに包まれ　活気あふれる
三陸のにぎわい拠点

大船渡

大船渡市は、岩手県の沿岸南部に位置し、三陸復興国立公園の代表的な景勝地として知られる碁石海岸や三陸沿岸の最高峰五葉山県立自然公園など、自然豊かで風光明媚な人口約３万１千人のまちです。

夏は涼しく、また、冬にはほとんど積雪が見られず、比較的温暖な心地の良いまちです。

中でも、碁石海岸は「日本の渚百選」や「21 世紀に引き継ぎたい日本の白砂青松百選」、「日本の音風景百選」に、五葉山県立自然公園は「21 世紀に残したい日本の自然百選」にそれぞれ選定されています。

また、三陸町との合併を機に、国の宇宙科学研究関連施設のある神奈川県相模原市など国内７市町で構成する「銀河連邦」に属し、人材育成、観光物産振興などを目的とした都市間交流事業を積極的に展開しています。

昭和 27 年４月、臨海工業都市の建設を目指し、２町５村が合併して市制を施行、昭和 35 年のチリ地震津波では国内最大の被災地となりましたが、市をあげて復興に取り組み、水産業、窯業、木材加工業などを中心に発展しました。

平成 13 年 11 月には、隣の三陸町と合併を果たし、その後、三陸沿岸地域の諸都市を結ぶ三陸縦貫自動車道の供用開始、新たな多目的国際ターミナル港湾整備の進展、大船渡港と韓国・釜山港を結ぶ県内初の国際貿易コンテナ定期航路の開設など、交通、物流基盤の強化が図られ、県内最大の漁業生産量を誇る水産業や窯業などの地場産業の振興、市民文化会館（リアスホール）を中心とした文化の香り高いまちづくりなどにより、三陸沿岸地域の拠点都市として発展してきました。

このような中、平成 23 年３月 11 日の東日本大震災、令和７年２月 26 日の令和７年大船渡市大規模林野火災により、今までに経験したことのない甚大な被害に遭いましたが、この類を見ない災害を乗り越え、市民一人ひとりが幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するため、市民一丸となって復興に向けて取り組んでいます。

１．大船渡市消防団の組織

※（　）機能別消防団員

R8.4.1現在(実員数)

１分団	盛	１部	小型ポンプ（積）	15名	２部	自動車ポンプ	11名(2)
分団本部	8名	３部	小型ポンプ（積）	12名	４部	小型ポンプ（積）	10名
２分団	大船渡・北	１部	自動車ポンプ	13名(3)	２部	小型ポンプ（積）	18名(4)
分団本部	5名	３部	自動車ポンプ	12名(3)			
３分団	大船渡・南	１部	自動車ポンプ	14名(4)	２部	自動車ポンプ	19名(4)
分団本部	5名	３部	自動車ポンプ	9名(2)			
４分団	末崎	１部	自動車ポンプ	15名	２部	自動車ポンプ	12名
分団本部	5名	３部	小型ポンプ（積）	12名	４部	小型ポンプ（積）	8名
		５部	自動車ポンプ	12名			
５分団	赤崎・南	１部	小型ポンプ（積）	10名	２部	自動車ポンプ	18名
分団本部	5名	３部	小型ポンプ（積）	6名			
６分団	赤崎・北	１部	自動車ポンプ	11名	２部	自動車ポンプ	14名(2)
分団本部	8名(1)	３部	自動車ポンプ	7名			
７分団	猪川	１部	小型ポンプ（積）	14名(1)	２部	小型ポンプ（積）	10名(2)
分団本部	6名	３部	自動車ポンプ	11名(2)			
８分団	立根	１部	小型ポンプ（積）	11名	２部	自動車ポンプ	12名
分団本部	18名(12)	３部	小型ポンプ（積）	12名			
９分団	日頃市	１部	小型ポンプ（積）	17名(4)	２部	小型ポンプ（積）	10名(1)
分団本部	6名	３部	小型ポンプ（積）	12名	４部	小型ポンプ（積）	18名(2)
１０分団	綾里	１部	自動車ポンプ	18名(2)	２部	小型ポンプ（積）	8名
分団本部	6名	３部	小型ポンプ（積）	15名(1)	４部	自動車ポンプ	24名
１１分団	越喜来	１部	自動車ポンプ	14名	２部	自動車ポンプ	9名
分団本部	5名	３部	小型ポンプ（積）	13名	４部	小型ポンプ（積）	7名
１２分団	吉浜	１部	小型ポンプ（積）	16名(2)			
分団本部	5名	２部	自動車ポンプ	16名(3)			

市長

団本部

26名

消防団長
副団長
本部長
副本部長

消防委員

12名

消防団員数　633名（57名）

２．大船渡市・旧三陸町消防団の沿革

（１）大船渡市消防団の沿革

年　月　日	記　事
明治27年 5月	現管内に村単位消防組発足
昭和14年 4月 1日	消防組より警防団に改称
昭和18年 7月	消防艇初代「やしま」就設
昭和23年 3月 7日	自治体消防の発足
昭和27年 4月 1日	市制施行と同時に旧盛町、大船渡町、末崎村、猪川村、立根村、赤崎村、日頃市村各 消防団が団結、大船渡市消防団となる 旧町村単位の支団制とし、７支団34分団、団員定数1,208名 大船渡市民生課に消防係を置く
昭和28年 8月10日	大船渡市消防課を設置する
昭和30年 2月11日	優良消防団として日本消防協会より竿頭綬を受賞
昭和30年 4月 7日	大船渡市消防本部を設置する
昭和32年12月 1日	団の組織を分団制とし、支団を分団に、分団を部に改称する
昭和33年 9月	消防艇「やしま」更新
昭和35年 2月11日	優良消防本部、消防団として日本消防協会より表彰旗を受賞
昭和37年 4月 1日	市制施行10周年ラッパ隊、まとい隊編成
昭和37年12月 1日	消防力の基準に従い、７ヶ分団を９ヶ分団に編成替を行う
昭和40年 3月18日	優良消防本部、消防団として岩手県知事より表彰旗を受賞
昭和41年 3月 3日	優良消防本部、消防団として消防庁長官より竿頭綬を受賞
昭和44年 3月 4日	災害の防除と消防力の強化のため、その成績優秀なる消防本部、消防団として消防庁長官より表彰旗を受賞
昭和44年 9月30日	消防艇「やしま」を鋼船11.45tに更新
昭和47年10月14日	第３回全国消防操法大会に岩手県代表として消防団第６分団が自動車ポンプ操法に出場
昭和52年 4月 1日	大船渡市消防厚生会発足
昭和52年 4月14日	大船渡市消防後援会連絡協議会発足
昭和52年 5月22日	年頭異常寒波に対する特別警戒の労により大船渡市長より賞詞を受賞
昭和53年	消防施設受益者負担廃止
昭和54年	市消防操法競技会に副賞楯授与(市消防後援会連絡協議会)
昭和55年 4月 1日	大船渡市消防団まとい組及びラッパ隊を中興する
昭和55年10月24日	小型ポンプ全機動化
昭和58年 7月10日	４月27日異常気象下山林火災の消火活動の労により大船渡市長より賞詞を受賞
昭和59年 3月27日	上記功労により岩手県知事より功労竿頭綬を受賞
昭和59年12月 7日	消防艇「やしま」廃役
昭和63年 4月 1日	分団付部長制創設
平成元年 2月10日	優良消防団として日本消防協会より竿頭綬を受賞
平成 5年 4月 1日	ラッパ隊、まとい隊員表彰起草(団本部)、退職幹部会構成員表彰起草(団本部)
平成 8年 5月20日	団旗更新
平成 9年 3月14日	岩手県知事より消防団優良竿頭綬を受賞
平成10年 1月 4日	分団旗、９旗更新(出初式で交付)
平成10年 3月 7日	自治体消防発足50周年記念「義勇愛郷」記念碑建立
平成10年 3月18日	岩手県知事より消防団特別優良表彰旗を受賞
平成11年 1月 1日	親子団員表彰起草(市消防後援会連絡協議会)
平成11年 3月19日	岩手県消防協会長より無火災表彰を受賞
平成12年 3月16日	岩手県知事より無火災表彰旗を受賞 岩手県消防協会長より無火災竿頭綬を受賞
平成12年 4月 1日	親子団員表彰を大船渡市長表彰とする
平成12年 5月21日	10年中無火災152日達成と市制後6件の最小火災件数、11年中無火災183日達成と７件の火災発生件数に抑止された予防活動の功により大船渡市長より賞詞を受賞
平成13年11月15日	大船渡市、三陸町合併により旧大船渡市消防団と旧三陸町消防団が統合、大船渡市消防団となる 15分団51部、団員定数1,341名
平成15年 4月 1日	綾里、越喜来、吉浜を分団統合し、12分団制となる
平成16年 2月13日	優良消防団として日本消防協会より表彰旗を受賞
平成16年 3月12日	岩手県消防協会長より無火災竿頭綬を受賞
平成17年 2月25日	消防庁長官より消防団地域活動表彰として団員確保功労表彰を受賞

年　月　日	記　事
平成18年 2月10日	日本消防協会より国内最高栄誉とされる特別表彰「まとい」を受賞
平成19年 1月 9日	消防出初式において消防協力者として団長より３名に感謝状を贈呈する
平成19年 3月20日	大船渡市消防団協力事業所として太平洋セメント㈱大船渡工場が、市の第１号表示証を交付される
平成19年 9月27日	大船渡市消防団協力事業所として龍振鉱業株式会社が、市の第２号表示証を交付される
平成20年 5月25日	大船渡市消防表彰式において消防協力者として、市長と団長より２名に感謝状を贈呈する
平成21年 1月 4日	大船渡市消防団協力事業所として橋爪商事株式会社が、市の第３号表示証を交付される
平成21年 3月22日	太平洋セメント(株)大船渡工場が総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付される
平成21年 3月27日	大船渡市消防団協力事業所として大船渡市農業協同組合が、市の第４号表示証を交付される
平成21年 5月31日	カメリアホールにおいて消防協力者として、団長より８名に感謝状を贈呈する
平成22年 1月10日	大船渡市消防団協力事業所として株式会社アマタケが市の第５号表示証を、大船渡市漁業協同組合が市の第６号表示証を交付される
平成22年 2月10日	優良消防団として日本消防協会より竿頭綬を受賞
平成22年 2月25日	龍振鉱業株式会社、橋爪商事株式会社、大船渡市農業協同組合が総務省消防庁消防団 協力事業所表示証を交付される
平成22年 4月27日	大船渡市消防団協力事業所として株式会社菊池組が市の第７号表示証を交付される
平成22年11月26日	大船渡市消防団協力事業所として株式会社佐賀組が市の第８号表示証、株式会社明和土木が市の第９号表示証、池田建設株式会社が市の第10号表示証を交付される
平成23年 1月 9日	大船渡市消防団協力事業所として北日本プライウッド株式会社が市の第11号表示証、株式会社三栄工業所が市の第12号表示証、医療法人勝久会が市の第13号表示証、社会福祉法人愛生会が市の第14号表示証、社会福祉法人成仁会が市の第15号表示証を交付される 消防出初式において消防協力者として団長より２名に感謝状を贈呈する
平成23年 2月21日	大船渡市漁業協同組合、株式会社菊池組が総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付される
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震発生(東日本大震災) ※消防団員３名殉職 被災消防屯所(全壊)21棟 被災消防団車両３台
平成23年 8月23日	大船渡市消防団協力事業所として豊島建設株式会社が市の第16号表示証を交付される
平成23年11月14日	岩手県消防殉職者慰霊祭(岩手教育会館)
平成23年11月29日	消防殉職者等全国慰霊祭(日本消防会館)
平成24年 1月 8日	大船渡市消防団協力事業所として中村建設株式会社が市の第17号表示証、岩手工業株式会社が第18号表示証を交付される 市民文化会館大ホールにおいて消防協力者として団長より２名に感謝状を贈呈する
平成24年 2月20日	大船渡市漁業協同組合が消防庁長官より、消防団地域活動表彰(事業所表彰)受賞 社会福祉法人愛生会吉浜荘が総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付される
平成24年 2月23日	大船渡高校において消防協力者として、団長より２名に感謝状を贈呈する
平成24年 3月11日	東日本大震災大船渡市消防団殉職消防団員慰霊祭(市民文化会館　大ホール)
平成24年 3月14日	岩手県消防協会総裁・岩手県消防協会会長表彰現場功労竿頭綬を受賞
平成24年 9月10日	平成24年防災功労者として内閣総理大臣表彰を受賞
平成24年 9月30日	秋季消防演習において消防協力者として、団長より３名に感謝状を贈呈する
平成25年 1月 9日	大船渡市消防団協力事業所として(株)佐藤渡辺岩手事業所が市の第19号表示証を交付される 株式会社三栄工業所が総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付される
平成25年 2月28日	大船渡市消防団員の条例定員を1,341人から1,084人に改正
平成25年10月 1日	第４分団第１部が第４分団第２部と統合し、第10分団第２部(小路、石浜、田浜)が小路、石浜は第10分団第１部(港)に統合、田浜は第10分団第２部の１班に改編、第10分団第３部(岩崎、野形)が２班から１班に統合(班の廃止)、第11分団第５部(中村、前田、浪板)が３班から２班に統合、第11分団第７部が第11分団第６部と統合する
平成26年 4月 1日	第２分団第４部を廃止する
平成27年 2月23日	中村建設株式会社が総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付される
平成27年11月 1日	岩手県消防協会100周年特別表彰を受賞
平成28年 2月 8日	大船渡市消防団協力事業所としてさいとう製菓(株)が市の第20号、東北汽船港運(株)が第21号、(株)阿部長大船渡食品が第22号表示証を交付される
平成28年 3月11日	東日本大震災津波岩手県・大船渡市合同追悼式(市民文化会館　大ホール)
平成28年 3月17日	岩手県消防協会長より無火災竿頭綬を受賞
平成28年 3月31日	東日本大震災被災消防屯所21棟(うち新築18棟)、年度末に10棟復旧する
平成28年 4月 1日	第９分団第５部を廃止する
平成29年 1月15日	大船渡市消防出初式において消防協力者として、市長より２名に功労証(甲)を贈呈する

年　月　日	記　事
平成29年 3月 5日	大船渡市防災センターにおいて消防協力者として、団長より３名に感謝状を贈呈する
平成29年 3月31日	東日本大震災被災消防屯所21棟(うち新築18棟)、年度末に５棟復旧する
平成30年 1月14日	大船渡市消防団協力事業所として谷地保険株式会社が市の第23号表示証を交付される
平成30年 3月 7日	自治体消防制度70周年記念式典にて消防庁長官より消防団等地域活動表彰(事業所)を株式会社三栄工業所が受賞
平成30年 3月31日	東日本大震災被災消防屯所21棟(うち新築18棟)、年度末に２棟復旧する
平成30年 8月 1日	第10分団第６部が第10分団第５部と統合し３班体制とする
平成30年10月 4日	東日本大震災被災消防屯所(11-６)完成 被災した消防屯所21棟のうち、復旧すべき消防屯所18棟すべて完成
平成31年 1月18日	第５分団第１部消防屯所完成
平成31年 2月10日	東北汽船港運株式会社が総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付される
平成31年 3月31日	第８分団第１部消防屯所完成
令和元年11月 1日	第11分団第２部(上甫嶺)が第11分団第１部(鬼沢、甫嶺)と統合し上甫嶺を廃止、第11分団第６部（崎浜、仲崎浜)を、第11分団第２部(崎浜、仲崎浜)に変更する
令和２年 3月31日	第10分団第４部消防屯所完成
令和２年 9月30日	大船渡市消防団協力事業所として共立電気株式会社が市の第24号表示証を交付される
令和３年 1月17日	消防出初式において行方不明者発見の功績に対し、市長より第11分団が表彰状を受賞 消防協力者として団長より表彰状を１名に贈呈、感謝状を１名に贈呈する
令和３年 3月 5日	優良消防団として日本消防協会より竿頭綬を受賞
令和３年 3月10日	中村建設株式会社が消防庁長官より、消防団地域活動表彰(事業所表彰)受賞
令和３年 3月17日	岩手県知事より無火災竿頭綬を受賞 岩手県消防協会長より無火災竿頭綬を受賞
令和３年 3月25日	大船渡市消防団協力事業所として株式会社中澤組が市の第25号、まるたつ株式会社が第26号表示証を交付される
令和３年 3月30日	第８分団第３部消防屯所完成
令和３年10月 5日	大船渡市消防団協力事業所として株式会社新亀建設が市の第27号表示証を交付される 大船渡市消防団協力事業所として有限会社石川電気が市の第28号表示証を交付される
令和４年 3月28日	第11分団第５部消防屯所完成
令和４年 9月27日	大船渡市消防団員の条例定員を1,084人から766人に改正 大船渡市消防団の処遇を改正、令和５年４月１日から施行
令和５年 1月15日	大船渡市消防団協力事業所として岩手開発鉄道株式会社が市の第29号表示証を交付される
令和５年 9月14日	大船渡市防災センターにおいて消防協力者として、団長より４名に感謝状を贈呈する
令和６年 1月14日	大船渡市消防団協力事業所として大船渡魚市場株式会社が市の第30号表示証を交付される
令和６年 4月 1日	第10分団第５部(白浜、小石浜、砂子浜、野々前)の班を廃止し、第３部(岩崎、野形)の管轄地域の岩崎を第１部(港、石浜、小路)、野形を第４部(宮野)に統合し、第５部の管轄地域の野々前を第４部(宮野)に統合する。第５部を第３部に変更する 第11分団第１部(鬼沢、甫嶺、上甫嶺)、第５部(前田、中村、浪板)の班を廃止し、第３部(泊)と第４部(浦浜)を統合し、第４部とする。第５部を第３部に変更し、第５部を廃止する 第12分団第１部(大野、上通、下通、中通、後山、増舘)の班を廃止し、第１部と第２部(扇洞)を統合し、第１部とし、第３部(根白)と第４部(千歳)を統合し、第２部とする。第３部、第４部を廃止する
令和６年 6月18日	大船渡市防災センターにおいて消防協力者として、団長より１名に感謝状を贈呈する
令和７年 2月26日	大船渡市大規模林野火災発生
令和７年 3月 5日	消防庁長官より、防災功労者消防庁長官表彰受賞（越喜来地区林野火災） 龍振鉱業株式会社が消防庁長官より、消防団地域活動表彰(事業所表彰)受賞
令和７年 3月26日	岩手県知事より無火災竿頭綬を受賞 岩手県消防協会長より無火災竿頭綬を受賞
令和７年 6月10日	消防庁長官より、防災功労者消防庁長官表彰受賞（大規模林野火災）
令和７年 9月 1日	内閣総理大臣より、防災功労者内閣総理大臣表彰受賞（大規模林野火災）
令和７年10月 1日	大船渡市消防団機能別消防団員制度、休団制度施行
令和８年 1月 4日	消防出初式において消防協力者として、団長より綾里漁業協同組合、社会福祉法人成人会へ感謝状を贈呈する（大規模林野火災時の施設、物資提供）
令和８年 3月31日	消防協力者へ団長より１名に感謝状を贈呈する （赤崎町字普金地内車両火災時の初期消火）

（２）旧三陸町消防団の沿革

年　月　日	記　事
明治31年 4月	綾里村壮年効成会創設(消防組の前身)
大正 3年 3月23日	綾里村消防組創設　２部制(組員60人)
大正 6年 5月	越喜来村消防組創設　３部制(組員65人)
大正 7年12月	吉浜村消防組創設　３部制(組員75人)
昭和14年 4月 1日	消防組より警防団に改称
昭和22年 7月	消防団令公布により、越喜来村消防団発足(団員160人)
昭和22年 9月19日	消防団令公布により、綾里村消防団発足(団員92人)
昭和23年	消防団令公布により、吉浜村消防団発足(団員120人)
昭和31年 9月30日	三村合併により三陸村消防団として糾合10ヶ分団制をとる(団員435人)
昭和42年 4月 1日	町制施行と共に名称を三陸町消防団と改称、６ヶ分団17部制に再編成(団員435人)
昭和45年	三陸町地域防災計画を策定、系統的な防災体制を確立
昭和51年 9月 1日	三陸町林野火災の防災功労により三陸町消防団、組合消防本部が消防庁長官表彰受賞
昭和52年 3月29日	優良消防団として岩手県知事より竿頭綬を受賞
昭和56年 3月26日	優良消防団として岩手県知事より表彰旗を受賞
平成元年 3月 6日	優良消防団として消防庁長官より竿頭綬を受賞
平成 3年 2月13日	優良消防団として日本消防協会より表彰旗を受賞
平成 6年 6月24日	三陸町消防団ラッパ隊発足(隊編成式)　隊長を団本部長として隊員20人
平成 7年 2月10日	優良消防団として日本消防協会より竿頭綬を受賞
平成13年11月15日	大船渡市、三陸町合併により旧大船渡市消防団と旧三陸町消防団が統合、大船渡市消防団となる

３．消防団員階級別現員状況、年齢別及び勤続年数別状況

（１）消防団員階級別現員状況

※（　）機能別消防団員　　R8.4.1現在

階級／分団	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
団 本 部	1	3	2		12		8	26
第１分団			1	1	5	18	31(2)	56(2)
第２分団			1	1	4	11	31(10)	48(10)
第３分団			1	1	4	12	29(10)	47(10)
第４分団			1	1	6	22	34	64
第５分団			1	1	4	12	21	39
第６分団			1	1	4	12	22(3)	40(3)
第７分団			1	1	4	11	24(5)	41(5)
第８分団			1	1	4	13	34(12)	53(12)
第９分団			1	1	5	18	38(7)	63(7)
第10分団			1	1	5	14	50(3)	71(3)
第11分団			1	1	5	17	24	48
第12分団			1	1	3	9	23(5)	37(5)
計	1	3	14	12	65	169	369(57)	633(57)

（２）消防団員年齢別状況

※（　）機能別消防団員　　R8.4.1現在

年齢／分団	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	平均年齢	団員数
団本部		1	5	10	10	46.2	26
第１分団		10	22	16	8(2)	38.9	56(2)
第２分団		7	17	17(3)	7(7)	38.9	48(10)
第３分団	1	4	16	13(1)	13(9)	42.9	47(10)
第４分団		13	34	15	2	35.5	64
第５分団	1	11	17	10		33.8	39
第６分団	2	11	15	10(1)	2(2)	34.6	40(3)
第７分団	1	12	15	10(2)	3(3)	35.50	41(5)
第８分団		9	20(1)	12(1)	12(10)	40.4	53(12)
第９分団		8	20	24(1)	11(6)	41.50	63(7)
第10分団		10	29	28	4(3)	37.3	71(3)
第11分団	1	4	19	20	4	40.0	48
第12分団	1	9	12	11(1)	4(4)	37.2	37(5)
合　計	7	109	241(1)	196(10)	80(46)	38.5	633(57)
団　長					1	58.0	1
副団長					3	58.0	3
分団長				6	8	50.6	14
副分団長				7	5	48.9	12
部　長			1	56	8	45.9	65
班　長		1	74	88	6	40.9	169
団　員	7	108	166(1)	39(10)	49(46)	35.1	369(57)

（３）団員勤続年数別状況

※（　）機能別消防団員　　R8.4.1現在

年数／分団	５年未満	５～９年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	勤続年数平均	合計
団本部	5	3			8	4	6	20.0	26
第１分団	10(2)	9	15	12	5	4	1	12.9	56(2)
第２分団	17(10)	10	7	9	5			9.1	48(10)
第３分団	16(10)	5	7	9	7	1	2	11.3	47(10)
第４分団	15	9	20	10	6	3	1	11.5	64
第５分団	3	13	6	7	9	1		12.9	39
第６分団	13(3)	9	4	9	4	1		9.8	40(3)
第７分団	16(5)	5	9	6	3	1	1	9.5	41(5)
第８分団	20(12)	9	8	6	8	2		9.3	53(12)
第９分団	11(7)	6	12	8	11	12	3	15.5	63(7)
第10分団	17(3)	8	18	11	15	1	1	12.5	71(3)
第11分団	1	8	11	12	8	7	1	16.7	48
第12分団	9(5)	10	6	5	5	2		10.6	37(5)
合　計	153(57)	104	123	104	94	39	16	12.3	633(57)
団　長							1	37.0	1
副団長							3	34.7	3
分団長					2	5	7	28.5	14
副分団長					8	4		23.9	12
部　長	1		4	13	30	15	2	21.6	65
班　長	2	10	40	60	41	13	3	17.3	169
団　員	150(57)	94	79	31	13	2		7.2	369(57)

４．消防車両の現勢

（１）消防車両車令別状況

R8.4.1現在

種別＼車令	１年未満	１～３年	４～６年	７～９年	10～12年	13～15年	16年以上	計
消防ポンプ自動車			3	3	3	3	8	20
小型動力ポンプ		3	2	3	6	1	6	21
積載車		3	2	3	6	4	6	24
団指揮車						1		1
資器材搬送車						1		1
防災学習車		1						1

（２）消防ポンプ自動車

R8.4.1現在

No	所属	車名	ポンプ			購入年月	車令	定員	備考
			製造者	形式	級別				
1	１－２	日野	岩手ポンプ	二段タービン	Ａ－２	H15.12	22	10	木町
2	２－１	日野	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H30.12	7	6	大船渡中央
3	２－３	日野	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H20.1	18	10	笹崎
4	３－１	日野	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H29.3	9	6	平
5	３－２	日野	日本機械	二段タービン	Ａ－２	H19.3	19	10	下船渡
6	３－３	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H18.1	20	10	永沢
7	４－１	いすゞ	日本機械	二段タービン	Ａ－２	H24.12	13	6	細浦
8	４－２	いすゞ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	R3.1	5	6	平林
9	４－５	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H21.1	17	10	碁石
10	５－２	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H24.11	13	6	蛸ノ浦
11	６－１	日野	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H30.3	8	6	永浜
12	６－２	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H25.11	12	6	中赤崎
13	６－３	日野	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H28.3	10	6	上三区
14	７－３	いすゞ	日本機械	二段タービン	Ａ－２	H14.2	24	10	下権現堂
15	８－２	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H23.3	15	10	田谷
16	１０－１	いすゞ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H21.12	16	10	港
17	１０－４	三菱	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H13.12	24	10	宮野
18	１１－１	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	R3.3	5	6	甫嶺
19	１１－２	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	R2.3	6	6	崎浜
20	１２－２	いすゞ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H26.11	11	6	根白

（３）小型動力ポンプ付積載車

R8.4.1現在

No	所　属	ポ　ン　プ					積　載　車				備　考
		製造者	形　式	級　別	購入年月	機令	車　名	購入年月	車令	定員	
1	１－１	シバウラ	一段タービン	Ｂ－３	H28.3	10	トヨタ	H28.3	10	6	吉野町
2	１－３	シバウラ	一段タービン	Ｂ－３	H28.3	10	トヨタ	H28.3	10	6	八幡町
3	１－４	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H28.11	9	トヨタ	H29.3	9	6	田茂山
4	２－２	ラビット	一段タービン	Ｂ－３	H20.12	17	トヨタ	H20.12	17	6	大船渡北
5	４－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H30.11	7	トヨタ	H31.3	7	6	小田･梅神
6	４－４	シバウラ	一段タービン	Ｂ－２	H27.3	11	トヨタ	H27.3	11	7	門之浜
7	５－１	シバウラ	一段タービン	Ｂ－２	H22.3	16	トヨタ	H22.3	16	6	長崎
8	５－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H22.9	15	トヨタ	H23.3	15	6	清水
9	７－１	ラビット	一段タービン	Ｂ－３	H18.2	20	トヨタ	H18.2	20	8	久名畑
10	７－２	シバウラ	一段タービン	Ｂ－３	H19.3	19	トヨタ	H19.3	19	8	長谷堂
11	８－１	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H16.12	21	トヨタ	H16.12	21	8	萱中
12	８－３	シバウラ	一段タービン	Ｂ－２	R7.2	1	日産	R7.2	1	6	下欠
13	９－１	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	R6.3	2	トヨタ	R6.3	2	6	関谷
14	９－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H20.1	18	トヨタ	H20.1	18	8	鷹生
15	９－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H25.12	12	トヨタ	H26.2	12	8	平山
16	９－４	シバウラ	一段タービン	Ｂ－３	H27.3	11	トヨタ	H27.3	11	7	長安寺
17	１０－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	R2.2	6	トヨタ	R2.2	6	6	田浜
18	１０－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H25.12	12	トヨタ	H26.2	12	8	小石浜
19	１１－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	R2.10	5	トヨタ	R3.1	5	8	前田
20	１１－４	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H28.11	9	トヨタ	H29.3	9	6	浦浜
21	１２－１	シバウラ	一段タービン	Ｂ－３	R5.3	3	トヨタ	R5.3	3	6	下通

（４）その他の車両

R8.4.1現在

No	所　属	種　別	車　名	購入年月	車　令	定　員	備　考
1	団本部	団指揮車	トヨタ	H25.1	13	10	大船渡消防署
2	団本部	資器材搬送車	日野	H25.3	13	3	〃
3	団本部	防災学習車	スズキ	R07.3	1	4	〃
4	その他	旧１２－１大野	トヨタ	H24.11	13	8	
5	その他	旧１２－４千歳	トヨタ	H24.3	14	8	
6	その他	旧１１－１鬼沢	トヨタ	H24.2	14	8	

５．消防団員出動状況

R7.4.1～R8.3.31

区分＼分団名		団本部	第一分団	第二分団	第三分団	第四分団	第五分団	第六分団	第七分団	第八分団	第九分団	第十分団	第十一分団	第十二分団	計
火災	建物	6			12	27				1					46
	林野														
	船舶														
	車両														
	その他														
	出動回数	1			1	1				1					4
	出動団員	6			12	27				1					46
救助活動	出動回数														
	出動団員														
風水害等災害	出動回数	6	6	6	6	6	6	5	5	6	4	6	6	6	74
	出動団員	71	119	97	131	166	120	87	48	24	54	161	128	124	1,330
演習訓練	出動回数	9	8	8	8	10	10	9	10	9	9	11	8	10	119
	出動団員	78	127	103	94	146	130	115	121	86	120	183	96	92	1,491
広報訓練指導	出動回数	12	15	24	17	14	18	17	13	22	17	18	18	22	227
	出動団員	12	46	67	33	41	65	46	55	74	51	56	47	59	652
特別警戒	出動回数	6					30	29				30	30		125
	出動団員	6					90	87				83	88		354
捜索	出動回数														
	出動団員														
予防査察	出動回数														
	出動団員														
その他	出動回数	23	6	8	7	5	2	2	1	1	3	1			59
	出動団員	55	47	34	21	37	2	2	1	1	27	8			235
合計	出動回数	57	35	46	39	36	66	62	29	39	33	66	62	38	608
	出動団員	228	339	301	291	417	407	337	225	186	252	491	359	275	4,108

6. 消防団員教養実施状況

R7.4.1～R8.3.31

項目 / 区分	消防学校				指導員研修（県消防協会）	総合教養	初任団員教養（県消防協会気仙地区支部主催）	予防教養	庶務教養	指導ポンプ操法会	活用指導員教養空中消火資機材	計
	専科	幹部										
	警防・機関科	分団指揮課程	現場指揮課程	初級								
団本部						2		6	2			10
1分団						11		8				19
2分団						6		4	1			11
3分団						8		6	1			15
4分団						9	1	10	1			21
5分団			1			9	1	4	4			19
6分団						10	3	6	3			22
7分団						8	2	6	3			19
8分団						5	2	6	2			15
9分団						9	2	8	1			20
10分団						6	1	7	2			16
11分団	1					9		7	3			20
12分団						10	2	2	1			15
合計	1	0	1	0	0	102	14	80	24	0	0	222

７．消防団員等公務災害補償状況

R7.4.1～R8.3.31(単位：円)

区分＼階級	発生件数	療養補償	休業補償	休養援護金	生涯補償	遺族補償 葬祭補償	計
消防団員						6,713,999	6,713,999
消火協力者							
計						6,713,999	6,713,999

８．消防庁長官の行う退職報償（銀杯）

R7.4.1～R8.3.31

区分＼階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
１号報償		1	2		8		1	12
２号報償			1		4	4	4	13
計		1	3		12	4	5	25

※　１号報償は勤続25年以上、２号報償は15年以上25年未満である。

９．消防団員の報酬等調べ

R8.4.1現在

区分				報酬の額
年額報酬	階級	基本消防団員	団長	年額　176,000円
			副団長	年額　99,000円
			分団長	年額　76,000円
			副分団長	年額　55,000円
			部長	年額　49,000円
			班長	年額　37,000円
			団員	年額　36,500円
		機能別消防団員	災害活動団員	年額　12,000円
出動報酬	災害出動	火災、風水害、地震、津波	２時間未満	日額　2,000円
			２時間以上 ４時間未満	日額　4,000円
			４時間以上 ６時間未満	日額　6,000円
			６時間以上	日額　8,000円
		捜索、警戒	２時間未満	日額　2,000円
			２時間以上	日額　4,000円
	災害以外の出動	訓練（ラッパ隊、まとい組及び操法の訓練に限る。）、広報活動		１回　1,000円
		操法競技会、消防演習、消防出初式、予防指導、訓練、教養等		１回　2,000円

１０．叙勲受章者の調べ

R8.4.1現在

受章年	種別	階級	氏名
昭和43年春	勲七等瑞宝章	(元) 分団長	菊池二夫
昭和43年秋	勲六等旭日章	(元) 団長	佐々木佐五郎
昭和44年春	勲七等瑞宝章	(元) 班長	佐藤栄三郎
昭和45年秋	勲七等瑞宝章	(元) 副分団長	千葉哲夫
昭和46年春	勲七等瑞宝章	(元) 分団長	杉山兼蔵
昭和47年秋	勲五等瑞宝章	(元) 団長	木川田勝治
昭和48年秋	勲七等瑞宝章	(元) 副団長	新沼千三郎
昭和50年春	勲六等瑞宝章	(元) 団長	佐野安太夫
昭和50年秋	勲六等瑞宝章	(元) 副団長	今野寅夫
昭和52年春	勲六等単光旭日章	(元) 団長	木下芳吉
昭和52年秋	勲七等瑞宝章	(元) 副団長	寺澤三郎
昭和60年春	勲五等瑞宝章	(元) 団長	栗村勇
昭和62年秋	勲六等単光旭日章	(元) 団長	東祐一
昭和63年春	勲五等瑞宝章	(元) 団長	伊藤馨
平成9年（死没叙勲）	勲五等瑞宝章	(元) 団長	西風平八
平成12年2月15日	勲六等瑞宝章	(元) 団長	水野桃吉
平成12年秋	勲五等瑞宝章	(元) 団長	熊谷惠次
平成14年春	勲六等瑞宝章	(元) 団長	古水吉五郎
平成15年春	勲五等瑞宝章	(元) 副団長	泉八百二
平成16年春	瑞宝双光章	(元) 団長	菅生文夫
平成18年春	瑞宝単光章	(元) 団長	中村中
平成19年春	瑞宝単光章	(元) 副団長	志田長四郎
平成19年秋	瑞宝単光章	(元) 副団長	伊藤悠紀智
平成21年秋	瑞宝単光章	(元) 副団長	沢田孝一
平成22年春	瑞宝単光章	(元) 副団長	柏﨑栄一
平成22年秋	瑞宝単光章	(元) 副団長	大西哲雄
平成24年（緊急）	旭日単光章	(元) 副分団長	岩城史朗
平成24年（緊急）	旭日単光章	(元) 副分団長	佐藤永伍
平成24年（緊急）	旭日単光章	(元) 部長	新沼剣悟
平成28年秋	瑞宝単光章	(元) 団長	木村洋太郎
平成29年秋	旭日双光章	(元) 部長	熊谷常孝
平成30年春	旭日双光章	(元) 団長	鎌田和昭
令和元年春	瑞宝単光章	(元) 団長	塩口一郎
令和2年春	瑞宝単光章	(元) 団長	今野武義
令和3年春	瑞宝双光章	(元) 団長	新沼竹美
令和3年秋	旭日中綬章	(元) 分団長	齊藤俊明

１１．褒章受章者の調べ

R8.4.1現在

受章年	種別	階級	氏名
昭和38年春	黄綬褒章	(元) 団長	佐々木佐五郎
平成24年春	紅綬褒章	(元) 分団長	鈴木修
平成27年秋	藍綬褒章	(元) 副団長	及川安雄
令和元年春	藍綬褒章	(元) 部長	上部泉

１２．歴代消防団長

［大船渡市］　　R8.4.1現在

代	氏　名	就　任	退　任	備　考
初	鈴木直八	昭和27年 4月 1日	昭和30年 4月11日	在職 ３年
2	馬場悌一郎	昭和30年 4月12日	昭和32年 3月12日	〃 ２年
3	佐々木佐五郎	昭和32年 4月12日	昭和38年 4月11日	〃 ６年
4	金野辨治	昭和38年 4月12日	昭和41年 4月30日	〃 ３年
5	武田貞夫	昭和41年 5月 1日	昭和46年 3月31日	〃 ５年
6	水野桃吉	昭和46年 4月 1日	昭和52年 4月 1日	〃 ６年
7	栗村　勇	昭和52年 4月 1日	昭和58年 4月 1日	〃 ６年
8	伊藤　馨	昭和58年 4月 1日	昭和62年 3月31日	〃 ４年
9	千葉昭二	昭和62年 4月 1日	平成 2年 3月31日	〃 ３年
10	中村　中	平成 2年 4月 1日	平成 6年 3月31日	〃 ４年
11	熊谷惠次	平成 6年 4月 1日	平成12年 3月31日	〃 ６年
12	菅生文夫	平成12年 4月 1日	平成15年 3月31日	〃 ３年
13	鎌田和昭	平成15年 4月 1日	平成17年 3月31日	〃 ２年
14	紀室若男	平成17年 4月 1日	平成21年 3月31日	〃 ４年
15	今野武義	平成21年 4月 1日	平成25年 3月31日	〃 ４年
16	新沼竹美	平成25年 4月 1日	平成29年 3月31日	〃 ４年
17	新沼　哲	平成29年 4月 1日	平成31年 3月31日	〃 ２年
18	猪股拓也	平成31年 4月 1日	令和 3年 3月31日	〃 ２年
19	大田昌広	令和 3年 4月 1日	現　在	

［旧三陸町］　　R8.4.1現在

代	氏　名	就　任	退　任	備　考
初	木川田勝治	昭和31年 9月30日	昭和39年 9月30日	在職 ８年
2	佐々木定治	昭和39年10月 1日	昭和46年 3月31日	〃 ６年６ヶ月
3	木下芳吉	昭和46年 4月 1日	昭和50年 3月31日	〃 ４年
4	村上春男	昭和50年 4月 1日	昭和52年 8月 9日	〃 ２年５ヶ月
5	古水吉五郎	昭和52年 8月10日	昭和56年 3月31日	〃 ３年７ヶ月
6	東　祐一	昭和56年 4月 1日	昭和60年 3月31日	〃 ４年
7	西風平八	昭和60年 4月 1日	平成元年 3月31日	〃 ４年
8	菊地　栄	平成元年 4月 1日	平成 5年 3月31日	〃 ４年
9	及川和也	平成 5年 4月 1日	平成 7年 3月31日	〃 ２年
10	塩口一郎	平成 7年 4月 1日	平成 9年 3月31日	〃 ２年
11	木村洋太郎	平成 9年 4月 1日	平成13年 3月31日	〃 ４年
12	熊谷　章	平成13年 4月 1日	平成13年11月14日	〃 ０年７ヶ月

１３．団体消防表彰受賞状況

R8.4.1現在

受賞年月日	表彰先	被表彰団体
昭和30年 2月11日	日本消防協会（竿頭綬）	大船渡市消防団
昭和31年 3月 7日	日本消防協会（竿頭綬）	綾里村消防団
昭和33年 3月 7日	日本消防協会（竿頭綬）	三陸村消防団
昭和35年 2月11日	日本消防協会（表彰旗）	大船渡市消防団
昭和39年 3月18日	岩手県知事（竿頭綬）	三陸村消防団
昭和40年 3月18日	岩手県知事（表彰旗）	大船渡市消防団
昭和41年 3月 3日	消防庁長官（竿頭綬）	大船渡市消防団
昭和43年 3月 7日	岩手県消防協会（竿頭綬）	三陸町消防団
昭和44年 3月 4日	消防庁長官（表彰旗）	大船渡市消防団
昭和51年 9月 1日	消防庁長官（防災功労章）	三陸町消防団
昭和52年 3月29日	岩手県知事（竿頭綬）	三陸町消防団
昭和52年 5月22日	大船渡市長（賞詞）	大船渡市消防団
昭和56年 3月27日	岩手県知事（表彰旗）	三陸町消防団
昭和58年 7月10日	大船渡市長（賞詞）	大船渡市消防団
昭和59年 3月27日	岩手県知事（功労竿頭綬）	大船渡市消防団
平成元年 2月10日	日本消防協会（竿頭綬）	大船渡市消防団
平成元年 3月 6日	消防庁長官（竿頭綬）	三陸町消防団
平成 3年 2月13日	日本消防協会（表彰旗）	三陸町消防団
平成 7年 2月10日	日本消防協会（竿頭綬）	三陸町消防団
平成 9年 3月14日	岩手県知事（竿頭綬）	大船渡市消防団
平成10年 3月18日	岩手県知事（特別優良表彰旗）	大船渡市消防団
平成11年 3月19日	岩手県消防協会（無火災表彰）	大船渡市消防団
平成12年 3月16日	岩手県消防協会（無火災表彰）	大船渡市消防団
平成12年 3月16日	岩手県知事（無火災表彰）	大船渡市消防団
平成12年 5月21日	大船渡市長（賞詞）	大船渡市消防団
平成16年 2月13日	日本消防協会（表彰旗）	大船渡市消防団
平成16年 3月12日	岩手県消防協会（無火災竿頭綬）	大船渡市消防団
平成17年 2月25日	消防庁長官（消防団地域活動表彰）	大船渡市消防団
平成18年 2月10日	日本消防協会（特別表彰まとい）	大船渡市消防団
平成22年 3月15日	日本消防協会（竿頭綬）	大船渡市消防団
平成23年11月 9日	総務大臣（東日本大震災現場功労）	大船渡市消防団
平成24年 3月14日	岩手県消防協会（現場功労竿頭綬）	大船渡市消防団
平成24年 9月 1日	内閣総理大臣（防災功労者表彰）	大船渡市消防団
平成26年 3月11日	厚生労働大臣感謝状（東日本大震災における被災者の支援活動）	大船渡市消防団
令和 3年 3月 5日	日本消防協会（竿頭綬）	大船渡市消防団
令和 3年 3月17日	岩手県知事（無火災竿頭綬）	大船渡市消防団
令和 3年 3月17日	岩手県消防協会（無火災竿頭綬）	大船渡市消防団
令和 7年 3月 5日	消防庁長官（消防団地域活動表彰）	龍振鉱業株式会社
令和 7年 3月 5日	消防庁長官（防災功労者表彰）	大船渡市消防団
令和 7年 3月26日	岩手県知事（無火災竿頭綬） 岩手県消防協会（無火災竿頭綬）	大船渡市消防団
令和 7年 6月10日	消防庁長官（防災功労者表彰）	大船渡市消防団
令和 7年 9月 1日	内閣総理大臣（防災功労者表彰）	大船渡市消防団

※平成13年11月15日、大船渡市・三陸町合併により旧大船渡市消防団と旧三陸町消防団が統合、大船渡市消防団となる。

１４．令和７年度消防施設の整備事業状況

R8.4.1現在

事　業　名	内　　容	完 了 月 日	備　　考
なし			



住み田い町

住 田 町

豊かな水と緑の町

面積の 90%が森林の住田町、平安時代は金山として、江戸時代は火縄産出日本一、そして現在は「気仙杉」の生産地として「気仙大工」による「気仙杉の家」を供給している。平成 26 年落成の町役場も、地元産木材を使用した大規模木造庁舎で、数々の建築関係の賞を受賞している。また、平成 29 年度には、町役場と同様に地元産木材を使用した木造庁舎の住田分署が完成している。町内の公共施設には、木材を余すことなく活用した新エネルギー「木質ペレット」ストーブが導入されており、化石燃料の刺激的な暖房と異なり肌に優しい暖かさと共に、地球に優しい緑の町の姿勢が窺がえる。一方では宮沢賢治の「風の又三郎」などの舞台となった種山ケ原に森林を学ぶとともに、観光スポットとしての活用と自然保護にも力を入れている。

森林の町住田町では、五葉山を代表とする自然林、綺麗に造林された気仙杉の山並み、種山ケ原などに見る牛や綿羊の放牧など様々な形態のフィールドを体験できる。

【イベント・まつり】

冬：「みずしぎ」

化粧や仮装をした消防団や青年団がバケツなどを叩き鳴らしながらねり歩く「奇祭」、火伏せの行事。

秋：「滝観洞まつり」

御用山として、伊達藩の手厚い保護を受けていた霊峰五葉山の火縄原料ヒノキの皮は、国内最大の産出。火縄製作の桧山集落には藩から与えられた鉄砲で、自衛鉄砲隊が組織されていた。その伝統を甦らせた「五葉山火縄銃鉄砲隊」による戦国絵巻が繰り広げられる。

【種山ケ原】

道の駅種山ケ原「ぽらん」向いの道を行くと、牧野と自然林が広がる宮沢賢治の愛した種山ケ原がある。遊歩道を探索してみると、栃の木や水芭蕉をはじめ多くの草木が迎えてくれる。もちろん秋には美味しい木の実にもありつける。登りきる辺りには、オトギリソウの黄色い花に会えるかもしれない。ここの広場「種山キャンプ場」からは眼下遠く胆江の街並が望める。

【味・物産】

道の駅種山ケ原「ぽらん」には住田町の食材が揃い、早春一番はコゴミからワラビ、タラの芽、シドケなどの山菜や高原野菜、秋はキノコと旬の食材が所狭しと並んでいる。おばあちゃん秘伝のお菓子・おごご（漬物）も絶品である。

また、甘い住田イチゴ、豊かな自然に育まれた清流牛などの清流ブランドは高い評価を得ており他と一線を画す。住田町の花「アツモリソウ」も大人気。「ぽらん」には住田がいっぱい。

【気仙川紀行】

気仙川を旅してみると、源流近くには総延長 3,635 メートル（一般公開は 880 メートルまで）の鍾乳洞「滝観洞」がある。地底を 880 メートル進むと最奥部にはポッカリとドームが開け、高さ 29 メートルの大理石の裂け目から「天の岩戸の滝」が弾けるように地底湖へと流れ落ち、マイナスイオンをたっぷりと浴びることができる。リムストーンプールなど、何億年もかけて創造した自然の造形美が展開されている。外に出ると箱根山に通じる道が見え、秋には五葉山を背景に見応えある紅葉が楽しめる。

川を下ると間もなく五葉山登山道入口、桧山地区には「桧山阿弥陀堂」室町期に作られた阿弥陀坐像が保存されている。八日町に入ると、室町期に作られた「聖徳太子像」が玉泉寺に、近くには縄文時代の横穴式住居跡「蔵王洞岩窟」がある。十文字では遠野に至る蕨峠への分岐が見え、山の中腹では綿羊がのんびり草をはんでいる。川口に着くと種山を源流とする大股川と合流、イワナ・ヤマメ・鮎の宝庫気仙川、鮎漁解禁前夜、川沿いには全国から集まった太公望たちのテントの花が咲き乱れる。世田米に入ると江戸時代の気仙大工の手による「満蔵寺山門」、平安末期に作られた「観音菩薩坐像・阿弥陀如来坐像・勢至菩薩坐像」の三体が現存する光勝寺がある。街並みを気仙川から見渡すと、宿場町の面影を色濃く残す土蔵群「世田米蔵並」に目を奪われる。夏の夜は青や緑・橙にライトアップされ、いにしえの世界にいざなってくれる。

１．住田町消防団の組織

R8.4.1現在(実員数)

第１分団	世田米（東）	56名	１部	小型ポンプ（積）	9名（2名）
分団本部	3名	（8名）	２部	小型ポンプ（積）	16名（2名）
（曙・下在・中沢）			３部	小型ポンプ（積）	16名（1名）
			４部	自動車ポンプ	12名（3名）
第２分団	世田米（中）	54名	１部	自動車ポンプ	19名（1名）
分団本部	3名	（5名）	２部	小型ポンプ（救積）	15名（2名）
（愛宕・東峰・川口）			３部	小型ポンプ（積）	17名（2名）
第３分団	世田米（西）	32名	１部	小型ポンプ（積）	14名（4名）
分団本部	3名	（8名）	２部	小型ポンプ（積）	15名（4名）
（大股・小股）					
第４分団	下有住	29名	１部	小型ポンプ（積）	10名（1名）
分団本部	3名	（5名）	２部	小型ポンプ（積）	6名（0名）
（下有住全域）			３部	自動車ポンプ	10名（4名）
第５分団	上有住（西）	48名	１部	小型ポンプ（積）	20名（7名）
分団本部	3名	（15名）	２部	自動車ポンプ	11名（2名）
（両向・坂本・新田・恵山）			３部	小型ポンプ（積）	14名（6名）
第６分団	上有住（東）	30名	１部	自動車ポンプ	7名（2名）
分団本部	3名	（7名）	２部	小型ポンプ（積）	9名（3名）
（八日町・天嶽・五葉）			３部	小型ポンプ（積）	11名（2名）
				小型ポンプ（積）	

町長

団本部 27名（5名）

( )機能別消防団員

計　276名（53名）

２．住田町消防団の沿革

年　　月	記　　事
昭和30年 4月	世田米町、上・下有住村の合併による住田町制施行に伴い、各町村消防団を解散、住田町消防団を結団する。　吉田 忠団長以下 749名　分団数23
昭和32年 3月	優良消防団として国家消防本部長より竿頭綬を受賞
昭和33年 3月	優良消防団として国家消防本部長より表彰旗を受賞
昭和39年 4月	団の組織を6ヶ分団に編成替
昭和46年 1月	出稼ぎによる団員不足を補うため、季節常備団員の設置
昭和51年 3月	日本消防協会より竿頭綬を受賞
昭和62年 3月	岩手県知事より竿頭綬を受賞
昭和63年 3月	岩手県知事より表彰旗を受賞
平成 5年 2月	優良消防団として日本消防協会より表彰旗を受賞
平成 6年 3月	岩手県消防協会総裁表彰竿頭綬（無火災）を受賞
平成10年 3月	岩手県知事より竿頭綬を受賞
平成11月 3月	岩手県知事より優良表彰旗を受賞
平成12年 4月	第6分団組織編成替
平成16年 4月	条例定数を510名から465名に改正。第2分団・第6分団組織編成替
平成18年 4月	第4分団を4ヶ部に編成替 団階級別定数の改正（部長28名から27名・班長81名から82名） 消防車両現有台数小型ポンプ（積）16台から15台
平成20年 4月	機能別消防団員制度の導入（37名入団）
平成21年 2月	日本消防協会より竿頭綬を受賞
平成22年 3月	岩手県知事より特別優良竿頭綬を受賞
平成23年11月	東日本大震災での功労に対し総務大臣より表彰
平成24年 3月	岩手県知事、岩手県消防協会長より功労竿頭綬を受賞
平成25年11月	東日本大震災での功労に対し内閣総理大臣より表彰
平成27年 4月	第4分団を3ヶ部に改編
令和 2年 3月	優良消防団として日本消防協会より竿頭綬を受賞
令和 5年 4月	条例定数を465名から380名に改正。　年額・出動報酬の改正。
令和 6年 3月	第25回全国女性操法大会出場隊として岩手県消防協会会長より感謝状を受賞

３．消防団員階級別、年齢別及び勤続年数別状況

（１）消防団員階級別現団員状況

R8.4.1現在

階級／分団	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
団 本 部	1 （　）	2 （　）	1 （　）	4 （　）	2 （　）	6 （　）	11 （ 5 ）	27 （ 5 ）
第１分団	（　）	（　）	1 （　）	1 （　）	5 （　）	13 （　）	36 （ 8 ）	56 （ 8 ）
第２分団	（　）	（　）	1 （　）	1 （　）	4 （　）	11 （　）	37 （ 5 ）	54 （ 5 ）
第３分団	（　）	（　）	1 （　）	1 （　）	3 （　）	8 （　）	19 （ 8 ）	32 （ 8 ）
第４分団	（　）	（　）	1 （　）	1 （　）	4 （　）	12 （　）	11 （ 5 ）	29 （ 5 ）
第５分団	（　）	（　）	1 （　）	1 （　）	4 （　）	13 （　）	29 （ 15 ）	48 （ 15 ）
第６分団	（　）	（　）	1 （　）	1 （　）	4 （　）	8 （　）	16 （ 7 ）	30 （ 7 ）
計	1 （　）	2 （　）	7 （　）	10 （　）	26 （　）	71 （　）	159 （ 53 ）	276 （ 53 ）

※（　）については、機能別消防団員数

（２）消防団員年齢別状況

R8.4.1現在

区分＼年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	平均年齢	合計人員
団本部			2	6	19 (5)	53.8	27 (5)
1分団		1	12	24	19 (8)	47.3	56 (8)
2分団		6	12	17	19 (5)	45.3	54 (5)
3分団		1	5	7	19 (8)	52.8	32 (8)
4分団		2	11	10	6 (5)	42.3	29 (5)
5分団	1	4	13	12	18 (15)	46.6	48 (15)
6分団			4	14	12 (7)	49.4	30 (7)
計	1	14	59	90	112 (53)	48.2	276 (53)
団長					1	65.0	1
副団長					2	62.5	2
分団長				1	6	53.7	7
副分団長				3	7	51.5	10
部長				19	7	47.8	26
班長		1	24	39	7	42.6	71
団員	1	13	35	28	82 (53)	49.2	159 (53)

( )機能別消防団員

（３）消防団員勤続年数別状況

R8.4.1現在

区分＼年数	５年未満	５～９年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	勤続年数平均	合計人員
団本部	8 (4)	1 (1)	1	3	6	0	8	22.3	27 (5)
1分団	7 (1)	11 (3)	9 (2)	10 (1)	8	8	3 (1)	15.7	56 (8)
2分団	7	11 (3)	10	9 (2)	8	6	3	14.8	54 (5)
3分団	5 (1)	4 (1)	7 (3)	8 (3)	3	3	2	15.6	32 (8)
4分団	2	6 (1)	7 (2)	6 (2)	7	0	1	15.0	29 (5)
5分団	14 (6)	9 (4)	6 (2)	9 (3)	7	1	2	13.2	48 (15)
6分団	0	6 (3)	6 (2)	5 (2)	5	4	4	20.3	30 (7)
計	43 (12)	48 (16)	46 (11)	50 (13)	44	22	23 (1)	16.7	276 (53)
団長							1	40.0	1
副団長							2	35.0	2
分団長						2	5	30.7	7
副分団長	1			1	4		4	24.3	10
部長			3	4	7	10	2	22.8	26
班長	1	6	12	18	24	6	4	18.4	71
団員	41 (12)	42 (16)	31 (11)	27 (13)	9	4	5 (1)	10.4	159 (53)

( )機能別消防団員

４.消防車両の現勢

（１）消防車両車令別状況

R8.4.1 現在

種別＼車令	１年未満	１～３年	４～６年	７～９年	10～12年	13～15年	16年以上	計
自動車ポンプ				1		3	1	5
小型動力ポンプ					1	12	1	14
積載車		3	4	4	2		1	14
資材搬送車			1				1	2

（２）自動車ポンプ

R8.4.1 現在

No	所属	車名	ポンプ			購入年月	車令	定員	備考
			製造者	形式	級別				
1	１－４	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H25. 1	13	6	曙
2	２－１	ミツビシ	日本機械	二段タービン	Ａ－２	H16. 3	22	6	愛宕
3	４－３	日野	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H28.12	9	6	十文字
4	５－２	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H24. 1	14	6	山脈地
5	６－１	トヨタ	モリタ	二段タービン	Ａ－２	H25. 1	13	6	八日町

（３）小型動力ポンプ付き積載

R8.4.1 現在

No	所属	ポンプ					積載車				備考
		製造者	形式	級別	購入年月	機令	車名	購入年月	車令	定員	
1	１－１	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H23.12	14	トヨタ	R 4. 1	4	6	曙
2	１－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	H 28. 3	10	6	下在
3	１－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	H 30. 12	7	6	中沢
4	２－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H26.11	11	いすず	H 26. 11	11	6	東峰
5	２－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	R 4. 1	4	6	川口
6	３－１	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	H 30. 3	8	6	小股
7	３－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H23.12	14	トヨタ	R 5. 3	3	6	大股
8	４－１	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	R 1. 12	6	6	火の土
9	４－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H23.12	14	トヨタ	R 1. 12	6	6	高瀬
10	５－１	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H23.12	14	トヨタ	H 30. 3	8	6	中井田
11	５－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	R 6. 1	2	7	坂本
12	６－２	トーハツ	一段タービン	Ｂ－３	H23.12	14	トヨタ	H 30. 12	7	6	天嶽
13	６－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H23.12	14	トヨタ	R 5. 3	3	6	中埣
14	６－３	トーハツ	一段タービン	Ｂ－２	H 5. 9	32	トヨタ	H 10. 11	27	7	大洞

※２－２積載車・小型ポンプはH27.3総務省より貸与されたもの

（４）その他の車両

R8.4.1 現在

No	所属	ポンプ					積載車				備考
		製造者	形式	級別	購入年月	機令	車名	購入年月	車令	定員	
1	住田町						トヨタ	R 3. 3	5	6	住田分署
2	団本部						トヨタ	H 16. 3	22	6	住田分署

５.消防団員出動状況

R7.4.1～R8.3.31

区分 ＼ 分団名		団本部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	出動回数出動人員計
火災	建物	1				1	1	1	4
	林野								
	船舶								
	車両								
	その他								
	計	1				1	1	1	4
	出動団員	12				13	16	9	50
救助活動	回数								
	出動団員								
風水害等災害	回数								
	出動団員								
演習訓練	回数	3	3	3	3	3	3	3	21
	出動団員	52	67	86	41	37	55	33	371
広報訓練指導	回数	2	20	46	23	31	25	42	189
	出動団員	24	40	124	55	62	50	144	499
特別警戒	回数		11	33	11	11	11	33	110
	出動団員		23	102	27	22	22	66	262
遭難	回数								
	出動団員								
予防査察	回数	1	1	1	1	1	1	1	7
	出動団員	12	23	28	16	17	20	13	129
その他	回数		1	2		1			4
	出動団員		9	30		5			44
合計	回数	7	36	85	38	48	41	80	335
	出動団員	100	162	370	139	156	163	265	1,355

６．消防団員教養実施状況

R7.4.1～R8.3.31

区分＼項目	消防学校 幹部 分団指揮課程	消防学校 幹部 現場指揮課程	消防学校 幹部 初級	県指導消防協会研修	幹部・庶務教養	初任団員教養（県消防協会気仙地区支部主催）	予防教養	部長・班長教養	ポンプ指導操法会	機関員教養	計
団本部					13	1	2	4		2	22
第１分団					8	1	6	10		9	34
第２分団					8	3	6	9		6	32
第３分団					6		4	6		4	20
第４分団					9		6	3		6	24
第５分団					9	2	5	6		8	30
第６分団					5		4	3		4	16
合　計					58	7	33	41		39	178

７．消防庁長官の行う退職報償（銀杯）

R7.4.1～R8.3.31

区分＼階級	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	計
１　号　報　償						1	1	2
２　号　報　償							3	3
計						1	4	5

注：１号報償は勤続２５年以上、２号報償は１５年以上２５年未満である。

８．消防団員の報酬等調べ

R8.4.1現在（単位：円）

区分	支給単位	支給金額	備　考
団　長	年　額	１５０，０００	
副団長	年　額	１００，０００	
分団長	年　額	８０，０００	
副分団長	年　額	６０，０００	
部　長	年　額	５０，０００	
班　長	年　額	４０，０００	
団　員	年　額	３６，５００	

９．叙勲受章者の調べ

R8.4.1現在

受章年度	種別	階級	氏名
昭和４７年　春	勲５等　瑞宝章	（元）団長	吉田　忠
昭和５０年　春	勲７等　瑞宝章	（元）本部付部長	熊谷　栄一
昭和５１年　秋	勲６等　瑞宝章	（元）団長	松田　正雄
昭和５２年　春	勲７等　瑞宝章	（元）分団長	吉田　善三郎
昭和５７年　春	勲６等　旭日章	（元）団長	菅村　士郎
平成１４年　春	勲６等　旭日章	（元）団長	菊池　宜一
平成１４年　秋	勲６等　旭日章	（元）団長	及川　壮夫
平成１７年　秋	瑞宝単光章	（元）団長	荻原　松雄
平成１８年　春	旭日単光章	（元）団長	紺野　勝郎
平成１８年　春	瑞宝単光章	（元）団長	紺野　矩男
平成１９年　秋	瑞宝単光章	（元）団長	大和田　久藏
平成２０年(死没叙勲)	瑞宝単光章	（元）団長	佐々木　幸雄
令和２年　秋	瑞宝双光章	（元）団長	佐藤　一博
令和２年　秋	瑞宝単光章	（元）団長	佐々木　朝男
令和２年　秋	瑞宝単光章	（元）団長	吉田　典
令和３年　春	瑞宝単光章	（元）団長	佐々木　一彦
令和４年　春	瑞宝双光章	（元）団長	水野　覺
令和４年　春	瑞宝双光章	（元）団長	紺野　博

１０．歴代消防団長

R8.4.1現在

代	氏　　名	就　任	退　任	備　　考
初	吉　田　　忠	S30. 4. 1	S33. 3.31	在　職　３年
2	三　尾　吉之助	S33. 4. 1	S34.10.23	在　職　１年７ヶ月
3	鈴　木　長　吉	S34.10.24	S38.10.23	在　職　４年
4	佐々木　一　雄	S38.10.24	S40. 1.16	在　職　１年３ヶ月
5	佐々木　茂　夫	S40. 1.17	S41. 3.31	在　職　11ヶ月
6	松　田　正　雄	S41. 4. 1	S43. 3.31	在　職　２年
7	紺　野　勝　郎	S43. 4. 1	S47. 3.31	在　職　４年
8	高　橋　　清	S47. 4. 1	S51. 3.31	在　職　４年
9	菅　村　士　郎	S51. 4. 1	S55. 3.31	在　職　４年
１０	及　川　壮　夫	S55. 4. 1	S57. 3.31	在　職　２年
１１	大和田　久　藏	S57. 4. 1	S59. 3.31	在　職　２年
１２	佐々木　幸　雄	S59. 4. 1	S61. 3.31	在　職　２年
１３	菊　池　宜　一	S61. 4. 1	S63. 3.31	在　職　２年
１４	佐々木　晃　忠	S63. 4. 1	H 2. 3.31	在　職　２年
１５	荻　原　松　雄	H 2. 4. 1	H 6. 3.31	在　職　４年
１６	紺　野　矩　男	H 6. 4. 1	H 8. 3.31	在　職　２年
１７	佐々木　朝　男	H 8. 4. 1	H10. 3.31	在　職　２年
１８	佐々木　一　彦	H10. 4. 1	H14. 3.31	在　職　４年
１９	吉　田　　典	H14. 4. 1	H17. 3.31	在　職　３年
２０	佐　藤　一　博	H17. 4. 1	H21. 3.31	在　職　４年
２１	水　野　　覺	H21. 4. 1	H25. 3.31	在　職　４年
２２	紺　野　　博	H25. 4. 1	H27. 3.31	在　職　２年
２３	泉　田　義　昭	H27. 4. 1	H31. 3.31	在　職　４年
２４	佐　藤　清　司	H31. 4. 1	R3. 3.31	在　職　２年
２５	水　野　有　記	R3. 4. 1	R5. 3.31	在　職　２年
２６	菊　池　実　行	R5. 4. 1	現　在	

１１．令和７年度消防施設の整備状況

R8.4.1現在

事　業　名	内　容	完了月日	備　考
なし			

１２．団体消防表彰受賞状況

R8.4.1現在

受賞年月日	表彰者	被表彰団体
昭和32年３月１日	国家消防本部長（竿頭綬）	住田町消防団
昭和33年３月７日	国家消防本部長（表彰旗）	住田町消防団
昭和51年３月７日	日本消防協会（竿頭綬）	住田町消防団
昭和62年３月７日	岩手県知事（竿頭綬）	住田町消防団
昭和63年３月12日	岩手県知事（表彰旗）	住田町消防団
平成５年２月16日	日本消防協会（表彰旗）	住田町消防団
平成６年３月28日	岩手県消防協会（竿頭綬）	住田町消防団
平成10年３月７日	岩手県知事（竿頭綬）	住田町消防団
平成11年３月19日	岩手県知事（表彰旗）	住田町消防団
平成21年２月13日	日本消防協会（竿頭綬）	住田町消防団
平成22年３月17日	岩手県消防協会（優良竿頭綬）	住田町消防団
平成23年11月９日	総務大臣（功労表彰）	住田町消防団
平成24年３月14日	岩手県知事（功労竿頭綬）	住田町消防団
平成24年３月14日	岩手県消防協会（功労竿頭綬）	住田町消防団
平成25年11月25日	内閣総理大臣（功労表彰）	住田町消防団
令和２年３月３日	日本消防協会（竿頭綬）	住田町消防団
令和６年３月26日	岩手県消防協会会長感謝状	住田町消防団（女性消防隊）